

2014-業績一覧-診療部門/その他

著者	日本歯科大学
雑誌名	日本歯科大学生命歯学部研究年報
巻	2014
ページ	178-284
発行年	2015
URL	http://id.nii.ac.jp/1102/00000747/

● 口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery

1. 所属構成員等

教 授	熊澤 康雄, 小林隆太郎
准 教 授	足立 雅利, 石垣 佳希, 荘司 洋文, 柳井 智恵
講 師	藤城 建樹, 柳下 秀郎, 山下 憲昭, 酒井 康雄, 吉田 和正
助 教	山田 幸, 金子 允子, 岡本 秀平, 岡村 尚
臨 床 講 師	岩重 洋介, 勝山 直彦, 林 健博, 柿崎 真一, 河津 徳敏 岩田 親子, 新井 康仁, 荻野 靖人, 小笠原健文, 鈴木 茂
臨 床 助 手	池田 雄介, 北詰 栄里, 伊藤 有希, 阪本 まり, 武田 宗矩 平松 悠紀, 町田 智正, 竹内 雄輝, 谷内 美紀, 嶋田真由美 丹野 咲貴, 南郷 孝徳, 松野 翠

2. 研究テーマ

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer and supportment for QOL of the oral cancer patients.
- 2) 有病者に対するリスクマネージメント Risk management for medically compromised patient.
- 3) 金属アレルギー患者の診断ならびに治療法に関する研究 Studies on the diagnosis and treatment of patients with metal allergy.
- 4) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.
- 5) 仮骨延長, 骨膜延長による骨形成機序 Mechanics of new bone formation by distraction osteogenesis and periosteal distraction osteogenesis.
- 6) 生体材料と成長因子による骨再生医療 Biomaterials and Growth-factor-based engineering of bone tissue.
- 7) 下顎骨関節突起骨折に対する治療の検討 Basic considerations and treatment of mandible condyle fracture.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項無し

4. 学位取得者

記載事項無し

5. 主催学会等

記載事項無し

6. 国際交流状況

- 1) 柳井智恵：2014年7月8日から7月11日，中原理事長・学長，羽村歯学部長に同行し，中国・成都市の四川大学華西口腔医学院を訪問するとともに，7月9日に開催された“口腔医学教学標準ロボット”の研究提携の調印式に参列した。また四川大学サマーキャンプに参加している当大学の学生の視察を行った。

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成26年日本歯科大学生命歯学部公募研究機器（新規），蛍光X線分析装置，平成26年4月1日～平成27年3月31日，石垣佳希，6,791,040円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 小林隆太郎：第1章 社会保障制度，日高勝美，小林隆太郎，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，2-3，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
2) 小林隆太郎：第5章 保険外併用療養費制度，日高勝美，小林隆太郎，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，29-32，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
3) 小林隆太郎：第6章 いわゆる「混合診療」，日高勝美，小林隆太郎，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，34-35，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
4) 小林隆太郎：第12章 レセプト審査の仕組み，日高勝美，小林隆太郎，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，76-77，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
5) 小林隆太郎：第13章 レセプトオンライン・電子請求とは，日高勝美，小林隆太郎，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，78-79，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
6) 小林隆太郎：第17章 介護給付請求方法，日高勝美，梅村長生（共著），歯科医師のための医療保険制度入門，94-96，医歯薬出版株式会社，東京，2014，978-4-263-44417-7。
2. 柳井智恵（分担執筆）：薬'15/'16 歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本，編者・朝波惣一郎・王宝禮・矢郷 香，158-159，第1版，クインテッセンス出版株式会社，東京，2014，978-4-7812-0393-5。
3. 石垣佳希（分担執筆）：口腔インプラント学学術用語集 第3版，公益社団法人日本口腔インプラント学会編，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-45780-1。

4. 白川正順・石垣佳希（編集），吉田和正・岡本秀平・阪本まり（分担執筆）：金属アレルギーとメタルフリー治療 Q&A, 医学情報社, 東京, 2014, 978-4-903553-52-8.
5. 1) 石垣佳希（分担執筆）：Chapter1 診査・診断 1. 予後に影響を及ぼす全身疾患等の把握とその対応, 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順編, Implant Dentistry Encyclopedia, 8-10, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-7812-0409-3.
- 2) 石垣佳希（分担執筆）：Chapter1 診査・診断 2. 抗血栓療法患者が来院したらどうするか, 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順編, Implant Dentistry Encyclopedia, 11-13, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-7812-0409-3.
- 3) 石垣佳希・荘司洋文・柳井智恵・吉田和正（分担執筆）：歯科インプラント用語大全, 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順編, Implant Dentistry Encyclopedia, 141-256, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-7812-0409-3.

B. 原著

1. Li Xiao, Kumazawa Y, Okamura H, Cell death, cavitation and spontaneous multi-differentiation of dental pulp stem cell-derived spheroids in vitro : A journey to survival and organogenesis, Biol. Cell, 2014 ; 106 : 405-419, doi : 10.1111/boc.201400024.
2. Yanai C, Kanno T, Sekine J., The retromandibular transparotid approach with trapezoidal condylar plates for osteosynthesis of mandibular condylar neck fractures, ○ Hosp. Dent. (Tokyo), 2014 ; 26 (1) : 17-20.
3. 三井陽介, 石垣佳希, 今井智明, 阿部恵一, 石井達也, 中村仁也：ワルファリン服用患者の観血処置におけるコアグチェック XS の有用性について, ○有病者歯科医療, 2014 ; 23 (1) : 16-19.
Mitsui Y, Ishigaki Y, Imai T, Abe K, Ishii T, Nakamura K, Usefulness of Coagu ChekXS® in invasive treatments for patients medicated with warfarin, ○ J.J.M.C.P, 2014 ; 23 (1) : 16-19.
4. 小林清佳, 安藤文人, 北 大樹, 大津光寛, 石垣佳希, 小林さくら子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛：日本歯科大学附属病院における針刺し・切創に関する事例の検討 当院過去10年の医療安全報告書より, ○日歯医療管理誌, 2014 ; 49 (3) : 173-180.
Kobayashi S, Ando F, Kita D, Otsu H, Ishigaki Y, Kobayashi S, Hamura A (7th), Mishiro F (8th), Uchikawa Y (9th) (9 authors), Assessment of needlestick injuries in The Nippon Dental University Hospital - A medical safety report for the past decade -, ○ Jpn J. Dent. Prac. Admin, 2014 ; 49 (3) : 173-180.
5. 白川正順, 石垣佳希, 今井 裕, 服部正巳, 小笠原健文, 川村浩樹, 山瀬 勝：金属アレルギー患者における診断・治療法に関する研究, ○日歯医学会誌, 2015 ; 34 : 39-43.
Shirakawa M, Ishigaki Y, Imai Y, Hattori M, Ogasawara T, Kawamura H, Yamase M, Research on diagnostic and therapeutic methods for patients with metal allergy, ○ JJADS, 2015 ; 34 : 39-43.
6. Yoshida K, Adachi M, Shoji H, Shibata A, Shirakawa M, Clinical Evaluation Cases of Dental Im-

plant Failures. ◇○ WCOI Year Book 2011-2013, 54-62, (DVD-ROM).

C. 総説・解説

1. 足立雅利, 田中秀弥, 三浦佳也: 歯科診療室での薬物療法 歯科衛生士としての正しい理解を目指して, 東京都歯科衛生士会学術誌, 31: 5-13, 2015.
2. 児玉美穂, 柳井智恵, 鈴木麻美: 妊婦の口腔環境の変化と歯科治療, 東京都歯科医師会雑誌, 63 (1): 4-10, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. Kumazawa Y, Kawai T, Shirase T, Yagishita H, Yoshida K, Yosue T, Multiple calcifying lesions in the maxilla and mandible of a 4-year-old girl: report of a rare case and literature review. Oral Radiol, 30: 259-264, 2014.
2. Inaba T, Adachi M, Yagisita H, A case of angioleiomyoma in the buccal space, ◎ Odontology, 103: 109-111, 2015.
3. Takiguchi M, Fujita K, Yoshida K, Usefulness of Magnetic Attachment Implants in the Completely Edentulous Maxilla: Report of Two Cases. ◇○ WCOI Year Book 2011-2013, 32-41, 2014, (DVD-ROM).
4. Matsumura T, Ota J, Yoshida K, Shoji H, Shirakawa M: A Case of AQB One-Piece Implant System Using Crestal Approach Sinus Lift, ◇○ WCOI Year Book 2011-2013, 43-49, 2014 (DVD-ROM).
5. 松村東栄, 幕内俊介, 吉田和正, 白川正順: 骨補填剤を用いない歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上症例の検討, ○バイオインテグレーション学会誌, 4: 99-103, 2014.
6. 松村東栄, 幕内俊介, 吉田和正, 白川正順: インプラント周囲骨に骨吸収像を認め早期に再植立を施行した1例, ○バイオインテグレーション学会誌, 4: 105-112, 2014.
7. 松村東栄, 幕内俊介, 吉田和正, 白川正順: インプラント周囲骨吸収のため早期に摘除し, 再植立した1例, ○日本先進インプラント医療学会誌, 5 (1): 28-31, 2014.

E. 翻訳

記載事項無し

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 岩田 洋, 小川智久, 熊澤康雄, 山崎孝子, 小林 理, 北村和夫, 横沢 茂, 滑川初枝, 光安 廣記, 山瀬 勝, 永井圭子, 大嶋依子, 関川陽子, 沼田充代, 富永 毅, 杉浦幹則, 松本 智: 歯科人間ドックおよび口腔癌健診に関する意識調査, 日本歯科人間ドック学会第17回学術大会プログラム集, 19, 2014.
2. 平松悠紀, 荘司洋文, 坂本まり, 岡本秀平, 藤城建樹, 熊澤康雄: オトガイ術形成後に口腔底

- に著名な浮腫を生じ気道確保を要した一例, 198回日本口腔外科学会第関東支部学術集会プログラム集, 12, 2014.
3. 北村和夫, 酒井康雄, 足立雅利, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡田智雄, 勝海一郎: 巨大病変に対する歯内療法・外科的アプローチ, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム抄録集, 27, 2014.
 4. 足立雅利, 宮田祐介, 山田 幸, 金子允子, 荘司洋文, 岡村 尚, 池田雄介: 受け入れやすい頸部郭清をめざして, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム抄録集, 26, 2014.
 5. Yoshino A, Nariai Y, Karino M, Toshihiro Y, Tatsumi H, Tsunematsu K, Takamura K, Kanno T, Yanai C, Kanno T, Sekine J: Retromandibular transparotid approach for mandibular condylar neck fractures. The 60th Annual Congress of the Japan Section, Proceedings: 75, 2014.
 6. Yanai C, Sakai Y, Hiraga Y, Akiyama H, Yamase M, Yokozawa S, Takamori H, Ogura S: Functional outcome after surgical treatment of oral cancer patients rehabilitated with implant-supported prostheses. 11st Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Program Book, 206, 2014.
 7. 山田麻衣子, 小倉 晋, 倉治真夏, 是澤和人, 大島正充, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 水木信之, 高森 等: 上顎臼歯部におけるインプラント治療についての臨床的検討. 日本口腔外科学会雑誌, 60 (S): 153, 2014.
 8. 阪本まり, 荘司洋文, 柳井智恵, 熊澤康雄, 岩田 洋, 柳下寿郎: 下顎骨に発生した好酸球肉芽腫の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 60 (S): 157, 2014.
 9. Yoshino A, Nariai Y, Karino M, Tatsumi H, Tsunematsu K, Takamura Y, Yanai C, Kondo S, Sekine J: Applicability of buccal fat pad grafting for oral reconstruction. The 39th Biennial World Congress of the International College of Surgeons, Program Book, 58, 2014.
 10. Yanai C, Sakai Y, Hiraga Y, Akiyama H, Yamase M, Yokozawa S, Takamori H, Ogura S: Functional evaluation of implant treatment in edentulous patients after surgical resection of oral cancer. Japanese Journal of Maxillo Facial Implants, 13 (3): 123, 2014.
 11. 大島正充, 篠原健一郎, 山田麻衣子, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 高森 等, 中村仁也: インプラント手術時の下顎孔伝達麻酔におけるレボブピバカインとアドレナリン添加2%リドカインについての比較検討. Japanese Journal of Maxillo Facial Implants, 3 (3): 134, 2014.
 12. 北詰栄里, 吉田和正, 柳井智恵, 伊藤有希, 荘司洋文: 精神発達遅滞の患者に発症した重症感染症の治療中に誤嚥性肺炎を併発した1例. 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 150, 2015.
 13. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 小林清佳, 北 大樹, 工藤奈津子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院での誤飲・誤嚥事例についての分析, 日歯医療管理誌, 49 (1): 50, 2014.
 14. 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 松田うな, 渡邊哲平, 細野 明, 長山 勝, 石垣佳希, 吉田和正, 白川正順: 当院におけるインプラント施術有病患者の臨床的検討, 日先進インプラント医誌, 5

- (2) : 30, 2014.
15. 細野 明, 松田うな, 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 渡邊哲平, 吉田和正, 石垣佳希, 白川正順: ウルトラフレックスメッシュプレートの臨床使用経験, 日先進インプラント医誌, 5 (2) : 45, 2014.
 16. 松田うな, 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 細野 明, 渡邊哲平, 長山 勝, 吉田和正, 石垣佳希, 白川正順: 当院における静脈内鎮静下インプラント手術症例の検討, 日先進インプラント医誌, 5 (2) : 53, 2014.
 17. 内藤 明, 中村美保, 山口全一, 石垣佳希: 本院口腔アレルギー外来における歯科材料パッチテスト結果についての考察, 一般社団法人日本歯科技工学会第36回学術大会プログラム集, 122, 2014.
 18. 東郷尚美, 石垣佳希, 岩井 謙, 曾布川裕介, 松村和洋, 川村浩樹: 当院口腔アレルギー外来を受診した掌蹠膿疱症の1例, 第24回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム集, 119, 2014.
 19. 小林さくら子, 土持 宇, 植木健次郎, 吉屋慶章, 片岡彩乃, 安藤文人, 後藤尚昭, 小森成, 岡本秀平, 柳下秀郎, 藤城建樹, 小林隆太郎, 荘司洋文, 鈴木章弘, 新井一仁: 外科的矯正治療における術前・術後矯正治療期間の長さ, 第24回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 158, 2014.
 20. 岡本秀平, 藤城建樹, 荘司洋文, 柳下秀郎, 小林隆太郎: 顎変形症患者の既往症についての検討, 第24回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 160, 2014.
 21. 吉屋慶章, 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 安藤文人, 植木健次郎, 小森 成, 荘司洋文, 岡本秀平, 藤城建樹: 矯正治療中に歯根吸収が認められた骨格性下顎後退の1症例, 第24回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 168, 2014.
 22. 永島圭悟, 宇塚 聡, 栗原綾子, 藤城建樹, 岡本秀平, 小森 成: 上顎劣成長を伴う著しい骨格性開咬症例, 第24回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 169, 2014.
 23. 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 細野 明, 石垣佳希, 白川正順: インプラントを施行した有病者に関する検討, 日口腔インプラント誌, 27 (特別) : 233, 2014.
 24. 松田うな, 宮澤利明, 吉田和正, 白川正順: 新しいチタンメッシュメンブレンの臨床応用, 日本口腔インプラント学会誌, 27 : 192, 2014.
 25. 滝口昌親, 藤田浩嗣, 吉田和正, 白川正順: インプラント植立のための上顎洞挙上術に PRGF-Endoret を使用した1例, 日本口腔インプラント学会誌, 5 (2) : 36, 2014.
 26. 松田うな, 宮澤利明, 喜瀬信一郎, 石垣佳希, 吉田和正, 小笠原健文, 白川正順: 静脈内鎮静下インプラント手術症例の臨床的検討, バイオインテグレーション学会第5回総会・学術大会プログラム集, 60, 2014.
 27. 岡村 尚 荘司洋文 谷内美紀 北詰栄里 柳下寿郎 岡部貞夫: 予後不良となった舌扁平上皮癌 stage 1 症例の検討, 日本口腔腫瘍学会雑誌抄録集, 320, 2015.
 28. 北詰栄里, 岡部貞夫, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡村 尚, 谷内美紀: 口腔癌における頸部リンパ

節転移およびリンパ節外浸潤陽性症例の検討, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 192, 2015.

29. 谷内美紀, 莊司洋文, 岡本秀平, 岡村 尚, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 5年間の当科における Stage I 症例の検討, 第33回口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム抄録集, 257, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 莊司洋文: よくわかる肩甲舌骨筋上頸部郭清術, 第59回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, ビデオレクチャー, 幕張市, 2014年10月18日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 小林隆太郎: これからの歯科医療「私と学生教育」, 医療保険問題研究会講演会, 東京, 2014年7月5日.
2. 小林隆太郎: 歯科審査に関わる各種情報について, 東京都社会保険診療報酬支払基金講演会, 東京, 2014年7月24日.
3. 小林隆太郎: 「歯科医療」今後の展望, 東京都中野区歯科医師会学術講演会, 東京, 2014年9月3日.
4. 小林隆太郎: 口腔がんを見落とさない「色と形からみる口腔粘膜病変」, 日本歯科大学千葉県校友会学術講演会, 千葉市, 2015年1月25日.
5. 小林隆太郎: 2060年の日本「そして今後の歯科医療は」, 日本歯科大学校友会船橋支部学術講演会, 船橋市, 2014年11月5日.
6. 足立雅利: 口腔軟組織の診査と診断, 高知県日本歯科大学校友会学術講演会, 高知市, 2015年2月28日.
7. 石垣佳希: 医療連携学術講演会 抗血栓療法患者に対する歯科治療時の注意点 ―新規抗凝固薬の現状と対応―, 千代田区, 2014年6月26日.
8. 石垣佳希: 多摩在宅歯科医療研究会 おうちで行う歯科医療 在宅歯科医療における口腔外科の基礎知識―抗血栓薬内服患者を中心として―, 小金井市, 2014年9月18日.
9. 石垣佳希: 日本有病者歯科医療学会 歯科医師のためのスキルアップセミナー 静脈路確保, 新潟市, 2014年9月21日.
10. 石垣佳希: 日本障害者歯科学会認定医・認定衛生士研修会 救急対応, 千代田区, 2015年2月1日.
11. 莊司洋文: ママとパパのための親知らずの話, TBS ママサカス, 赤坂, 2014年4月4日.
12. 莊司洋文: 当科における口腔がん早期病変に対する取り組み, 第41回東信頭頸部癌研究会, 軽井沢, 2014年9月27日.
13. 岡村 尚, 齊藤佳奈美: はじめてみよう1からの口腔ケア, 日本医大武蔵小杉病院看護師講習会, 川崎市, 2015年3月11日.

● 小児歯科 Pediatric Dentistry

1. 所属構成員等

教授	内川 喜盛
准教授	白瀬 敏臣
講師	梅津糸由子, 楊 秀慶, 鈴木 淳子, 村松 健司
助教	岩崎てるみ, 三井 園子, 三宅 真帆, 波多野宏美
臨床助手	星山 紘子, 松崎 祐樹, 新見 嘉邦
臨床教授	小方 清和, 米山 博巳, 上原 正美, 倉治 七重
臨床講師	三浦みつ子, 浜地 宏哉, 辻 裕子, 大出リエ子, 荻原 栄和 増田 理紗
レジデント	甲田彩理沙, 西村 歩, 芦澤みなみ, 亀岡 亮, 森久保友紀

2. 研究テーマ

- 1) 小児の唾液中フッ化物がミュータンス連鎖球菌に及ぼす影響 Influence of fluoride in saliva on mutans streptococci in children.
- 2) 唾液中における低濃度フッ化物イオンの動態について Changes in the salivary fluoride concentration after adding low-concentrated fluoride.
- 3) 頭蓋顎顔面の先天奇形症候群における特徴とその対応について Feature and management of patients with craniofacial anomalies.
- 4) 乳前歯ならびに永久前歯の外傷に関する研究 Dental traumatology for primary and permanent incisors.
- 5) 障害児における歯科治療時の対応法に対する保護者の認識 Desire of caretakers of disabled individuals for behavior management techniques.
- 6) 摂食嚥下機能障害児・者に対して用いた可撤式装置の有効性 Effect of removal type appliance for dysphagia.
- 7) 被虐待小児の臨床調査 Clinical studies of abused children.
- 8) 抗てんかん薬の歯肉増殖に対する影響 The effect of anti epileptic drugs on gingival overgrowth.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成26年度（公社）東京都歯科医師会卒直後研修，東京，2014年8月7日，内川喜盛（附属病院小児歯科），荻部洋行（小児歯科学講座）。

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 内川喜盛 他（分担執筆）：新歯科技工教本 小児歯科技工学，改訂版第10刷，医歯薬出版株式会社，東京，2014. ISBN978-4-263-43116-0.

B. 原著

1. 大澤銀子，北原和樹，横澤 茂，大津光寛，岩田 洋，岡田智雄，内川喜盛，仲谷 寛：医療コミュニケーション概論実習における質問会議の応用. 日歯教誌 2014；13（3）：163-169.
2. 小林清佳，安藤文人，北 大樹，大津光寛，石垣佳希，小林さくら子，羽村 章，三代冬彦，内川喜盛：日本歯科大学附属病院における針刺し・切創に関する事例の検討—当院過去10年間の医療安全報告書より—。日歯医療管理誌 2014；498（3）：173-180.
3. 鈴木 恵，小倉千幸，池田亜紀子，須田真理，関口洋子，市川順子，野村正子，合場千佳子，池田利恵，内川喜盛，岡田智雄，大津光寛，大澤銀子，北原和樹，佐藤 勉，小口春久：本短期大学学生に実施した「コミュニケーション学」について—3年間の実施状況と学生の意識変化の比較—。日歯大東短誌 2014；4（1）：121-126.
4. Karibe H, Aoyagi-Naka K, Koda A. Maternal anxiety and child fear during dental procedures : a preliminary study, ☆J Dent Child (Chic) 2014 ; 81 (2) : 72-7.
5. Kumazawa Y, Kawai T, Shirase T, Yagishita H, Yoshida K, Yosue T. Multiple calcifying lesions in the maxilla and mandible of a 4-year girl : report of a rare case and literature review, ☆ Oral Radiology 2014 ; 30 : 259-264.

C. 総説・解説

1. 内川喜盛：特集，知っておきたい小児歯科 UP DATE4，う蝕—予防と治療—，小児科，56（2）：137-146，2015
2. 白瀬敏臣：特集，知っておきたい小児歯科 UP DATE4，歯の外傷—特徴と対応法—：小児科，56（2）：153-160，2015.

3. 内川喜盛, 白瀬敏臣: 小児保険装置の種類と適応症, 東京都歯科医師会雑誌, 62 (10): 491-500, 2014.
4. 梅津糸由子: 妊産婦医療へ—小児歯科医の関わり 大学における妊産婦歯科医療の関わり, 小児歯科臨床, 19: 43-48, 2014.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 松崎祐樹, 内川喜盛, 星山紘子, 新見嘉邦, 白瀬敏臣: 気管挿管が原因と考えられた上顎乳前歯の萌出不全の1例, 小児歯誌, 53 (1): 81-88, 2015.
2. Iwasaki T, Uchikawa Y: The oral environment and salivary fluoride concentration in 4-6-year-old children, 日本歯科大学歯学会第1回ウインターミーティング, 東京, 2014年12月13日.
3. 松崎祐樹, 内川喜盛, 柳下寿郎, 白瀬敏臣: 新生児期の気管チューブ留置により生じたエナメル質形成不全の1例, 日本歯科大学歯学会第1回ウインターミーティング, 東京, 2014年12月13日.
4. 内川喜盛: 子どもの歯みがき lesson: kodomoe コドモエ, 2014年12月号: 98-101, 2014.
5. 内川喜盛: 知っておきたい, 歯のはなし: あそびと環境 0・1・2歳, 2015年2月号: 14-19, 2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 古宅美樹, 水上美樹, 田村文誉, 鈴木淳子, 村松健司: 新規開設した某口腔リハビリテーションクリニックの概要と歯科治療を行った障害児・者の実態調査, 小児歯誌, 52 (1): 139, 2014.
2. 波多野宏美, 楊 秀慶, 塩谷友季子, 村松健司, 三井園子, 松崎祐樹, 内川喜盛: 親子療育入所者への歯科からの取り組み (第一報), 小児歯誌, 52 (2): 251, 2014.
3. 白瀬敏臣, 内川喜盛, 村松健司, 西村 歩, 三浦みつ子, 上原正美: 乳歯埋入後に再萌出が困難となった2例, 小児歯誌, 52 (2): 272, 2014.
4. 星山紘子, 松崎祐樹, 波多野宏美, 岩崎てるみ, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 濱地宏哉, 大出リエ子, 内川喜盛: 幼児の唾液中ミュータンスレンサ球菌レベルを用いた齲蝕発症のスクリーニング精度の検討, 小児歯誌, 52 (2): 385, 2014.
5. 梅津糸由子, 鈴木淳子, 岩崎てるみ, 三宅真帆, 新見嘉邦, 甲田彩理沙, 荻原栄和, 辻 裕子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 本学小児歯科における過去3年間の全身麻酔下での歯科治療の実態調査, 小児歯誌, 52 (2): 393, 2014.
6. 西村 歩, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 甲田彩理沙: 再萌出が困難となった埋入乳歯の2例, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会・プログラム・抄録集, 29, 2014.

7. 大澤銀子, 仲谷 寛, 岩田 洋, 大津光寛, 岡田智雄, 横澤 茂, 北原和樹, 内川喜盛: 医療コミュニケーション概論実習におけるチームビルディング—質問会議の応用—, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 79, 2014.
8. 鈴木 恵, 茂原宏美, 小倉千幸, 池田重紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 岡田智雄, 大津光寛, 大澤銀子, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久: 本学1年生に実施した「コミュニケーション概論」について第4報 3年間の実施状況とその評価, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 130, 2014.
9. 秋山仁志, 三代冬彦, 岡田智雄, 横澤 茂, 北村和夫, 小川智久, 中原由絵, 宇塚 聡, 鈴木淳子, 町田麗子, 山下憲昭, 羽村 章: 日本歯科大学附属病院群内マッチングシステムによる過去8年間の研修歯科医の在籍型出向状況について, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 137, 2014.
10. 青木春美, 田中とも子, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 柴田千晶, 横澤 茂, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光, 滑川初枝, 鈴木淳子, 荘司洋文, 中西生美: 生命歯学部1年生PBLテュートリアル教育履修前後の情報リテラシーに関する調査, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 137, 2014.
11. 楊 秀慶, 内川喜盛, 秋山仁志, 荻部洋行, 羽村 章, 溝江良宏: 歯の脱臼用実習模型の新規開発, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 138, 2014.
12. 岡田智雄, 大澤銀子, 仲谷 寛, 内川喜盛, 俣木志朗: 歯科医師を対象とした医療メデイエーションワークショップの概要, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・プログラム・抄録集, 147, 2014.
13. 内川喜盛, 安藤文人, 小川智久, 三代冬彦: 歯科大学附属病院に勤務する歯科衛生士の意識調査, 日歯医療管理誌, 49 (1): 43, 2014.
14. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津三寛, 小林清佳, 北 大樹, 工藤奈津子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院での誤飲・誤嚥事例についての分析, 日歯医療管理誌, 49 (1): 50, 2014.
15. 星山紘子, 白瀬敏臣, 松崎祐樹, 内川喜盛: 外傷による乳歯の歯根破折歯に歯冠歯根比を改善し保存した1例, 第29回関東地方会抄録集, 37, 2014.
16. 土屋昭夫, 今泉純一, 須藤豊哉, 伊勢哲哉, 宇美隆生, 町田貴敏, 立川誠二, 三木克仁, 佐々木淳, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 当歯科衛生センターにおける30年の診療動態, 障害歯誌, 35 (3): 254, 2014.
17. 毛利 徹, 田村昌平, 上田 豊, 梅津糸由子, 岩崎てるみ, 石渡利幸, 船田淳子, 深田義則, 荻原大生, 横田祐司, 篠塚 修, 原 龍馬: 頭部の動きに対する吸引式固定ピローの有用性の検討, 障害歯誌, 35 (3): 503, 2014.
18. 大越久美子, 阿部恵一, 塩谷伊毅, 三井陽介, 生駒久美子, 篠原健一郎, 今井智明, 白瀬敏臣, 楊 秀慶, 中村仁也: メビウス症候群患者の全身麻酔下歯科治療経験, 障害歯誌, 35

- (3) : 512, 2014.
19. 野村明美, 小林邦枝, 青柳ひとみ, 瀬戸ゆきの, 中村仁也, 楊 秀慶 : 某大学病院における全身麻酔下歯科治療の予約変更に対する対策の効果, 障害歯誌, 35 (3) : 509, 2014.
 20. 田中秀明, 篠原健一郎, 砂田勝久, 石垣佳希, 楊 秀慶, 中村仁也 : 静脈内鎮静法下にコントロール困難な過換気発作が出現した歯科恐怖症の1例, 有病者歯医療, 23 (4) : 361, 2014.
 21. Shinohara K, Shirase T, Nakamura K : Anesthetic Management during Dental Treatment for a Patient with Congenital Asplenia Syndrome, 22nd The iADH International Congress (Berlin, October 2-4, -Program-, Page22, 2014.
 22. Iwasaki T, Uchikawa Y : Salivary fluoride concentration and oral environment in young children, 2015 IADR/AADR/CADR General Session Exhibition, #1912, Boston, USA, March 11-14, 2015.
 23. Yoh H, Uchikawa Y, Akiyama H, Karibe H : Necessity of developing a practice model for dental, 2015 IADR General Session, #1225, Boston, USA, March 11-14, 2015.
 24. Koda A : Children's Dental Video Stimulation : the Autonomic Responses, 2015 IADR General Session, #1283, Boston, USA, March 11-14, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 梅津糸由子 : お口の健康で素敵な笑顔「赤ちゃんの口腔ケア」, 東京都, 赤坂, ママサカス, 2014年4月3日.
2. 内川喜盛 : こどものむし歯と予防について, 東京都, 赤坂, ママサカス, 2014年4月3日.
3. 内川喜盛 : 歯科健診における歯列・咬合の診方とその対応について, 八南歯科医師会講演会, 東京, 2014年5月28日.
4. 内川喜盛 : 信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診方, 考え方—, 乳歯列期における口腔の変化と歯科的支援, 混合歯列期における口腔の変化と歯科的支援, (公社)東京都歯科医師会卒後研修, 東京, 2014年8月7日.
5. 白瀬敏臣 : 信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診方, 考え方—, 学童期の特徴と模型分析実習, (公社)東京都歯科医師会卒後研修, 東京, 2014年8月7日.
6. 梅津糸由子 : 信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診方, 考え方—, 乳幼児期のう蝕予防のポイント, (公社)東京都歯科医師会卒後研修, 東京, 2014年8月7日.
7. 楊 秀慶, 村松健司 : 信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診

- 方，考え方一，外傷歯に対する基本的対応法，（公社）東京都歯科医師会卒後研修，東京，2014年8月7日。
8. 鈴木淳子：信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診方，考え方一，小児患者の歯科的対応—TSD法から全身麻酔まで一，（公社）東京都歯科医師会卒後研修，東京，2014年8月7日。
 9. 内川喜盛：う蝕予防のQ&A，川崎市中原区研修会，川崎市，2014年7月11日。
 10. 内川喜盛：小児の口の診方，考え方 乳幼児編，荒川区歯科医師会学術講演会，東京，2014年10月29日。
 11. 内川喜盛：保護者との信頼関係を構築するために—乳幼児の口の診方，考え方一，武蔵野市歯科医師会，日本歯科大学校友講演会，東京，2015年2月13日。
 12. 白瀬敏臣：子どもの健康な歯を育てるための口腔ケア，日本女子大学附属豊明小学校 1年生保護者向け歯科衛生教育講演，東京，2015年1月14日。
 13. 楊 秀慶：的確な歯の外傷への対応～患者さんとの信頼関係の構築～，日本歯科大学校友会学術フォーラム2015，東京，2015年2月15日。
 14. 岩崎てるみ：コミュニケーションツールとしてのサイン，足立区歯科医師会講演会，東京，2015年3月25日

● 矯正歯科 Orthodontics

1. 所属構成員等

教 授 小森 成
准 教 授 後藤 尚昭, 小林さくら子, 宇塚 聡, 安藤 文人
講 師 宮下 渉, 内田 裕子, 岩崎由香利
助 教 土持 航, 片岡 彩乃, 吉田 陽子
臨 床 助 手 土持 宇, 今井絵美子, 栗原 綾子, 丸山 智子, 永島 圭吾
大塚絵里佳, 植木健次郎, 岡本 美結, 中野紗矢香, 宮下 佳子
吉屋 慶章, 小池みづき, 鈴木みすず, 渡邊 尚子
非常勤准教授 宮脇 剛司, 井口 暁
非常勤講師 小林 慶介, 杉山 晶二, 上保 基, 渡邊 浩幸, 島田 達雄
玉田 一敬, 田村 彰英, 箕浦 雄介, 仲谷 豊, 篠崎 圭太
安藤 稔, 今野 喜文, 藤田由希子

2. 研究テーマ

- 1) 矯正材料の開発および研究 Research and development of orthodontic materials.
- 2) 口唇・口蓋裂の治療に関する集学的アプローチ Interdisciplinary approach to cleft lip and palate.
- 3) 歯科医学教育シミュレーションシステムの開発に関する研究 Development of simulation systems for dental education.
- 4) 現代人モンゴル人と日本人の正常咬合者の比較 Comparison of dental models in modern Mongolian and Japanese with normal occlusion.
- 5) 歯列弓・歯槽基底弓の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental and basal arch form.

3. 今年度の研究上特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 株式会社モリタ製作所委託研究費, (新規), 平成26年度, SIMROID を用いたシミュレーション教育に関する研究, 羽村 章 (代表), 三代冬彦 (分担), 秋山仁志 (分担), 原 節宏 (分担), 宇塚 聡 (分担), 宮下 渉 (分担), 1,000,000円.
- 2) 学内研究費 (研究プロジェクト1), (新規), 平成26年度, 機能性低血糖と睡眠時ブラキシズムの発生に関する研究, 原 節宏 (代表), 三ツ林裕巳 (分担), 渡辺尚彦 (分担), 宇塚 聡 (分担), 宮下 渉 (分担), 中原悦夫 (分担), 2,740,000円.
- 3) 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 新規, 平成26年度, 基盤研究 (C), 小児における睡眠時無呼吸症の病態解明へ向けた臨床的検証, 小森 成 (代表), 三ツ林裕巳 (分担), 大津光寛 (分担), 宇塚聡 (分担), 4,160,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 三ツ林裕己, 大津光寛, 小森 成 (共著): わかる! できる! 睡眠治療. ~睡眠時無呼吸症候群における歯科的アプローチ~, 日本歯科大学附属病院 いびき・睡眠時無呼吸診療センター, 東京, 2014.

B. 原著

1. 今井絵美子, 小森 成, 宮下 渉, 宇塚 聡, 藤本雅史, 宮脇剛司, 内田 満: 片側性唇顎口蓋裂患者における早期顎裂部骨移植術の検討, ○日頭顎顔外誌, 2014; 30 (3): 119-125, ISSN: 0914-594X.
Imai E, Komori A, Miyashita W, Uzuka S, Fujimoto M, Miyawaki (7 authors), Effect of primary bone grafting for unilateral cleft lip and palate, J. Jpn. Cranio-Max.-Fac. Surg, 2014; 30 (3): 119-125, ISSN: 0914-594X.
2. Hasegawa Y, Amarsaikhan B, Chinvipas N, Tsukada S, Terada K, Uzuka S, Miyashita W (7th) (10 authors), Comparison of mesiodistal tooth crown diameters and arch dimensions between modern Mongolians and Japanese, ◎☆ Odontology, 2014; 102: 167-175, doi: 10.1007/s10266-013-0130-5.
3. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 片岡彩乃, 林 宗廣, 三代冬彦: 日本歯科大学附属病院教職員の私物デバイス使用状況と業務利用に対する意識調査, ○日本歯科医療管理学会雑誌, 2014; 49 (1): 52-57.
Ando F, Uchida Y, Kobayashi S, Kataoka A, Hayashi M, Mishiro F, A Questionnaire Survey on the Status of Personally-owned Computer and Employees' Attitude toward Own Devices in Dental

Hospitals, Jpn J Dent Prac Admin, 2014 ; 49 (1) : 52-57.

4. 小林清佳, 安藤文人, 北 大樹, 大津光寛, 石垣佳希, 小林さくら子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における針刺し・切創に関する事例の検討—当院過去10年の医療安全報告より—, ○日本歯科医療管理学会雑誌, 2014 ; 49 (3) : 173-180.

Kobayashi S, Ando F, Kita D, Otsu M, Ishigaki Y, Kobayashi S, Hamura A (7th), MISHIRO F (8th), (8 Authors) , Assesment of Needlestick Injuries in The Nippon Dental University Hospital-A Medical Safty Report for the Past Decade-, Jpn J Dent Prac Admin, 2014 ; 49 (3) : 173-180.

5. Yoshida Y, Nagashima K, Komori A, Simple and accurate bonding of lingual retainers with Kommonbase, © J Clin Orthod, 2014 ; 48 (5) : 292-4, medline : 25083673.

C. 総説・解説

1. 永島圭悟: わかる!できる!睡眠治療., 睡眠時無呼吸症候群における歯科的アプローチ; 日本歯科大学校友会・歯学会会報; 40 (2) : 36-41, 2014.
2. 宮脇剛司, 藤本雅史, 高倉真由佳, 梅田 剛, 積山真也, 内田 満: Open septorhinoplastyでの美容外科手技の応用—鼻の機能と整容の両立を目指して—, 日本美容外科学会会報, 36 : 87-95, 2014.
3. 宮脇剛司: 外鼻と鼻内を同時に治療する形成外科との合同手術, 都耳鼻会報, 146 : 48-52, 2015.
4. 杉山晶二: デジタル技術を応用した舌側矯正治療装置とバイオメカニクスについて (解説), 東北矯歯誌 (1340-2668), 22 (1) : 31-34, 2014.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 宮下 渉: KommonBase RESIN カスタムブラケットベース製作用レジン, the Quintessence, 34 (1) : 161-163, 2014.
2. 宮脇剛司: 斜鼻の治療, 形成外科, 58 : 245-255, 2014.
3. 吉屋慶章, 小林さくら子, 安藤文人, 林千亜紀: 上顎左側側切歯の先天欠如を伴う Angle II級症例, 東京矯歯誌, 24 (2) : 100-105, 2014.
4. 大塚絵里佳, 小林さくら子, 栗原綾子, 小林慶介: 上顎大白歯の非対称性を伴う high angle 成人骨格性上顎前突症例, 東京矯正歯科学会雑誌, 24 : 18-22, 2014.
5. 杉山晶二: デジタル技術を応用した矯正診断と治療の優位性について (会議録), 歯界月報 (0583-0281) 7, 61 : 57, 2014.
6. 吉田陽子, 丸山成暢, 小森 成: Enameloplasty を意識した矯正治療の finishing-1 審美性を客観視する, 矯正臨床ジャーナル, 30 (9) : 11-18, 2014.
7. 丸山成暢, 吉田陽子, 小森 成, : Enameloplasty を意識した矯正治療の finishing-2 計測値から予測する (解説), 矯正臨床ジャーナル, 30 (12) : 35-45, 2014.

8. 杉山 晶二：Focus On Digital Dentistry デジタル技術を応用した矯正診断と治療の優位性 Incognito システムの治療効果とバイオメカニクス特性について（解説），*Quintessence of Dental Technology*, (0388-2705), 39 (9)：1352-1366, 2014.
9. 小森 成：矯正歯科治療における“preparation”，*The Quintessence*, 33 (5)：98-109, 2014.
10. 中野紗矢香，小森 成：限局矯正治療が変わる コモンベースレジンを用いたアンカーユニットの活用，*GC CIRKLE*, 151：20-27, 2014.
11. 杉山 晶二：The principles and practice of digital orthodontics フルカスタム矯正 Incognito システムケースレポート（解説），*矯正臨床ジャーナル* (0912-1633), 30：5, 87-113, 2014.
12. 小森 成：確実に成功させる限局矯正治療，*日本歯科大学校友会・歯学会会報*, 39 (4)：40, 2014.
13. 羽村 章，秋山仁志，宇塚 聡，宮下 渉：セルビア公共ラジオ・テレビ局 RTS，番組名・放送日不明.
14. 宇塚 聡，宮下 渉，中野紗矢香，宮下佳子：トリマキーマン「歯ブロック」，日本放送，(2014.9.7放送).

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 小森 成，宮脇剛司，藤本雅史，藤田 綾，内田 満：Binder 症候群における手術計画と咬合再建，第57回日本形成外科学会総会・学術集会 抄録集，421, 2014.
2. 片岡彩乃，小森 成，亀井由希子，宇塚 聡，宮下 渉，藤本雅史，宮脇剛司，内田 満：顎裂部骨移植に伴う Begg 装置を用いた咬合管理，*日口蓋裂誌*, 39 (2)：155, 2014.
3. 小林さくら子，土持 宇，植木健次郎，吉屋慶章，片岡彩乃，安藤文人，後藤尚昭，小森 成，岡本秀平，柳下秀朗，藤城健城，小林隆太郎，荘司洋文：外科的矯正治療における術前・術後矯正治療期間の長さ，第37回日本顎変形症学会総会・学術大会抄録集，24 (2)：158, 2014.
4. 吉屋慶章，土持 宇，小林さくら子，片岡彩乃，安藤文人，植木健次郎，小森 成，荘司洋文，岡本秀平，藤城健城：矯正治療中に歯根吸収が認められた骨格性下顎後退の1症例，第37回日本顎変形症学会総会・学術大会抄録集，24 (2)：168, 2014.
5. 永島圭悟，宇塚 聡，栗原綾子，藤城建樹，岡本秀平，小森 成：上顎劣成長を伴う著しい骨格性開咬症例，第37回日本顎変形症学会総会・学術集会抄録集，24 (2)：169, 2014.
6. 須田健司，宇塚 聡，小森 成：骨格性下顎前突患者の顎矯正手術前後の舌骨位置と気道変化の検討，第22回日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集，7：34, 2014.
7. 今野喜文，宇塚 聡，須田健司，小森 成：骨格性開咬患者の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討，第22回日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集，34,

2014.

8. Komori A, Imai E, Nagashima K, Otsuka K : Customized bracket base and bonding property, 90th Congress of European Orthodontic society, プログラム, 2014. (CD-ROM)
9. 宮下 渉, 宇塚 聡, 内田裕子, 岩崎由香利, 片岡彩乃, 小森 成, 原 節宏, 秋山仁志, 三代冬彦, 羽村 章 : 歯科教育用患者ロボットシミュレーションシステム SIMROID を用いた矯正用ブラケット装着実習, 第33回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 39 : 146, 2014.
10. 小林さくら子, 沼部幸博, 藤井一維, 宮坂 平, 菊池憲一郎, 波多野泰夫, 南雲 保, 小川智久, 山城三喜子, 小松崎明, 長田敬五, 佐藤利英, 二宮一智, 関本恒夫, 羽村 章, 中原 泉 : 日本歯科大学第4学年合同ワークショップ—富士見・浜浦フェスタの成果, 第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 39 : 124, 2014.
11. 秋山仁志, 三代冬彦, 岡田智雄, 横澤 茂, 北村和夫, 小川智久, 中原由絵, 宇塚 聡, 鈴木 淳子, 町田麗子, 山下憲昭, 羽村 章 : 日本歯科大学附属病院群内マッチングによる過去8年間の研修歯科医の在籍型出向状況について, 第33回日本歯科医学教育学会大会プログラム・抄録集, 39 : 167, 2014.
12. 大塚絵里佳, 永島圭吾, 中野紗矢香, 小森 成 : 矯正用接着システムにおけるエナメル質の脱灰深度の比較, 第73回東京矯正歯科学会, 東京, 第73回東京矯正歯科学会大会 抄録集, 26頁 (演題2-5), 東京矯歯誌, 24 (2) : 114, 2014.
13. 内川喜盛, 安藤文人, 小川智久, 三代冬彦 : 歯科大学附属病院に勤務する歯科衛生士の意識調査, 日本歯科医療管理学会雑誌, 49 : 44, 2014.
14. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 小林清佳, 北 大樹, 工藤奈津子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院での誤飲・誤嚥事例についての分析, 日本歯科医療管理学会雑誌, 49 : 50, 2014.
15. 宇塚 聡, 小池みづき, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 須田健司, 宮下 渉, 藤城建樹, 莊司洋文, 小森 成 : 顎矯正手術による舌骨位置と気道形態の変化について—骨格性下顎前突と骨格性開咬の比較—, 第73回日本矯正歯科学会大会 プログラム・抄録集, 161, 2014.
16. 小林さくら子, 植木健次郎, 吉屋慶章, 宮下佳子, 中野紗矢香, 土持 宇, 安藤文人, 小森 成, 鈴木章弘, 新井一仁 : 日本歯科大学附属病院矯正歯科における過去5年間の臨床統計, 第73回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 234, 2014.
17. 永島圭悟, 鹿野千賀, 光岡一行, 内田裕子, 宮下 渉, 宇塚 聡, 小森 成 : 歯科矯正用接着材によるブラケットの接着耐久性に関するランダム化臨床試験, 第73回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 240, 2014.
18. 渡邊尚子, 永島圭悟, 宮下 渉, 宇塚 聡, 小森 成 : 唇顎口蓋裂患者に対する face mask therapy の効果, 第73回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 280, 2014.
19. 小林みなみ, 栗原綾子, 安藤文人, 片岡彩乃, 岩崎由香利, 内田裕子, 小林さくら子, 小森 成 : 日本歯科大学附属病院における歯科衛生士教育カリキュラム構築, 第73回日本矯歯科学会

- 大会プログラム・抄録集, 241, 2014.
20. 宮下佳子, 小森 成, 宮脇剛司, 藤本雅史, 丸山智子, 藤田 綾, 内田 満: Binder 症候群における顎顔面の形態的特徴と咬合再建, 第32回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集, 47, 2014.
 21. 今井絵美子, 宇塚 聡, 小池みづき, 内田裕子, 宮下 渉, 小森 成: 上顎中切歯を抜去して外科的矯正治療を実施した下顎前突症例, 第32回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会プログラム・抄録集, 143, 2014.
 22. 長谷川優, 江面 晃, Batbayar Nomintsetseg, 寺嶋縁里, 宇塚 聡, 寺田員人: Angle I 級正常咬合者の上顎切歯舌側面形態と切歯の位置との関係について, 日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 30, 2014.
 23. 秋山仁志, 三代冬彦, 宇塚 聡, 原 節宏, 宮下 渉, 岡田智雄, 川村浩樹, 山瀬 勝, 新田俊彦, 石田鉄光, 山崎孝子, 荘司洋文, 後藤尚昭, 梅津糸由子, 中村仁也, 北原和樹, 羽村章: 日本歯科大学附属病院平成26年度研修歯科医を対象に実施した SIMROID[®] 研修, 日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 30, 2014.
 24. 内田裕子, 永島圭悟, 宇塚 聡, 小森 成: 歯科矯正用ブラケットの素材による脱落頻度の臨床的検証, 日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 30, 2014.
 25. 安藤文人, 田口 潤, 鈴木洋一, 三代冬彦: 日本歯科大学附属病院への紹介患者の内訳~標本抽出による予備的調査~, 平成26年大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 349-351, 2014.
 26. Akiyama H, Uzuka S, Miyashita W, Hara S, Hamura A: Development of new patient simulation systems (SIMROID) for clinical training of restorative, Journal of Dental Research 90th Program book, 123 (#0938), 2015.
 27. Uzuka S, Suzuki M, Koike M, Watanabe N, Suda K, Miyashita W, Komori A: Hyoid Bone and Pharyngeal Airway Changes After Mandible Setback Surgery, Journal of Dental Research 90th Program book, #1246, 2015
 28. Koike M, Uzuka S, Watanabe N, Suzuki M, Suda K, Nagashima K, Miyashita W, Komori A: Hyoid bone and pharyngeal airway changes after orthognathic surgery of open bite, Journal of Dental Research 90th Program book, #1247, 2015
 29. Nagashima K, Uchida Y, Miyashita W, Uzuka S, Komori A: Evaluation on the bond durability of orthodontics adhesives: Randomized clinical trial, Journal of Dental Research 90th Program book, 140 (#2421), 2015

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウムでの講演

1. 小森 成: 顎裂部骨移植における矯正歯科的管理, 第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会, プレセミナー, 2014. 5. 28.

2. 小森 成：唇顎口蓋裂患者に上顎前方牽引装置は有効か？，第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会，ポストセミナー，2014. 5. 30.
3. Komori A：Versatility of KommonBase for safe and sound lingual orthodontics，11th European Society of Lingual Orthodontics Congress, Como, Italy 2014. 6. 7.
4. 小森 成：矯正歯科の進歩—技術革新と現実—，第10回九州矯正歯科学会学術大会，2015. 3. 8.

(2) 講演会・研究会・研修会での講演

1. 小森 成：睡眠時無呼吸症候群に対する歯科的対応について，歯科医師・歯科医療従事者集団研修会，東京都立心身障害者口腔保健センター，2014. 5. 11.
2. 宇塚 聡：症例分析法・診断，特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会認定医研修プログラム第19回，東京，2014. 6. 9.
3. 宇塚 聡：治療方針の立案・症例報告の実際，特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会認定医研修プログラム第20回，東京，2014. 7. 13-14.
4. 小森 成：睡眠時無呼吸症候群の歯科的側面Ⅱ，日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース，東京，2014. 7. 17.
5. 小森 成：Ⅱ級に対する治療戦略，Twin Force セミナー，東京，2014. 9. 4.
6. 小森 成：限局矯正治療を合理的に検証して確実に適用する，京都市左京歯科医師会学術講演会，京都府歯科医師会口腔保健センター，2014. 9. 6.
7. 小森 成：Enameloplasty を取り入れた矯正治療，IPR & Enameloplasty セミナー，大阪，2014. 9. 7.
8. 宇塚 聡：検査と診断，特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅱ期認定医研修プログラム第2回，東京，2014.10.13.
9. 小森 成：現代矯正歯科事情—技術革新と実際—，日本歯科大学矯正学教室85周年記念祝賀会，2014. 11. 30.
10. 小森 成：Enameloplasty を取り入れた矯正治療，IPR & Enameloplasty セミナー，東京，2014. 12. 7.
11. 小森 成：日本人の見た異文化—日本と外国との違い—，香取市国際交流協会設立10周年記念式典，2014. 12. 14.
12. 小森 成：日本歯科大学附属病院における口唇裂・口蓋裂治療について，第15回 日本における口唇裂・口蓋裂治療に関する多施設共同研究を考える会，東京，2015. 1. 8
13. 小森 成：新しいアンカーユニットを活用した限局矯正，限局矯正セミナー，東京，2015. 3. 1.

● 歯科麻酔・全身管理科 Dental Anesthesia

1. 所属構成員等

教 授 三代 冬彦

准 教 授 中村 仁也, 高橋 誠治

講 師 阿部 恵一, 今井 智明, 小倉 晋, 篠原健一郎

助 教 小林 清佳, 小谷田貴之, 山田麻衣子, 大島 正充, 三井 陽介
塩谷 伊毅

非常勤歯科医師 生駒久美子, 大越久美子, 五井 貴大, 村田 奈保子

非常勤講師 新崎 裕一, 岡本 順孝, 鹿島 雅彦, 桑原 靖, 関 慎太郎
西田 麻子, 森谷 健一, 平林 幹貴, 新崎 公子

2. 研究テーマ

- 1) 口腔内局所麻酔の用法に関する研究 The Study of the use of Dental Local Anesthesia.
- 2) インプラント手術における疼痛管理の臨床的検討 Clinical Study on Pain Control in Dental Implant Surgery.
- 3) 静脈内鎮静法の安全性向上に関する研究 The Study of Safety Measures for Intravenous Sedation.
- 4) 新歯科医学教育技法 A New Approach for Dental Education.
- 5) 口腔内知覚異常の新しい客観的評価法の開発とその臨床応用について Development and clinical application of objective evaluation on oral sensory paralysis.
- 6) 局所麻酔薬使用時の循環動態の変動に関する研究 The study of Human Circulatory Dynamics in the Dental Local Anesthesia.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 株式会社モリタ製作所委託研究費, (新規), 平成26年度, SIMROID を用いたシミュレーション教育に関する研究, 羽村 章 (代表), 三代冬彦 (分担), 秋山仁志 (分担), 原 節宏 (分担), 宇塚 聡 (分担), 宮下 渉 (分担), 1,000,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 高森 等, 小倉 晋: 第1章口腔インプラント学の基礎 I インプラント治療の歴史, 2-4, 佐藤淳一, 高森 等 (監修), 歯学生の口腔インプラント学, 医歯薬出版, 東京, 2014, ISBN978-4-263-45781-8.
2) 高森 等, 小倉 晋: 第3章治療計画 (診察・検査・診断) III インフォームドコンセント, 56, 佐藤淳一, 高森 等 (監修), 歯学生の口腔インプラント学, 医歯薬出版, 東京, 2014, ISBN978-4-263-45781-8.
2. 小倉 晋: 歯科インプラント用語大全, 154, 207, 225, 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順 (編集) インプラントデンティストリーエンサイクロペディア, クインテッセンス出版, 東京, 2014, ISBN978-4-7812-0409-3.
3. 1) 高橋誠治: 一次救命処置 (2010年ガイドライン), 353-358, 金子明寛, 須田英明, 佐野公人, 柴原孝彦, 川辺良一 編集, 歯科における薬の使い方 2015-2018 (第1版第1刷), デンタルダイヤモンド, 東京, 2014.
2) 高橋誠治: (2) 二次救命処置 (2010年ガイドライン), 359-362, 金子明寛, 須田英明, 佐野公人, 柴原孝彦, 川辺良一 編集, 歯科における薬の使い方 2015-2018 (第1版第1刷), デンタルダイヤモンド, 東京, 2014.

B. 原著

1. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 片岡彩乃, 林 宗廣, 三代冬彦: 日本歯科大学附属病院教職員の私物デバイス使用状況と業務利用に対する意識調査, ○日本歯科医療管理学会雑誌, 2014; 49 (1): 52-57.
Ando F, Uchida Y, Kobayashi S, Kataoka A, Hayashi M, Mishiro F (6authors), A Questionnaire Survey on the Status of Personally-owned Computer and Employees' Attitude toward Own Devices in Dental Hospitals, Jpn J Dent Prac Admin, 2014; 49 (1): 52-57.
2. 森本恵子, 砂田勝久, 小倉 晋, 篠原健一郎: RRa (Acoustic Respiration Rate) モニターは静脈内鎮静法下歯科治療時の呼吸測定に有用である, 日歯麻誌, 2014; 42 (1): 8-11.
Morimoto K, Sunada K, Ogura S, Shinohara K: The RRa (Acoustic Respiration Rate) Monitor is Useful for Respiration Rate Measurement during Intravenous Sedation for Dental Treatment, J.Jpn.Dent.Soc.Anesthesiol, 2014,; 42 (1): 8-11.
3. 小林清佳, 安藤文人, 北 大樹, 大津光寛, 石垣佳希, 小林さくら子, 羽村 章, 三代冬彦,

内川喜盛：日本歯科大学附属病院における針刺し・切創に関する事例の検討—当院過去10年の医療安全報告書より—, ○日本歯科医療管理学会誌, 2014; 48 (3) : 173-180.

Kobayashi S, Ando F, Kita D, Otsu M, Ishigaki Y, Kobayashi S, Hamura A, Mishiro F, Uchikawa M (9authors) : Assessment of Needlestick Injuries in The Nippon Dental University Hospital –A Medical Safety Report for the Past Decade–.Jpn J Dent Prac Admin,2014 ; 48 (3) : 173-180.

C. 総説・解説

1. 高橋誠治：突然の心肺停止と最新版救命処置，東京都新宿区四谷牛込歯科医師会歯報，第6号；10-18, 2014年.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 塩谷伊毅，今井智明，平林幹貴，阿部恵一，中村仁也：頻回な肘内障の既往を有する患児の全身麻酔下歯科治療経験，日本歯科麻酔学会，43（1）：42-43,2014.
2. 三井陽介，石垣佳希，今井智明，阿部恵一，石井達也，中村仁也：ワルファリン服用患者の観血処置におけるコアグチェック XS® の有用性について，有病者歯科医療，23巻（1号）：P16-19,2014.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 宮下 渉，宇塚 聡，内田裕子，岩崎由香利，片岡彩乃，小森 成，原 節宏，秋山仁志，三代冬彦，羽村 章：歯科教育用患者ロボットシミュレーションシステム SIMROID を用いた矯正用ブラケット装着実習，第33回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 プログラム・抄録集，146, 2014.
2. 秋山仁志，三代冬彦，宇塚 聡，原 節宏，宮下 渉，岡田智雄，川村浩樹，山瀬 勝，新田俊彦，石田鉄光，山崎孝子，莊司洋文，後藤尚昭，梅津糸由子，中村仁也，北原和樹，羽村章：日本歯科大学附属病院平成26年度研修歯科医を対象に実施したシムロイド研修の概要，平成26年度 日本歯科大学歯学会 第1回ウィンターミーティング プログラム・抄録集，29, 2014.
3. Akiyama H, Uzuka S, Miyashita W, Hara S, Hamura A : Development of new patient simulation systems (SIMROID) for clinical training of restorative, Journal of Dental Research 90th Program book, 123 (#0938), 2015.
4. 内川喜盛，安藤文人，小川智久，三代冬彦：歯科大学附属病院に勤務する歯科衛生士の意識調査，日本歯科医療管理学会雑誌，49：44, 2014.

5. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 小林清佳, 北 大樹, 工藤奈津子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院での誤飲・誤嚥事例についての分析, 日本歯科医療管理学会雑誌, 49: 50, 2014.
6. 安藤文人, 田口 潤, 鈴木洋一, 三代冬彦: 日本歯科大学附属病院への紹介患者の内訳~標本抽出による予備的調査~, 平成26年大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2014.
7. 草間博文, 横澤 茂, 石田鉄光, 石井隆資, 小川智久, 大澤銀子, 仲谷 寛, 岡田智雄, 三代冬彦, 羽村 章: 日本歯科大学総合診療科の現在, 日本総合歯科学会雑誌 (事後論文集), 6: 96-98, 2014.
8. 宮下 渉, 宇塚 聡, 内田裕子, 岩崎由香利, 片岡彩乃, 小森 成, 原 節宏, 秋山仁志, 三代冬彦, 羽村 章: 歯科教育用患者ロボットシミュレーションシステム SIMROID を用いた矯正用ブラケット装着実習, 第33回日本歯科医学教育学会および学術大会抄録集, 146, 2014.
9. 坂元麻衣子, 秋山仁志, 石田鉄光, 平賀 泰, 三代冬彦, 岡山浩美, 岡田威一郎, 佐藤奈保子, 川名弘剛, 干川 撰, 内山恵理, 北 梢, 清水慈子, 岩本圭輔, 羽村 章: 部分床義歯補綴学実習におけるオンデマンド方式による実技動画を用いた教育効果の検討, 第33回日本歯科医学教育学会および学術大会抄録集, 104, 2014.
10. 秋山仁志, 三代冬彦, 岡田智雄, 横澤 茂, 北村和夫, 小川智久, 中原由絵, 宇塚 聡, 鈴木淳子, 町田麗子, 山下憲昭, 羽村 章: 日本歯科大学附属病院群内マッチングシステムによる過去8年間の研修歯科医の在籍型出向状況について, 第33回日本歯科医学教育学会および学術大会抄録集, 137, 2014.
11. 濱 仁隆, 山瀬 勝, 大島正充, 石井通勇, 小倉 晋: インプラント治療における各種トルクコントローラーのトルク値再現性, 日口腔インプラント誌, 27: 65, 2014.
12. 倉治真夏, 松野智宣, 浅野一成, 宮澤敦子, 小倉 晋, 高森 等: Basic Fibroblast Growth-Factor 徐放作用を有する軟組織グラフトレイヤーシートの開発, 第68回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 プログラム・抄録集, 199, 2014.
13. 大島正充, 山田麻衣子, 石井通勇, 倉治真夏, 是沢和人, 平賀 泰, 小倉 晋, 高森 等: 当センターに来院したインプラント術後知覚異常の臨床的検討, 日本歯科大学歯学会大会・総会, プログラム・抄録集, 28, 2014.
14. 石井通勇, 濱 仁隆, 大島正充, 山瀬 勝, 小倉 晋: インプラント治療における術者の違いによる各種トルクコントローラーのトルク値再現精度, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号): 193, 2014.
15. 山田麻衣子, 小倉 晋, 水木信之, 石崎 勤, 高森 等: 当センターにおける上顎臼歯部インプラント埋入症例の臨床的検討, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号): 217, 2014.
16. 平賀 泰, 志賀 博, 高森 等, 横山正起, 小倉 晋: 片側臼歯欠損へのインプラント応用患者の咀嚼能力と最大咬合力, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号): 225, 2014.
17. 是沢和人, 小倉 晋, 山田麻衣子, 倉治真夏, 高森 等: 当センターのインプラント希望者に関する臨床統計的観察, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号): 232, 2014.

18. 神垣友希乃, 岩田 洋, 小倉 晋, 高森 等, 代居 敬:インプラントのメンテナンスで来院した患者のうち経過要注意症例についての臨床的検討, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号): 296, 2014.
19. Yamada M : Examination for the secular variation of bone surrounding implants after bone augmentation, Official Publication of the European Association for Osseointegration, Clinical Oral Implants Research, 25 : 276-277, 2014.
20. 大越久美子, 阿部恵一, 五井貴大, 村田奈保子, 生駒久美子, 塩谷伊毅, 山田麻衣子, 大島正充, 篠原健一郎, 中村仁也:異常絞扼反射を有する外来患者の麻酔管理に関する臨床統計, 日歯麻誌, 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会プログラム・抄録, 131, 2014.
21. 小谷田貴之, 角田らいら, 緒方理人, 三井陽介, 小林清佳, 石井聡至, 小倉 晋, 今井智明, 高橋誠治, 三代冬彦, 中村仁也: Sjogren-Larsson 症候群患者の全身麻酔管理を経験した1症例, 日歯麻誌, 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会プログラム・抄録, 144, 2014.
22. 山田麻衣子, 小倉 晋, 倉治真夏, 是澤和人, 大島正充, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 水木信之, 高森 等:上顎臼歯部におけるインプラント治療についての臨床的検討, 日口外誌, 60 : 153, 2014.
23. 是澤和人, 小倉 晋, 山田麻衣子, 大島正充, 高森 等:当センターにおけるインプラント治療希望者に関する動向について, 日口外誌, 60 : 154, 2014.
24. Yanai C, Sakai Y, Hiraga Y, Akiyama H, Yamase M, Yokozawa S, Takamori H, Ogura S : Functional evaluation of implant treatment in edentulous after surgical resection of oral cancer, 顎顔面インプラント誌, 13 (3) : 123, 2014.
25. 大島正充, 篠原健一郎, 山田麻衣子, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 高森 等, 小倉 晋, 中村仁也:インプラント手術時の下顎孔伝達麻酔におけるレボブピバカインとアドレナリン添加2%リドカインについての比較検討, 顎顔面インプラント誌, 13 (3) : 134, 2014.
26. Shinohara K, Shirase T, Nakamura K : Anesthetic during dental Treatment for a patient with Congenital Asplenia Syndrome, 22nd The iADH International Congress (Berlin, October 2-4) - Abstract -, Page27, 2014.
27. 石崎 勤, 井出吉昭, 山田麻衣子, 小倉 晋, 高森 等: 8年間機能した歯科インプラント体周囲骨を病理組織学的検討した一症例, 日口腔インプラント誌, 第34回近畿北陸支部学術大会プログラム・抄録集, 73, 2015.
28. Yamase M, Hama M, Ishii M, Oshima M, Koyama M, Sobukawa Y, Ogura S : Accuracy of Output Generated by Torque Controllers for Implant Treatment, International Association for Dental Research, 2015.
29. 安藤文人, 内田裕子, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 小林清佳, 北 大樹, 工藤奈津子, 羽村 章, 三代冬彦, 内川喜盛:日本歯科大学附属病院での誤飲・誤嚥事例についての分析, 日本歯科医療管理学会誌, 49 (1) : 50, 2014.
30. 大越久美子, 阿部恵一, 塩谷伊毅, 三井陽介, 生駒久美子, 篠原健一郎, 今井智明, 白瀬敏

臣, 楊 秀慶, 中村仁也: メビウス症候群患者の全身麻酔下歯科治療経験, 障害者歯科 (0913-1663), 35巻 (3号): p 512, 2014.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 中村仁也: 第69回国民体育大会長崎がんばらんば国体2014サーリング競技監督会議, アンチドーピングについて, 長崎県, 2014年10月12日.
2. 中村仁也: 有病者の歯科治療 (緊急事態を起こさないために), 埼玉県北足立歯科医師会北足立歯科医師会, 口腔保健センター, 埼玉県, 2014年7月16日.
3. 小倉 晋: インプラント治療における患者服用薬と術前検査, (公社) 日本口腔インプラント学会, 専門歯科衛生士セミナー, 東京都千代田区, 2014年9月14日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 三代冬彦: 歯科医事紛争の対応と防止 (歯科医療裁判から学ぶ), 第27回四国地区日本歯科大学校友会歯学研修会, 徳島, 2014年9月20日.
2. 三代冬彦: 知覚異常への対応とその予防, 江戸川区校友会, 東京, 2015年3月25日.
3. 高橋誠治: AHA ACLS インストラクター eラーニング研修, アメリカ心臓協会研修会, 東京都 (2014年4月20日), 仙台市 (4月29日), 東京都 (5月6日).
4. 高橋誠治: AHA BLS インストラクター eラーニング研修, アメリカ心臓協会研修会, 東京都 (2014年6月1日), 札幌市 (10月5日), 東京都, (6月7日).
5. 高橋誠治: AHA BLS HCP, アメリカ心臓協会研修会, 坂戸市 (2014年4月13日), 坂戸市 (4月27日), 東京都 (6月8日), 新潟市 (7月20日・午前), 新潟市 (7月20日・午後), 仙台市 (10月19日・午前), 仙台市 (10月19日・午後), 東京都 (10月26日・午前), 東京都 (10月26日・午後), 坂戸市 (11月16日・午前), 坂戸市 (11月16日・午後), 東京都 (12月14日), 東京都 (2015年3月8日・午前), 東京都 (3月8日・午後), 坂戸市 (3月15日)
6. 高橋誠治: AHA ACLS HCP, アメリカ心臓協会研修会, 越谷市 (2014年5月10日), 越谷市 (12月21日)
7. 小倉 晋: インプラント外科手技の今 大学病院におけるトラブル症例, DENTSPLY IMPLANTS Japan Summit2014, 東京都, 2014年11月23日.
8. 山田麻衣子: インプラント治療における全身管理と局所麻酔, 第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース (基礎), 千代田区, 2015年3月7日.
9. 小倉 晋: (1) 一次手術術式について, (2) 二次手術術式について, (3) 外科・補綴総合トレーニングコース (基礎), (4) アストラテック, スプラインインプラントについて, 第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース (基礎), 千代田区, 2015年3月7日.

10. 小倉 晋：(1) 外科実習（一次，二次手術），(2) 適応拡大，(3) 治療成績と症例提示，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月8日。
11. 篠原健一郎：歯科治療時の全身的偶発症と救急薬の選択，社団法人与野歯科医師会立与野歯科休日診療所医療安全研修会，埼玉県さいたま市，2014年11月29日。
12. 篠原健一郎：救急薬品について，社団法人与野歯科医師会立与野歯科休日診療所医療安全研修会，埼玉県さいたま市，2014年9月10日。

● 歯科放射線口腔病理診断科

Division of Oral Diagnosis, Dental and Maxillofacial Radiology and Oral Pathology Diagnostic Services

1. 所属構成員等

准 教 授 柳下 寿郎

講 師 柴田 聡彦, 林 宗廣, 岩田 洋

非常勤歯科医師 浅井 桜子

客員教授 岡部 貞夫

2. 研究テーマ

- 1) 口腔粘膜上皮内癌の病理組織学的診断基準 Histopathological criteria for diagnosis of carcinoma in situ oral mucosa.
- 2) 扁平上皮癌における浸潤様式と予後との関連 Association with mode of invasion and prognosis in squamous cell carcinoma.
- 3) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer, and supportmentfor QOL of the oral cancer patients.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. 大澤銀子, 北原和樹, 横澤 茂, 大津光寛, 岩田 洋, 岡田智雄, 内川喜盛, 仲谷 寛: 医療コミュニケーション概論実習における質問会議の応用, 日本歯科医学教育学会雑誌, 2014; 30: p163-9.

C. 総説・解説

1. 岩田 洋: 日々の臨床 Q&A 歯科用 CT の被ばく線量ってどのくらいですか? インプラントの経過観察で, 年に1回撮影しても大丈夫ですか?, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 40: p36-37, 2014.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. Kumazawa Y, Kawai T, Shirase T, Yagishita H, Yoshida K, Yosue T: Multiple calcifying lesions in the maxilla and mandible of a 4-year-old girl: report of a rare case and literature review, Oral Radiology, 30: 259-264, 2014. DOI 10.1007/s11282-014-0170-8
2. Inaba T, Adachi M, Yagishita H: A case of angioleiomyoma in the buccal space, Odontology, 103: 109-111, 2015. DOI 10.1007/s10266-013-0128-z
3. 八木原一博, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 他9名: 画像上, 骨肉腫を疑った下顎臼歯部腺扁平上皮癌の1例, 埼玉県医師会雑誌, 49: 436-441, 2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 荘司洋文, 岡村 尚, 北詰栄里, 武田宗矩, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 当科における舌「表在癌」に関する臨床病理学的検討, 頭頸部癌, 40: 201, 2014.
2. 武田宗矩, 荘司洋文, 岡村 尚, 北詰栄里, 岩田 洋, 岡部貞夫: 舌における「口腔表在癌」の術前US画像の検討, 頭頸部癌, 40: 257, 2014.
3. 大澤銀子, 仲谷 寛, 岩田 洋, 大津光寛, 岡田智雄, 横澤 茂, 北原和樹, 内川喜盛: 医療コミュニケーション概論実習におけるチームビルディング 質問会議の応用, 日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集33回, p79, 2014.
4. 山崎孝子, 北村和夫, 石井隆資, 岩田 洋, 小倉 陽子, 勝海一郎: 歯内療法学 実習のアンケート調査 アナログエックス線画像とデジタルエックス線画像の比較, 日本歯科医学教育学

- 会総会・学術大会プログラム・抄録集33回, p100, 2014.
5. 神垣友希乃, 岩田 洋, 小倉 晋, 高森 等, 代居 敬: インプラントのメンテナンスで来院した患者のうち経過要注意症例についての臨床的検討, 日本口腔インプラント学会雑誌, 27: p296, 2014.
 6. 小川智久, 遠藤雅徳, 石井通勇, 小堀瑛一, 内山恵理, 岩田 洋, 小林 博: インプラントアバットメントに付着したセメントの除去効果について, 日本歯周病学会会誌, 56: p154, 2014.
 7. 岩田 洋, 小川智久, 熊澤康雄, 石川明子, 山崎孝子, 小林 理, 北村 和夫, 横澤 茂, 滑川初枝, 光安廣記, 山瀬 勝, 永井圭子, 大嶋依子, 関川陽子, 沼田充代, 富永 毅, 杉浦幹則, 松本 智: 歯科人間ドックおよび口腔がん検診に関する意識調査, 日本歯科人間ドック学会学術大会抄録集, p19, 2014.
 8. 辺見卓男, 島津徳人, 工藤朝雄, 柳下寿郎, 佐藤かおり, 青葉孝昭: 舌表在性癌の浸潤段階にみられる細胞表現型の3次元形態解析, 日本病理学会, 第103回日本病理学会総会, 103 (1): 273 (3-H-5) 2014.
 9. 宮嶋大輔, 石井純一, 八木原一博, 桂野美貴, 住本和歌子, 柳下寿郎, 石川文隆: 造血幹細胞移植後に生じた舌癌の1例, 頭頸部癌, 第38回日本頭頸部癌学会総会, 40 (2): 201 (195) 2014.
 10. 荘司洋文, 岡村 尚, 北詰栄里, 武田宗矩, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 当科における舌「表在癌」に関する臨床病理学的検討, 頭頸部癌, 第38回日本頭頸部癌学会総会, 40 (2): 240 (P-001) 2014.
 11. 北村和夫, 酒井康雄, 足立雅利, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡田智雄, 勝海一郎: 巨大病変に対する歯内療法・外科的アプローチ, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム抄録集, 27, 2014.
 12. 八木原一博, 岡部貞夫, 石井純一, 桂野美貴, 住本和歌子, 宮嶋大輔, 石川文隆, 柳下寿郎, 出雲俊之: 30年間治療にあたっている両側表在性舌癌の1例, 日本口腔科学会雑誌, (0029-0297) 63巻1号: Page143-144, 2014.
 13. 北詰栄里, 岡部貞夫, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡村 尚, 谷内美紀: 口腔癌における頸部リンパ節転移およびリンパ節外浸潤陽性症例の検討, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 192 (10-C10), 2015.
 14. 辺見卓男, 柳下寿郎, 荘司洋文, 岡部貞夫, 青葉孝昭: 舌異型上皮の免疫表現型に基づく悪性度評価と Patch-Field- 発癌モデルの検証, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 207 (10-D14), 2015.
 15. 石井純一, 八木原一博, 桂野美貴, 宮嶋大輔, 石川文隆, 柳下寿郎: 舌癌のエラストグラフィ, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 232 (20-C3), 2015.
 16. 谷内美紀, 荘司洋文, 岡本秀平, 岡村 尚, 岡部貞夫, 柳下寿郎: 5年間の当科における舌癌 Stage I 症例の検討, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 257 (20-

D13), 2015.

17. 岡村 尚, 荘司洋文, 北詰栄里, 谷内美紀, 岡部貞夫, 柳下寿郎: 予後不良となった舌扁平上皮癌 stage 1 症例の検討, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 192 (10-C10), 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 柳下寿郎: 日本歯科大学附属病院に来院される口腔癌患者の現状とそこから読み取る今後の歯科診療の取り組み, 第16回日本口腔顎顔面技工研究会学術大会, 東京, 2014年11月8日.
2. 柳下寿郎, 辺見卓男, 岡部貞夫: 当院における舌表在癌の取り扱いの現状と問題点—精度の高い病理組織診断を目指したために—, 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 128 (WS2-4), 奈良, 2015年1月30日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 北詰栄里, 岡村 尚, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 節外浸潤 (+) 症例の検討, 第14回関東地区口腔腫瘍研究会, 東京, 2014年7月27日.
2. 谷内美紀, 岡村 尚, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 急速な転帰を辿った舌癌 T1 症例の検討, 第41回東信頭頸部癌研究会, 軽井沢, 2014年9月20日.
3. 柳下寿郎: Dentist から Stomatologist へ—粘膜病変の診断は簡単あるいは困難? そのポイントは何?—, 富士市歯科医師会, 富士市, 2014年8月30日.
4. 柳下寿郎: 「歯科ドックってなあに?」—意外と多い口腔がん—, 日本歯科大学附属病院市民公開講座, 東京, 2014年9月4日.
5. 柳下寿郎: 最近の口腔がんの現状と当病院の取り組み—新たな病診連携の強化へ—, 日本歯科大学校友会町田市支部, 東京, 2014年12月20日.
6. 南郷孝徳, 荘司洋文, 岡村 尚, 熊澤康雄, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 第257回関東地区口腔腫瘍集談会, 東京, 2015年1月13日.
7. 柳下寿郎: 病理診断からみた口腔癌 (1). 「口腔がんおよび口腔内検診システム」 市場導入検証プロジェクト 第2回勉強会, 東京, 2015年1月25日.
8. 柳下寿郎: 病理診断からみた口腔癌 (2). 「口腔がんおよび口腔内検診システム」 市場導入検証プロジェクト 第3回勉強会, 東京, 2015年2月22日.
9. 岩田 洋: インプラント治療と画像検査: 日本歯科大学 第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会, 東京, 2015年3月7日・8日.

● インプラント診療センター Oral Implant Center

1. 所属構成員等

教 授 高森 等, 秋山 仁志 (併任)
准 教 授 平賀 泰 (併任), 横澤 茂 (併任), 石川 明子 (併任), 石垣 佳希 (併任),
柳井 智恵 (併任), 山瀬 勝 (併任)
講 師 篠原健一郎 (併任), 岩田 洋 (併任), 小倉 晋 (併任), 酒井 康雄 (併任)
助 教 山田麻衣子 (併任), 佐藤奈保子 (併任), 石井 通勇 (併任), 大島 正充 (併任)
非常勤歯科医師 是澤 和人 (併任), 倉治 真夏 (併任)
非常勤講師 石崎 勤 (併任), 青木 護 (併任), 水木 信之 (併任), 田外 貴弘 (併任),
濱 仁隆 (併任), 新崎 公子 (併任)

2. 研究テーマ

- 1) インプラント体埋入後の周囲骨の構造変化について Morphologic change of jaw bone after implant installation.
- 2) インプラント治療に関係した顎骨の骨量 (形態) と骨質について Quantity (Shape) and quality of jaw bone concerning to implant treatment.
- 3) インプラント治療の長期臨床的検討 A study on long term of dental implant treatment.
- 4) インプラント手術における疼痛管理の臨床的検討 Clinical study on pain control in dental implant surgery.
- 5) 下顎骨形態および下顎管についての放射線学的検討 Radiological examination of mandibular bone shape and mandibular canals.
- 6) インプラント体・アバットメント界面の変化 Change of surface texture in implant-abutment interface.
- 7) インプラント治療前後の咀嚼機能の評価 Evaluation of a masticatory function after implant treatment.
- 8) 顎顔面領域の顎欠損に対する機能再建 (骨造成およびインプラント治療) Functional reconstruction to a jaw deficit of maxillofacial. (Bone development and implant treatment)

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 高森 等, 小倉 晋 (分担): 第1章口腔インプラント学の基礎Ⅰ インプラント治療の歴史, 高森 等, 佐藤淳一監修, 2-5, 歯学生の口腔インプラント学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, ISBN978-4-263-45781-8.
- 2) 井出吉昭, 高森 等 (分担): 第1章口腔インプラント学の基礎Ⅲ インプラント治療に必要な局所解剖, 高森 等, 佐藤淳一監修, 9-16, 歯学生の口腔インプラント学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, ISBN978-4-263-45781-8.
- 3) 高森 等, 小倉 晋 (分担): 第3章治療計画 (診察・検査・診断)Ⅳ インフォームドコンセント, 高森 等, 佐藤淳一監修, 56-57, 歯学生の口腔インプラント学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, ISBN978-4-263-45781-8.
2. 小倉 晋 (分担): 歯科インプラント用語大全: 田中 収, 嶋田 淳, 白川正順 (編集) 154,207,225, インプラントデンティストリーエンサイクロペディア, クインテッセンス出版, 東京, 2014.

B. 原著

1. 森本恵子, 砂田勝久, 小倉 晋, 篠原健一郎: RRa (Acoustic Respiration Rate) モニターは静脈内鎮静法下歯科治療時の呼吸測定に有用である, 日歯麻誌, 2014; 42 (1): 8-11.
Morimoto K, Sunada K, Ogura S, Shinohara K: The RRa (Acoustic Respiration Rate) Monitor is Useful for Respiration Rate Measurement during Intravenous Sedation for Dental Treatment, J.Jpn.Dent.Soc.Anesthesiol, 2014; 42 (1): 8-11.

C. 総説・解説

1. 高森 等: 「上顎インプラント手術に必要な基礎知識—上顎洞を後上方から解剖する—」 解剖・画像診断・外科手技について 3. 上顎のインプラント手術に関連した局所解剖, 日本歯科大学校友会・歯学会 会報, 40: 46-48, 2014.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 高森 等：徹底解説！インプラント治療 噛む力を取り戻す 歯を失った人の最強の味方インプラント, 80-85, 安心の歯科治療完全ガイド2015, 学研パブリッシング, 東京, 2014, ISBN978-4-05-610541-4.
2. 高森 等：“お口のことなら何でもわかるテーマパーク8020歯を失ったらインプラント”, 歯とお口のホームページ公益社団法人日本歯科医師会歯, <http://www.jda.or.jp/park/lose/index19.html>, (参照2015-3-31).

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 濱 仁隆, 山瀬 勝, 大島正充, 石井通勇, 小倉 晋：インプラント治療における各種トルクコントローラーのトルク値再現性, 日口腔インプラント誌, 27 : 65, 2014.
2. 倉治真夏, 松野智宣, 浅野一成, 宮澤敦子, 小倉 晋, 高森 等：Basic Fibroblast Growth Factor 徐放作用を有する軟組織グラフトレイヤーシートの開発, 第68回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 プログラム・抄録集, 199, 2014.
3. 大島正充, 山田麻衣子, 石井通勇, 倉治真夏, 是澤和人, 平賀 泰, 小倉 晋, 高森 等：当センターに来院したインプラント術後知覚異常の臨床的検討, 日本歯科大学歯学会大会・総会, プログラム・抄録集, 28, 2014.
4. 石井通勇, 濱 仁隆, 大島正充, 山瀬 勝, 小倉 晋：インプラント治療における術者の違いによる各種トルクコントローラーのトルク値再現精度, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号) : 193, 2014.
5. 山田麻衣子, 小倉 晋, 水木信之, 石崎 勤, 高森 等：当センターにおける上顎臼歯部インプラント埋入症例の臨床的検討, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号) : 217, 2014.
6. 平賀 泰, 志賀 博, 高森 等, 横山正起, 小倉 晋：片側臼歯欠損へのインプラント応用患者の咀嚼能力と最大咬合力, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号) : 225, 2014.
7. 是澤和人, 小倉 晋, 山田麻衣子, 倉治真夏, 高森 等：当センターのインプラント希望者に関する臨床統計的観察, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号) : 232, 2014.
8. 神垣友希乃, 岩田 洋, 小倉 晋, 高森 等, 代居 敬：インプラントのメンテナンスで来院した患者のうち経過要注意症例についての臨床的検討, 日口腔インプラント誌, 27 (特別号) : 296, 2014.
9. Yamada M : Examination for the secular variation of bone surrounding implants after bone augmentation, Official Publication of the European Association for Osseointegration, Clinical Oral Implants Research, 25 : 276-277, 2014.
10. 大越久美子, 阿部恵一, 五井貴大, 村田奈保子, 生駒久美子, 塩谷伊毅, 山田麻衣子, 大島正

- 充, 篠原健一郎, 中村仁也: 異常絞扼反射を有する外来患者の麻酔管理に関する臨床統計, 日
歯麻誌, 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会プログラム・抄録, 131, 2014.
11. 小谷田貴之, 角田らいら, 緒方理人, 三井陽介, 小林清佳, 石井聡至, 小倉 晋, 今井智明,
高橋誠治, 三代冬彦, 中村仁也: Sjogren-Larsson 症候群患者の全身麻酔管理を経験した1症
例, 日歯麻誌, 第42回日本歯科麻酔学会総会・学術集会プログラム・抄録, 144, 2014.
 12. 山田麻衣子, 小倉 晋, 倉治真夏, 是澤和人, 大島正充, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 水
木信之, 高森 等: 上顎臼歯部におけるインプラント治療についての臨床的検討, 日口外誌,
60:153, 2014.
 13. 是澤和人, 小倉 晋, 山田麻衣子, 大島正充, 高森 等: 当センターにおけるインプラント治
療希望者に関する動向について, 日口外誌, 60:154, 2014.
 14. Yanai C, Sakai Y, Hiraga Y, Akiyama H, Yamase M, Yokozawa S, Takamori H, Ogura S :
Functional evaluation of implant treatment in edentulous after surgical resection of oral cancer,
顎顔面インプラント誌, 13 (3) :123, 2014.
 15. 大島正充, 篠原健一郎, 山田麻衣子, 酒井康雄, 柳井智恵, 石崎 勤, 高森 等, 小倉 晋,
中村仁也: インプラント手術時の下顎孔伝達麻酔におけるレボブピバカインとアドレナリン添
加2%リドカインについての比較検討, 顎顔面インプラント誌, 13 (3) :134, 2014.
 16. Shinohara K, Shirase T, Nakamura K : Anesthetic Management during Dental Treatment for a
Patient with Congenital Asplenia Syndrome, 22nd The iADH International Congress (Berlin, Oc-
tober 2-4) - Program -, Page22, 2014.
 17. 石崎 勤, 井出吉昭, 山田麻衣子, 小倉 晋, 高森 等: 8年間機能した歯科インプラント体
周囲骨を病理組織学的検討した一症例, 日口腔インプラント誌 第34回近畿北陸支部学術大会
プログラム・抄録集, 73, 2015.
 18. Yamase M, Hama M, Ishii M, Oshima M, Koyama M, Sobukawa Y, Ogura S : Accuracy of
Output Generated by Torque Controllers for Implant Treatment, 93rd IADR General session pro-
gram book, 146, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 小倉 晋: インプラント治療における患者服用薬と術前検査, (公社)日本口腔インプラント
学会, 専門歯科衛生士セミナー, 東京都千代田区, 2014年9月14日.
2. 高森 等: 専修医・専門医・指導医資格取得のためのガイダンス 学術論文の書き方, 第44回
公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 認証医・専門医・編集委員会セミナー, 講
演, 東京, 2014年9月14日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 高森 等: インプラント治療の総合的診断と治療計画, NPO 法人埼玉インプラント研究会主

- 催（公社）日本口腔インプラント学会認定講習会，さいたま市，2014年6月8日．
2. 高森 等：最近のインプラント治療を考察する，栃木県日本歯科大学校友会総会・研修会（特別講演），宇都宮市，2014年6月29日．
 3. 高森 等：「上顎インプラント手術に必要な基礎知識—上顎洞を後上方から解剖する—」解剖・画像診断・外科手技について 3. 上顎のインプラント手術に関連した局所解剖，平成26年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース，東京都，2014年7月13日．
 4. 高森 等：歯を失う原因とインプラント治療 事故・けがで歯を失った！歯の機能と審美性を回復する適切な治療とは？，OJ 第2回都民フォーラム，東京都，2014年7月26日．
 5. 高森 等：インプラント治療時の留意点と長期経過例の検討，日本歯科先端技術研究所主催（公社）日本口腔インプラント学会認定講習会，朝霞市，2014年10月11日．
 6. 小倉 晋：インプラント外科手技の今 大学病院におけるトラブル症例，DENTSPLY IMPLANTS Japan Summit 2014，東京都，2014年11月23日．
 7. 高森 等：オッセオインテグレーションとは（歴史的背景も含め），診査・診断および患者選択，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月7日．
 8. 岩田 洋：X線診断，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月7日．
 9. 山田麻衣子：インプラント治療における全身管理と局所麻酔，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月7日．
 10. 小倉 晋：一次手術術式について，二次手術術式について，外科的合併症，アストラテック，スプラインインプラントについて，外科実習（一次，二次手術），適応拡大，治療成績と症例提示，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月7-8日．
 11. 山瀬 勝：補綴術式について，補綴的合併症，補綴実習，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月7-8日．
 12. 青木 護：メンテナンスとフラッシング指導，第30回オッセオインテグレートッドインプラント研修会 外科・補綴総合トレーニングコース（基礎），千代田区，2015年3月8日．

● 顎変形症診療センター Jaw Deformity Clinic

1. 所属構成員等

教 授 小森 成 (併任)

准 教 授 渡辺 昌司 (併任), 後藤 尚昭 (併任), 小林さくら子 (併任),
宇塚 聡 (併任), 安藤 文人 (併任)

講 師 藤城 建樹 (併任), 宮下 渉 (併任), 今井 智明 (併任), 岩崎由香利 (併任)

助 教 土持 航 (併任), 片岡 彩乃 (併任), 吉田 陽子 (併任)

非常勤歯科医師 土持 宇 (併任), 栗原 綾子 (併任), 今井絵美子 (併任)

宇井 智子 (併任), 植木健太郎 (併任), 吉屋 慶章 (併任)

歯科衛生士 西口はづき (併任), 奥 美和子 (併任)

2. 研究テーマ

- 1) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 大塚絵里佳, 小林さくら子, 栗原綾子, 小林慶介: 上顎大白歯の非対称性を伴う high angle 成人骨格性上顎前突症例, 東京矯正歯科学会雑誌, 24: 18 - 22, 2014.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 今井絵美子, 宇塚 聡, 小池みづき, 内田裕子, 宮下 渉, 小森 成: 上顎中切歯を抜去して外科的矯正治療を実施した下顎前突症例, 第32回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会(名古屋)・抄録集, 47, 2014.
2. 須田健司, 宇塚 聡, 小森 成: 骨格性下顎前突患者の顎矯正手術前後の舌骨位置と気道変化の検討, 第22回日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 34, 2014.
3. 今野喜文, 宇塚 聡, 須田健司, 小森 成: 骨格性開咬患者の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討, 第22回日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 34, 2014.
4. 宇塚 聡, 小池みづき, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 須田健司, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 小森 成: 顎矯正手術による舌骨位置と気道形態の変化について—骨格性下顎前突と骨格性開咬の比較—, 第73回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 161, 2014.
5. 小林さくら子, 土持 宇, 植木健次郎, 吉屋慶章, 片岡彩乃, 安藤文人, 後藤尚昭, 小森成, 岡本秀平, 柳下秀郎, 藤城建樹, 小林隆太郎, 荘司洋文, 鈴木章弘, 新井一仁: 外科的矯正治療における術前・術後矯正治療期間の長さ, 第24回日本顎変形症学会総会(福岡)プログラム・抄録号, 158, 2014.
6. 岡本秀平, 藤城建樹, 荘司洋文, 柳下秀郎, 小林隆太郎: 顎変形症患者の既往症についての検討, 第24回日本顎変形症学会総会(福岡)プログラム・抄録号, 160, 2014.
7. 吉屋慶章, 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 安藤文人, 植木健次郎, 小森 成, 荘司洋文, 岡本秀平, 藤城建樹: 矯正治療中に歯根吸収が認められた骨格性下顎後退の1症例, 第24回日本顎変形症学会総会(福岡)プログラム・抄録号, 168, 2014.
8. 永島圭悟, 宇塚 聡, 栗原綾子, 藤城建樹, 岡本秀平, 小森 成: 上顎劣成長を伴う著しい骨格性開咬症例, 第24回日本顎変形症学会総会(福岡)プログラム・抄録号, 169, 2014.

9. 平松悠紀, 荘司洋文, 阪本まり, 岡本秀平, 藤城建樹, 熊澤康雄: オトガイ術形成後に口腔底に著名な浮腫を生じ気道確保を要した一例, 198回日本口腔外科学会第関東支部学術集会プログラム集, 12, 2014.
10. Uzuka S, Suzuki M, Koike M, Watanabe N, Suda K, Miyashita W, Komori A : Hyoid bone and pharyngeal airway changes after mandible setback surgery, Journal of Dental Research 93th Program book, 135 (#1246), 2015.
11. Koike M, Uzuka S, Watanabe N, Suzuki M, Suda K, Nagashima K, Miyashita W, Komori A : Hyoid bone and pharyngeal airway changes after orthognathic surgery of open bite, Journal of Dental Research 90th Program book, 120 (#0856), 2015.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

● 臨床検査室 Department of Clinical Laboratory

1. 所属構成員

医療職員 藤田 裕紀, 荒井 千明, 比留間 馨, 矢島 知美

2. 研究テーマ

記載事項なし

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

記載項目なし

B. 原著

記載事項なし

C. 総説, 解説

記載項目なし

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 柴田 潔, 長谷川和清, 荒井千明: 日本産海藻の赤血球に対する溶血作用と保護作用Ⅱ 日

本歯科大学紀要, 44 : 37-41, 2015. doi : 10, 14983/00000740.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

記載事項なし

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

● 生命歯学研究科臨床口腔機能学大学院

Division of Clinical Oral Rehabilitation

1. 所属構成員等

教 授	菊谷 武
4 年 生	元開 早絵, 手島 千陽
3 年 生	佐川敬一郎, 古屋 裕康
2 年 生	岡澤 仁志, 新藤 広基, 矢島 悠里
1 年 生	漆原あゆみ, 塚原 理央, 仲澤裕次郎

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's child care burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第31回一般社団法人 日本障害者歯科学会総会および学術大会, 優秀発表賞, 須釜槇子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武, 2014年11月16日, 特別支援学校における歯科

医療職の教育支援員としての取り組み.

- 2) International Association for Disability and Oral Health (IADH Award), 古屋裕康, 2014年10月4日, Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 多摩在宅N C M研究会 在宅ケア症例検討会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月10日, 2014年7月26日, 2014年11月8日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) 摂食嚥下研修会「症例検討会」, 日本歯科大学附属病院, 2014年6月5日, 2014年10月9日, 2015年2月5日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 3) 日本歯科大学こども摂食・嚥下研修会”, 日本歯科大学附属病院, 2015年1月22日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション科.
- 4) “平成26年度研修セミナーシリーズ小児の摂食指導～心・栄養・そして食べる機能～「食べる機能の発達と障害」日本歯科大学こども摂食・嚥下研修会”, 日本歯科大学附属病院, 2014年10月23日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション科.
- 5) 医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」第1回, 小金井市民交流センター, 2014年5月27日, 2014年9月30日, 2015年2月23日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 6) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「とろみ剤・ゲル化剤の上手な使い方」“食べる”を支える研修会, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年4月25日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 7) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「厨房から変える! 摂食・嚥下機能に合った調理法」“食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月27日①午前の部, ②午後の部, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 8) 障害児にかかわる方向け 研修セミナー 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月20日, 2014年10月16日, 2015年1月16日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 9) 平成26年度 おうちで行う歯科医療 多摩在宅歯科医療研究会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月29日, 2014年9月18日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

- 10) 医療・介護専門職向け 研修会 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「“食べる”を介助する」～おいしく，楽しく，安全に食べるには～“食べる”を支える研修会，日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック，2014年5月16日，日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック。
- 11) 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 臨床カンファレンス，日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック，2014年11月27日，2015年3月19日，日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック。

6. 国際交流状況

- 1) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ。嚥下内視鏡を用いた摂食・嚥下機能評価，重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論，2014年6月24日～7月4日。

7. 外部・学内研究費

- 1) 厚生労働科学研究委託費，長寿科学総合研究事業（新規），平成26年～28年度，地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討，菊谷 武（代表），呉屋朝幸，神崎恒一，長島文夫，田中良典，道脇幸博，八重垣健（分担），8,890,000円。
- 2) 厚生労働科学研究費補助金，循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業（継続），平成24年～26年度，歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究，菊谷武（代表），弘中祥二，角 保徳，窪木拓男，吉田光由，岸本裕充，大野友久，荒川浩久（分担），2,850,000円。
- 3) 厚生労働科学研究費補助金，長寿科学総合研究事業（継続），平成24年～26年度，地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて，葛谷雅文（代表），森本茂人，大類 孝，菊谷 武，杉山みち子，榎 裕美，若林秀隆（分担）7,950,000円。
- 4) 厚生労働科学研究費補助金，長寿科学総合研究事業（継続），平成24年～26年度，虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究，飯島勝矢，大内尉義，菊谷 武，東口高志，高田和子，大淵修一（分担）30,000,000円。
- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究C），（継続），平成24年～27年度，摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態 / 薬力学的検討，菊谷 武（代表），松本宣明，小野真一（分担），780,000円。
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究C），（継続），平成24年～26年度，子どものヘルスプロモーションのため食育推進：母子支援方法の探索研究，田村文誉（代表），八重垣健，西脇恵子，菊谷 武（分担），1,300,000円。
- 7) 厚生労働省長寿科学研究開発費，（継続），平成25年～27年度，高齢者の口腔機能の評価法及び維

持・向上法に関する研究, 角 保徳 (代表), 渡邊 哲, 海老原覚, 植松 宏, 菊谷 武, 道脇 幸博, 永長周一郎, 三浦宏子, 岩渕博史, 櫻井 薫, 深山治久, 森戸光彦 (分担), 10,000,000 円.

8) 厚生労働科学研究費補助金, 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業, 長寿科学総合研究事業, (継続), 平成25年~27年度, 口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究, 東口高志 (代表), 菊谷 武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松崎政三, 真田弘美, 鎌倉やよい (分担), 11,570,000円.

9) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, (基盤研究 C), (新規), 平成26年~27年度, 口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究, 高橋賢晃 (代表), 菊谷 武, 田村 文誉 (分担), 2,900,000円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 菊谷 武 (分担執筆): 高齢者ではよくみられる, 口腔内および口腔周囲の不随意運動 (オーラルディスキネジア) が止まらない症例, 里宇明元, 藤原俊之監修, 植松 宏, 清水充子, 高橋秀寿, 辻 哲也編, ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版, 233-239, 医歯薬出版, 東京, 2014, 978-4-263-21858-7.
- 2) 菊谷 武 (分担執筆): 習慣性顎関節脱臼にて下顎位が定まらず, 摂食・嚥下に困難をきたした症例, 里宇明元, 藤原俊之監修, 植松 宏, 清水充子, 高橋秀寿, 辻 哲也編, ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版, 240-244, 医歯薬出版, 東京, 2014, 978-4-263-21858-7.
- 3) 菊谷 武 (分担執筆): 喉頭摘出術後も嚥下障害が遷延化したワレンベルグ症候群患者に対して軟口蓋挙上装置が効果的であった症例, 里宇明元, 藤原俊之監修, 植松 宏, 清水充子, 高橋秀寿, 辻 哲也編, ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版, 245-247, 医歯薬出版, 東京, 2014, 978-4-263-21858-7.
- 4) 菊谷 武 (分担執筆): 舌接触補助床を装着したことにより口腔移送が改善した ALS の症例, 里宇明元, 藤原俊之監修, 植松 宏, 清水充子, 高橋秀寿, 辻 哲也編, ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版, 248-250, 医歯薬出版, 東京, 2014, 978-4-263-21858-7.
2. 菊谷 武 (分担執筆): 第2章 1. インプラントが埋入されていても噛めなくなるときが来る, 菊谷 武, 窪木拓男編著, 65歳以上の患者さんへのインプラント治療・管理ガイド, 38-41, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2014.
3. 菊谷 武 (監修): スプーン&フォークつき シニアのおいしい健康レシピ, 株式会社主婦の友社, 東京, 2014.
4. 菊谷 武 (分担執筆): IV呼吸器感染症の治療と予防 9. 肺炎予防のための多面的アプロー

チ, 工藤翔二, 武村民子, 江口研二, 川名明彦, 菊池功次, 酒井文和, 三嶋理晃, 吉澤端之編著, 日本胸部臨床 呼吸器感染症 2015, 231-237, 克誠堂出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-7719-0397-5.

5. 菊谷 武 (分担執筆): 3) 重度の要介護者への支援 (1) 在宅歯科医療における支援, 向井美恵, 井上美津子, 安井利一, 眞木吉信, 深井穂博, 植田耕一郎編著, 口腔機能への気づきと支援, 180-183, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-263-42198-7.
6. 菊谷 武 (分担執筆): 口腔機能と低栄養, 葛谷雅文, 酒元誠治編集, MNA 在宅栄養ケア 在宅高齢者の低栄養予防と早期発見, 24-30, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, 978-4-263-70637-4.
7. 菊谷 武 (分担執筆): 摂食・嚥下障害 ①病患概要, ②栄養・食事指導の実際, 加藤昌彦編者, 医師が知っておきたい 外来で役立つ 栄養・食事療法のポイント, 154-160, 161-165, 文光堂, 東京, 2015, 978-4-8306-1388-3.

B. 原著

1. Ishii S, Tanaka T, Shibasaki K, Ouchi Y, Kikutani T, Higashiguchi T, Obuchi S P, Ishikawa -Takata K, Hirano H, Kawai H, Tsuji T and Iijima K, Development of a simple screening test for sarcopenia in older adults, *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; 14 (Suppl.1) : 93-101, doi : 10.1111 /ggi.121997.
2. 原 豪志, 戸原 玄, 近藤和泉, 才藤栄一, 東口高志, 早坂信哉, 植田耕一郎, 菊谷 武, 水口俊介, 安細敏弘; 胃瘻療養中の脳血管障害患者に対する心身機能と摂食状況の調査, ○老年歯科医学, 2014 ; 29 (2) : 57-65
3. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T, One-leg standing time with eyes open : comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, *The Journal of Craniomandibular & Sleep Practice*, 2014 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179 /2151090314Y.0000000007
4. Suzuki R, Kikutani T, Yoshida M, Yamashita Y and Hirayama Y, Prognosis-related factors concerning oral and general conditions for homebound older adults in Japan, ◇ *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; doi : 10.1111 /ggi.12382.
5. Kikutani T, Tamura F, Tashiro H, Yoshida M, Konishi K and Hamada R, Relationship between oral bacteria count and pneumonia onset in elderly nursing home residents, *eriatr Gerontol Int*, 2014 ; 15 (4) : 417-421, doi : 10.1111 /ggi.12286.
6. *水上美樹, 田村文誉, 松山美和, 菊谷 武, ダウン症候群児の粗大運動能と摂食に関わる口腔異常習癖との関連, *障害者歯科学雑誌*, 2015 ; 36 : 17-24. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 菊谷 武: 寝たきりでも快適な生活を送るための訪問歯科, *安心の歯科治療完全ガイド2015*, 108-111, 2014.
2. 菊谷 武: 地域で「食べる」を支えるということ, *地域医療*, 52 (1) : 20-21, 2014.

3. 菊谷 武, 有友たかね, : 口腔ケア連携手帳を用いた地域での取り組み, 地域連携 入退院支援, 7 (3) : 58-62, 2014.
4. 菊谷 武 : ヘルスケア・レストラン, 22 (9) : 63, 2014.
5. 菊谷 武 : 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにて「いろいろビュッフェ」が開催されました, GC CIRCLE, 150 : 34-35, 2014.
6. 菊谷 武 : 在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク, ヘルスケア・レストラン, 22 (10) : 16-17, 2014.
7. 菊谷 武 : Seminar Report 第5回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー, ヘルスケア・レストラン, 22 (12) : 82-83, 2014.
8. 菊谷 武, 田代晴基, 水上美樹, 有友たかね, : 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 (1) : 50-55, 2015.
9. 菊谷 武 : 東京北多摩地区における経口摂取の病診連携を語る, ヘルスケア・レストラン, 23 (1) : 26-29, 2015.
10. 菊谷 武 : インタビュー&レポート 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの軌跡と口腔リハビリテーションの未来, 歯界展望, 124 (4) : 629-632, 2014.
11. 菊谷 武 : 命を守る口腔ケア, 障歯誌, 35 (2) : 115-120, 2014.
12. 菊谷 武 : 特別鼎談 食形態の地域連携と「スマイルケア食」の可能性 食形態区分の新たなツールで退院患者の食と生活をつないでいこう, ヘルスケア・レストラン, 23 (3) : 26-31, 2015.
13. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 1 在宅訪問での摂食嚥下リハビリ, 医療と介護 Next, 1 (1) : 50-51, 2015.
14. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 2 在宅要介護高齢者の歯科受診はこんなに重要だ, 医療と介護 Next, 1 (2) : 50-51, 2015.
15. 菊谷 武 : 特集 在宅医療の新しい展開 Seminar6. 在宅医療における歯科診療, Geriatric Medicine (老年医学), 53 (2) : 143-147, 2015.
16. 菊谷 武 : 口腔機能の維持向上と食事のケアのポイント, 介護福祉, 97 : 43-49, 2015.
17. 菊谷 武, 鰐原賀子 : 3. 口腔保健と生活習慣病, 非感染性疾患 (NCDs, 非伝染性疾患) 4) 循環器疾患 (心臓血管疾患, 脳血管疾患) —口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 112-117, 2015.
18. 菊谷 武, 鰐原賀子 : 4. 口腔保健と要介護状態を引き起こす主な原因疾患との関係 1) 脳卒中—口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 146-150, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 菊谷 武 : 身につけよう よくかむ習慣, 日本経済新聞, 2014年5月3日, 7面, 2014.
2. 菊谷 武 : 誤嚥防止に「食塊」意識を, 東京新聞, 2014年8月27日, 14面, 2014.

3. 菊谷 武, 有友たかね: 歯科衛生士が教える口腔ケア方法, Part6 身体のための口腔ケア, 日経 MOOK 自分にあった歯科医師と出会うためによくわかる 歯科治療2015, NIKKEI MOOK. DENTAK CARE 2015: 145-149, 2014.
4. 菊谷 武: クローズアップ現代, NHK 総合, 2014年12月1日.
5. 菊谷 武: たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学, テレビ朝日, 2014年11月4日.
6. 菊谷 武: いっぷく!, TBS, 2014年11月4日.
7. 菊谷 武: NHK ニュース7, NHK 総合, 2014年9月21日.
8. 菊谷 武: 夢の扉+, TBS, 2014年8月10日.
9. 菊谷 武: 健康のためのニュースな言葉「入れ歯ケア」, 読売新聞, 2015年2月14日.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Tamura F, Genkai S, Hobo K, Kikutani T, Yaegaki K: Only dysphagia therapy is not enough to reduce the burden of mothers with dysphagia children, Spec Care Dentist, 34 (5): 239-240, 2014.
2. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武: 地域連携の取り組み 舌癌術後の症例を通して, 言語聴覚研究, 11 (3): 274, 2014.
3. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武: 言語聴覚士の特別支援学校との連携, 日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集, 40: 65, 2014.
4. 新藤広基, 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 須田牧夫, 羽村 章: 介護保険施設における肺炎発症とリスク因子の検討, 老年歯学, 29 (2): 91, 2014.
5. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 鈴木 亮: 摂食・嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける管理栄養士による栄養ケアの実態と課題, 老年歯学, 29 (2): 96-97, 2014.
6. 佐川敬一郎, 有友たかね, 高橋賢晃, 佐々木力丸, 田代晴基, 元開早絵, 古屋裕康, 岡澤仁志, 新藤広基, 矢島悠里, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武: 入院患者のシームレスな口腔管理を目的とした地域支援モデルの構築に向けた検討, 老年歯学, 29 (2): 109-110, 2014.
7. 鰐原賀子, 平野浩彦, 枝広あや子, 小原由紀, 渡邊 裕, 森下志穂, 本橋佳子, 菅 武雄, 村上正治, 植田耕一郎, 菊谷 武: 要介護高齢者の口腔湿潤度ならびに口腔内細菌に関する実態調査報告, 老年歯学, 29 (2): 116, 2014.
8. 有友たかね, 戸原 雄, 佐々木力丸, 保母妃美子, 田代晴基, 矢島悠里, 岡澤仁志, 新藤広基, 田村文誉, 菊谷 武: 在宅療養中の摂食嚥下障害者に対する歯科衛生士の取り組み, 老年歯学, 29 (2): 120-121, 2014.

9. 野原 通, 加藤智弘, 高橋賢晃, 須田牧夫, 菊谷 武, 布施まどか: 高齢者に発症した骨破壊を伴った下顎骨骨髓炎に対して下顎区域切除・即時再建を行った1例, 老年歯学, 29 (2): 152-153, 2014.
10. 関野 愉, 久野彰子, 田村文誉, 菊谷 武, 沼部幸博: 介護老人福祉施設における20歯以上を有する入居者の歯周疾患罹患状況, 老年歯学, 29 (2): 205-206, 2014.
11. 古田美智子, 竹内研時, 岡部優花, 菊谷 武, 山下喜久: 在宅療養要介護高齢者における口腔機能と死亡に関するコホート研究, 老年歯学, 29 (2): 209-210, 2014.
12. 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 尾関麻衣子, 西脇恵子, 須田牧夫, 羽村 章: 新規開設した日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにおける臨床統計, 老年歯学, 29 (2): 227, 2014.
13. 田中友規, 飯島勝矢, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 小原由紀, 秋下雅弘, 大内尉義: 地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮説構造モデルの検証, 日本老年医学会, 51: 69, 2014.
14. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: 日本人におけるサルコペニアおよび予備群の関連因子の同定—千葉県柏市における大規模健康調査から, 日本老年医学会, 51: 79, 2014.
15. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: サルコペニア危険度に対する自己評価法の開発: 新考案『指輪っかテスト』の臨床的妥当性の検証, 日本老年医学会, 51: 79, 2014.
16. 田中友規, 飯島勝矢, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 小原由紀, 秋下雅弘, 大内尉義: 地域高齢者におけるヘルスリテラシーと健康関連行動・健康アウトカムとの関連, 日本老年医学会, 51: 84, 2014.
17. 矢島悠里, 菊谷 武, 田村文誉, 藤村尚子, 野沢与志津: 高齢者の食選択に及ぼす影響～食選択アンケートを用いて～, 日本老年医学会, 51: 106, 2014.
18. 井上俊之, 菊谷 武, 糟谷明範, 長井陽海, 高橋浩幸, 松崎一代, 松木るりこ, 尾関麻衣子: 胃ろうレストラン, 日本医療マネジメント学会雑誌, 15 (Suppl.): 252, 2014.
19. 左田野智子, 佐藤麻衣子, 新美拓穂, 戸原 雄, 鈴木 亮, 田代晴基, 菊谷 武: 嚥下障害で発症したキアリ I 型奇形の1症例—嚥下リハビリテーションの経過—, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 201, 2014.
20. 佐川敬一郎, 田村文誉, 水上美樹, 今井庸子, 菊谷 武: 代替栄養による栄養改善後に経口摂取量が増えた滑脳症の1例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 210, 2014.
21. 田村文誉, 菊谷 武, 古屋裕康, 高橋賢晃, 小原由紀, 平野浩彦: 健康高齢者の舌筋の厚みに関連する因子の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 213, 2014.
22. 高橋賢晃, 菊谷 武, 古屋裕康, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦: 口腔移送テストによる高齢

- 者の運動障害性咀嚼障害の評価の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 248, 2014.
23. 松木るりこ, 尾関麻衣子, 井上俊之, 石井寿美子, 横山雄士, 松崎一代, 西脇恵子, 菊谷 武: 口から食べるを支援する「いろいろレストラン」の試み, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 308, 2014.
 24. 古屋裕康, 菊谷 武, 田村文誉, 水谷圭介, 泉 綾子: 酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 338, 2014.
 25. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武: 摂食機能訓練が進まない脳幹障害性脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
 26. 米谷敬司, 大野美帆, 齋藤俊夫, 谷 博司, 田村文誉, 高橋賢晃, 保母妃美子, 菊谷 武: 継続的な摂食嚥下リハビリテーションにより安定した経口摂取をおこなっている West 症候群の 2 症例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
 27. 矢島悠里, 田村文誉, 尾関麻衣子, 河合美佐子, 菊谷 武: 高齢者の食選択に味嗅覚変化が及ぼす影響の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 390, 2014.
 28. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武: 摂食機能訓練が進まない脳幹障害性脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
 29. 岡澤仁志, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 田村文誉, 菊谷 武: 当クリニックにおける在宅療養患者に対する訪問診療, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 396, 2014.
 30. 野口加代子, 水上美樹, 有友たかね, 西村美樹, 田中祐子, 菊谷 武: 某リハビリテーションクリニックにおいて実施した介護予防事業(一次予防)とその効果について, 日本歯科衛生学会雑誌, 9 (1): 207, 2014.
 31. 磯田友子, 元開早絵, 町田麗子, 田村文誉, 菊谷 武: 重症心身障害児に対する訪問による摂食嚥下リハビリテーションを行った 1 症例, 障歯誌, 35 (3): 373, 2014.
 32. 西村美樹, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 粗大運動能の発達に伴い離乳食の開始に至った 5p- 症候群患児の摂食指導経験, 障歯誌, 35 (3): 379, 2014.
 33. 辰野 隆, 蒲池史郎, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 障害者施設に対する歯科医師会による摂食支援事業, 障歯誌, 35 (3): 408, 2014.
 34. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武, 花形哲夫, 羽村 章: 高齢者における先行期の食物認知が脳の活性に与える影響, 障歯誌, 35 (3): 459, 2014.
 35. 田中康貴, 須田牧夫, 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設における摂食嚥下機

- 能評価および指導が摂食嚥下障害者の栄養変化に与える効果, 障歯誌, 35 (3) : 502, 2014.
36. 保母妃美子, 須釜槇子, 田代晴基, 西村美樹, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武 : 肥満を特徴とする Prader-Willi 症候群の摂食指導, 障歯誌, 35 (3) 547, 2014.
37. 水上美樹, 田村文誉, 町田麗子, 西村美樹, 野口加代子, 田中祐子, 松山美和, 菊谷 武 : 21 トリソミー児の摂食機能・粗大運動・認知発達に関する実態について, 障歯誌, 35 (3) : 554, 2014.
38. 有友たかね, 戸原 雄, 佐川敬一郎, 田村文誉, 菊谷 武 : 訪問看護ステーションの多機能化モデル事業における歯科衛生士の役割, 障歯誌, 35 (3) : 579, 2014.
39. 須田牧夫, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 水上美樹, 西村美樹, 野口加代子, 有友たかね, 尾関麻衣子, 小口春久, 菊谷 武 : 新規開設した口腔リハビリテーションに特化した歯科衛生専攻科について, 障歯誌, 35 (3) : 591, 2014.
40. 須釜槇子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武 : 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み, 障歯誌, 35 (3) : 592, 2014.
41. Furuya H, Kikutani T, Tamura F, Takahashi N, Iijima K, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y : Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
42. Tashiro H, Tamura F, Kikutani T : Intraoral bacterium counter (Bacterium Counter[®]) : from development to clinical application, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 21, 2014.
43. Tohara T, Tamura F, Kikutani T : A case of swallowing disorder probably caused by psychological burden, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 23, 2014.
44. Shindo H, Aritomo T, Furuya H, Yajima Y, Tamura F, Kikutani T : Preparation of dental prosthesis and oral rehabilitation in a patient with swallowing disorder due to crossed hemiplegia, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 79, 2014.
45. Tamura F, Hobo K, Genkai S, Mizukami M, Kikutani K : Dysphagia therapy for Rett syndrome patients, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 81, 2014.
46. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Factors related to decrease in activities of daily living in elderly persons under home care, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
47. Sagawa K, Tashiro H, Furuya H, Sugama M, Yoshida M, tamura F, Kikutani T : Investigation of skeletal muscle mass and relevant factors in the elderly, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
48. 田村文誉, 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 白濁友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武 : 在宅訪問における重症心身障害児の摂食指導, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 15-16, 2014.
49. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Relationship between dental occlusion and

decline in ADL level in elderly people receiving home care, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 24, 2014.

50. 戸原 雄, 仲澤裕次郎, 田代晴基, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武: 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける訪問診療実態, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 30:377, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武: 『お口からながいき—めざせ健康長寿—』, 第68回NPO法人 日本口腔科学会学術集会, 公開講座, 東京都新宿区, 2014年5月8日.
2. 菊谷 武: サルコペニアの予防と改善に寄与する補綴歯科を目指して—多職種連携による高齢者の口腔機能, 栄養, 運動機能の改善—, 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会第123回学術大会, 臨床リレーセッション2, 宮城県仙台市, 2014年5月24日.
3. 菊谷 武: 地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮設構造モデルの検証, 第25回老年歯科医学会, 一般演題口述, 福岡県福岡市, 2014年6月12日.
4. 菊谷 武: 歯科医師の立場から, 第15回日本言語聴覚学会, ランチョンシンポジウム, 埼玉県さいたま市, 2014年6月28日.
5. 菊谷 武: 地域で“食べる”を支えるということ, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー, 東京都新宿区, 2014年9月6日.
6. 菊谷 武: 「地域における高齢者の食支援」, 第60回日本老年医学会 関東甲信越地方会, 教育講演, 東京都三鷹市, 2014年9月20日.
7. 菊谷 武: 口腔機能への社会的な要望の変化に対し現在取り組まれている事, そして, 今後の展望, 第16回日本口腔顎顔面技工研究会学術大会, 講演, 東京都千代田区, 2014年11月8日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 菊谷 武: 認知症高齢者の食べることの問題とその対策について, きさらぎ市・国分寺市共催 平成26年度 認知症講演会, 東京都国分寺市, いずみプラザ, 2014年4月7日.
2. 菊谷 武: 「摂食嚥下障害の原因と特徴」, 第1回台湾摂食嚥下リハビリテーションシンポジウム, 台湾高雄市, 台湾, 2014年4月20日.
3. 菊谷 武: 神経難病とお口の健康, 船橋市保健所「難病患者と家族のつどい」, 千葉県船橋市, 船橋市役所, 2014年5月15日.
4. 菊谷 武: 在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク, 嚥下調整食学会分類2013に基づく経口アプローチセミナー, 宮城県仙台市, TKP ガーデンシティ, 2014年5月31日.
5. 菊谷 武: 「ケースプレゼンテーションの進め方」, 東京都立心身障害者口腔保健センター, 評価医養成研修(医師及び歯科医師対象), 東京都新宿区, 東京都立心身障害者口腔保健センター, 2014年6月19日.

6. 菊谷 武：「口腔ケアについて」，平成26年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，家の光会館，2014年6月20日。
7. 菊谷 武：「認知症高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケアの進め方」，横浜市社会福祉協議会高齢福祉部主催研修，神奈川県横浜市，横浜市健康福祉総合センター，2014年7月4日。
8. 菊谷 武：「嚥下機能のメカニズムと障害について」，埼玉県済生会川口総合病院 全職員対象講演会，埼玉県川口市，埼玉県済生会川口総合病院，2014年7月9日。
9. 菊谷 武：「口腔リハビリテーションの実際」，東京都中央区京橋歯科医師会主催学術講演会，東京都中央区，京橋プラザ区民館，2014年7月16日。
10. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支える」，東京都立多摩総合医療センター平成26年度歯科医療連携臨床懇話会，東京都多摩市，東京都立多摩総合医療センター，2014年7月17日。
11. 菊谷 武：『地域における食支援』～多摩クリニックの取り組み～，那覇市在宅医科歯科連携学術講演会，沖縄県那覇市，ホテルロイヤルオリオン，2014年7月19日。
12. 菊谷 武：「誤嚥性肺炎—診断・治療・予防—」，Infection File 37号 座談会，東京都千代田区，丸ノ内ホテルミーティングホール，2014年8月1日。
13. 菊谷 武：「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？」，平成26年度日本歯科大学北陸地区歯学研修会，富山県高岡市，ホテルニューオータニ高岡，2014年8月2日。
14. 菊谷 武：1，「高齢患者の対する考え方」2，「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？」5，「地域における摂食支援」，第1回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座，三重県津市，三重県歯科医師会館，2014年8月24日。
15. 菊谷 武：「摂食・嚥下機能について」，平成26年度公益社団法人秋田県栄養士会「生涯教育」，秋田県秋田市，秋田市文化会館，2014年8月30日。
16. 菊谷 武：講演「訪問歯科診療の現状及び器材パッケージについて」，平成26年度医工連携事業化推進事業意見聴取会（在宅歯科医療講演会），宮城県仙台市，仙台国際センター，2014年8月31日。
17. 菊谷 武：「高齢者歯科診療における留意点について」，平成26年度神奈川県在宅歯科医療推進研修会，神奈川県横浜市，神奈川県歯科保健総合センター，2014年9月11日。
18. 菊谷 武：「評価内容の家族，介護者への伝え方」，平成26年度摂食・嚥下サポート医研修会，東京都多摩市，東京都南多摩保健所，2014年9月12日。
19. 菊谷 武：「地域における食支援」，オープン1周年記念 株式会社ジーシー カムリエセミナー，東京都文京区，GCCorprate Center，2014年9月15日。
20. 菊谷 武：「摂食嚥下支援と口腔ケアの重要性」，フードシステムソリューション（F-SYS）2014，東京都江東区，東京ビッグサイト，2014年9月17日。
21. 菊谷 武：「食べることで生きる力を！」，平成26年度船橋市「公開講座」，千葉県船橋市，船橋市民文化創造館・きららホール，2014年9月24日。
22. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」，東京都立心身障害者口腔保健センター，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，東京都立心身障害者口腔保健センター，2014年10月

- 5日.
23. 菊谷 武：食べる力は生きる力～関係職種の連携で在宅医療を支える～，町田市歯科医師会「地域医療講演会」，東京都町田市，ガーデン町田，2014年10月18日.
 24. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，トヨタドライビングスクール東京，2014年10月20日.
 25. 菊谷 武：「地域における食支援」，第6回医食農連携プラットホーム研究会，東京都中央区，ファンケル銀座スクウェア，2014年11月20日.
 26. 菊谷 武：講演1，私たちはどう食べているのか？2，何を見て何を評価するのか？3，どう鍛えるのか？，第2回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座，三重県津市，三重県歯科医師会館，2014年11月24日.
 27. 菊谷 武：チームで取り組む摂食嚥下障害への対応，第5回チーム医療勉強会，東京都多摩市，東京都立多摩総合精神保健福祉センター，2014年11月25日.
 28. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について」，平成26年度神奈川県摂食・嚥下歯科医療担当者研修会，神奈川県横浜市，神奈川県歯科保健総合センター，2014年11月30日.
 29. 菊谷 武：食べる力の確保で生活の向上を，草加市健康らくらく講座，埼玉県草加市，草加市立中央公民館，2014年12月3日.
 30. 菊谷 武：「摂食・嚥下障がいに対する評価・診断・対処法について」，熊本歯科衛生士専門学院，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，熊本歯科衛生士専門学院，2014年12月6日，12月7日.
 31. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本歯科大学歯学会ウィンターミーティング，東京都千代田区，日本歯科大学富士見ホール，2014年12月13日.
 32. 菊谷 武：研修「I 認知症患者の口腔管理」，岡山県歯科医師会 平成26年度 訪問歯科研修会，岡山県岡山市，岡山県歯科医師会館，2014年12月14日.
 33. 菊谷 武：「食べることは生きること」，平成26年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，豊田市福祉センター，2015年1月7日.
 34. 菊谷 武：「超高齢社会における歯科の役割」，第3回九州歯科衛生士研究大会，大分県大分市，大分県歯科医師会館，2015年1月25日.
 35. 菊谷 武：「地域で“食べる”をささえるということ」，平成26年度歯科保健担当者研修会，愛媛県松山市，愛媛県中予地方局7階大会議室，2015年2月2日.
 36. 菊谷 武：「在宅患者に対する摂食・嚥下支援」，比企郡市歯科医師会講演会，愛媛県東松山市，愛媛県東松山市保健センター，2015年2月8日.
 37. 菊谷 武：学術講演会，鎌倉市歯科医師会学術講演会，神奈川県鎌倉市，2015年2月21日.
 38. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，特別講演，第10回川口脳卒中地域連携研究会，埼玉県川口市，川口フレンジア，2015年2月24日.
 39. 菊谷 武：専門クリニックの取り組み（シンポジスト），シンポジウム 在宅療養者の摂食嚥

- 下機能支援～事例検討～，東京都小金井市，小金井市民交流センター，2015年2月27日.
40. 菊谷 武：『知らないではすまされない口腔ケアの基礎知識』，山梨県歯科医師会 口腔ケア研修セミナー，山梨県甲府市，かいてらす，2015年3月1日.
 41. 菊谷 武：「スマイルケア食誕生の目的と意義，訪問介護に望むこと」，ホームヘルパー中央研修会，東京都港区，東京グランドホテル蘭の間，2015年3月8日.
 42. 菊谷 武：「認知症高齢者に対する口腔ケアについて」，高知県地域福祉部高齢者福祉課長，高知県高知市，高知城ホール，2015年3月9日.
 43. 菊谷 武：『在宅で“食べる”をささえるということ』，たつの市揖保郡医師会在宅医療講習会，兵庫県たつの市，たつの市はつらつセンター，2015年3月12日.
 44. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，2015年（公社）日本歯科先端技術研究所 学術講演会，東京都中央区，東京コンベンションjホール，2015年3月15日.
 45. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第1回介護用品・介護施設産業展 Care TEX2015，東京都江東区，東京ビックサイト，2015年3月18日.

● NDU 生命科学 Department of NDU life sciences

1. 所属構成員等

准教授 大山 晃弘
助 教 豊村 順子
客員教授 石川 博, 栗原 邦弘
客員講師 渡邊 美隆, 深澤見奈子, Kallapat Tansriratanawong
大学院生 高橋 悠 (新潟生命歯学部口腔外科学講座から再派遣)

2. 研究テーマ

- 1) 歯・歯周組織—複合体の再生メカニズムの解明 Explication of a regenerative mechanism on the tooth·periodontal tissue unit.
- 2) ヒト脂肪組織幹細胞が産生する生理活性物質を用いた新しい再生医療 New regenerative medicine using the bioactive substances produced human adipose tissue stem cells.
- 3) ヒト脂肪組織幹細胞を用いた骨再生と移植 Bone regenerative medicine using human adipose tissue stem cells.
- 4) 脱分化脂肪細胞を用いたエピジェネティクスの研究 Study on the epigenetics of DFAT (de-differentiated fat) cell.
- 5) リンパ球が産生する液性因子の腫瘍細胞への増殖抑制の検討 Growth inhibition of cancer cells by liquid factors of lymphocytes.
- 6) ヒト頬脂肪体由来幹細胞を細胞源とした唾液腺再生療法に関する検討 Regenerative medicine of salivary gland by adipose tissue stem cells derived from human buccal fat pad.
- 7) ヒト癌組織からの細胞株の樹立と抗癌剤感受性の研究 Establishment and characterization of cancer cell lines, and research on the sensitivity of anticancer drugs.
- 8) ポータブル型バイオ人工腎臓の開発 Development of a portable type bioartificial kidney.
- 9) iPS 細胞を用いた輸血用血小板作製の実用化の研究 Practical research of producing platelets for transfusion using iPS cells.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

細胞株樹立

下記の細胞株を樹立し、理研のセルバンクに登録申請した。

- 1) Nialym ヒト舌癌細胞株
- 2) Nialymx ヒト舌癌 xenograft 由来細胞株

外部共同研究

- 1) 日立アロカメディカル株式会社：還流培養法，歯の再生に関する共同研究.
- 2) ハイデルベルグ大学（ドイツ）：ポータブル型バイオ人工腎臓の開発.
- 3) Max Planck Institute（ドイツ）：ポータブル型バイオ人工腎臓の開発.
- 4) 日本赤十字社：iPS細胞を用いた輸血用血小板作製の実用化の研究.

新規事業立ち上げ

- 1) 日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの立ち上げ準備.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 石川 博：ハイデルベルグ大学，ならびに Max Planck Institute とバイオ人工腎臓に関する共同研究.

7. 外部・学内研究費

- 1) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）課題番号23390485，一般（継続），平成23～26年度，ヒト歯髄幹細胞を用いた社会医学的普遍性のある革新的臓器再生医学の創生，八重垣健（代表），石川 博（分担），3,200,000円.
- 2) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金 挑戦的萌芽研究課題番号26670908，一般（新規），平成26～27年度，歯肉上皮幹細胞より分化誘導した唾液腺細胞の3次元唾液腺構築とその移植，石川 博（代表），豊村順子（分担），大山晃弘（分担），1,800,000円.
- 3) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金 若手研究（B）課題番号26861690，一般（新規），平成26～28年度，臨床入手可能な細胞を用いた体外培養下における歯・歯周組織ユニットの再生，豊村順子（代表），1,800,000円.
- 4) 平成26年度研究プロジェクト（新規），平成26年度，マラッセ上皮残遺細胞・歯髄細胞ビーズと歯根膜細胞を用いた移植可能な歯・歯周組織ユニットの再生，大山晃弘（代表），石川 博（分担）豊村順子（分担），高橋 悠（分担），2,550,000円.

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Ishikawa M, Tachibana T, Hashimoto T, Toyomura J, Ito T, Tsuboi K, Shibuya K, Hirose T, Minami S, Yoshino G. Functional analysis of three novel cell lines derived from human papillary thyroid carcinomas with three different clinical courses, ©◇ Hum Cell., 2014 ; 27 : 111-120 ; DOI 10.1007 / s13577-014-0088-9, <http://link.springer.com/article/10.1007/s13577-014-0088-9>
2. Tansriratanawong K, Tamaki Y, Ishikawa H, Sato S. Co-culture with periodontal ligament stem cells enhances osteogenic gene expression in de-differentiated fat cells, ©◇ Hum Cell., 2014 ; 27 : 151-161 ; DOI 10.1007 / s13577-014-0091-1, <http://link.springer.com/article/10.1007/s13577-014-0091-1>
3. Takahashi H, Ishikawa H, Mataga I, Tanaka A · Establishment and characterization of human lingual squamous cell carcinoma cell lines designated Nialym derived from metastatic foci of lymph node, and Nialymx derived from transplanted tumor of Nialym cells. © ◇ Human cell, 2015 ; DOI 10.1007 / s13577-014-0107-x, <http://link.springer.com/article/10.1007/s13577-014-0107-x>
4. Borkowski J, Li L, Steinmann U, Quednau N, Stump-Guthier C, Weiss C, Findeisen P, Gretz N, Ishikawa H, Tenenbaum T, Schrotten H, Schwerk C. Neisseria meningitidis elicits a pro-inflammatory response involving I κ B ζ in a human blood-cerebrospinal fluid barrier model. © J Neuroinflammation 2014 ; 11 : 163, DOI 10.1186 / s12974-014-0163-x, <http://link.springer.com/article/10.1007/s13577-014-0163-x>
5. Ishkitiev N, Yaegaki K, Imai T, Tanak T, Fushimi N, Mitev V, Okada M, Tominaga N, Ono N, Ishikawa H. Novel management of acute or secondary bilially liver condition with using hepatically-differentiated human dental-pulp cells. © Tissue Engineering,Part A., 2015 ; 21 (3-4) : 586-93. DOI 10.1089 / ten.TEA.2014.0162
6. Ide Y, Nakahara T, Nasu M, Ishikawa H, Cell dynamics in Hertwig's epithelial root sheath and surrounding mesenchyme in mice irradiation to the head. © Oral Diseases, 2015 ; 21 : 232-239, doi : 10.1111 / odi.12253.

C. 総説・解説

1. 大山晃弘, 井出吉昭, 田巻友一, 富永徳子, 中原 貴, 立花利公, 渡邊美隆, 栗原邦弘, 石川博 : ヒト脂肪組織幹細胞より分化誘導した骨細胞の三次元骨組織形成, 日本歯学会雑誌, 101 (春季特集号) : 144-148, 2014.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 石川 博 : 日本歯科大学「再生医療研究チーム」が記者会見, 日本経済新聞等新聞数社に掲載, 日本歯科大学ホームページに掲載, 2014年10月17日.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 川上未有希, 鈴木見奈子, 大山晃弘, 豊村順子, 高橋 悠, 中原 貴, 石川 博, 田中 彰 : 抗がん剤耐性を示す Cancer Stem Cell 株に対する Natural Killer (NK) 細胞の殺細胞効果に関する検討, 第68回日本口腔科学会学術集会, p250, 2014.
2. 高橋 悠, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰 : 同一癌組織由来の舌癌細胞株と cancer stem cell (CSC) 株ならびに xenograft 由来細胞株の樹立, 第68回日本口腔科学会学術集会, p253, 2014.
3. Takahashi H, Kawakami M, Ishikawa H, Nakahara T, Tanaka A : Establishment of lingual squamous cell carcinoma cell line, cancer stem cell line and the grafted tumor cell line derived from same cancer tissue, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 72 (9) : e16, 2014. DOI : 10.1016/j.joms.2014.06.302
4. Kawakami M, Sato H, Sakuma K, Tanaka A, Ishikawa H, Takahashi H, Ohyama A, Suzuki M : Development of new cancer therapies that target the cancer stem cell, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 72 (9) : e168-e169, 2014. DOI : 10.1016/j.joms.2014.06.303
5. Ohyama A, Toyomura J, Ide Y, Nakahara T, Tachibana T, Watanabe Y, Kurihara K, Ishikawa H : Three-dimensional formation of bone tissue of osteoblast cells which carried out differentiation induction from the human adipose tissue stem cells, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 72 (9) : e190-e191, 2014. DOI : 10.1016/j.joms.2014.06.342
6. 高橋 悠, 大山晃弘, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰 : マラッセ上皮残遺細胞を用いたコラーゲンビーズ法による歯と歯周組織ユニットの創生, *日本口腔外科学会雑誌*, 60 : 298, 2014.
7. 川上未有希, 高橋 悠, 鈴木見奈子, 大山晃弘, 石川 博, 田中 彰 : Natural killer (NK) 細胞によるがん幹細胞への直接的作用に関する検討, *日本口腔外科学会雑誌*, 60 : 237, 2014.
8. 中原 貴, 富永徳子, 石川 博 : セル・フィッシング法によるミニブタ胎仔の乳白歯冠由来エナメル芽細胞株の樹立, *日本口腔外科学会雑誌*, 60 : 299, 2014.
9. 石川 博, 大山晃弘, 高橋 悠, 川上未有希, 鈴木見奈子, 田中 彰, 中原 貴 : ヒト乳歯の歯髄に万能細胞は存在するか?, *日本口腔外科学会雑誌*, 60 : 181, 2014.
10. Ishikawa M, Toyomura J, Kuboki K, Morita T, Tominaga N, Hirose T, Minami S, Yoshino G : Role of growth hormone (GH) signaling pathways in the development of atherosclerosis. *Growth Hormone & IGF Research*, 24 (suppl 1) : 526, 2014.
11. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰 : コラーゲンビーズ法によるヒトマラッセ上皮残遺を細胞源とした歯と歯周組織ユニットの創生, *再生医療*, 59 (14) : 308, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: アテロコラーゲンビーズを用いた歯の再生におけるマラッセ上皮残遺細胞の有用性, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科大学, 東京, 2014年6月7日.
2. 大山晃弘, 豊村順子, 高橋 悠, 川上未有希, 鈴木見奈子, 中原 貴, 田中 彰, 石川 博: ヒト歯髄に万能細胞は存在するか?, 平成26年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科大学, 東京, 2014年6月7日.
3. 中原 貴, 大山晃弘, 石川 博: 日本歯科大学・セントラルクリニック細胞バンク～その概要と意義～, 日本歯科大学細胞バンク事業 第1回ミニレクチャー, 日本歯科大学校友会・歯学会会議室, 東京, 2014年8月21日.
4. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: 同一癌組織由来の舌癌細胞株と cancer stem cell 株ならびに xenograft 由来細胞株の樹立, 第32回日本ヒト細胞学会学術集会, 東京慈恵会医科大学, 東京, 2014年8月30～31日.
5. 大山晃弘, 豊村順子, 高橋 悠, 渡邊美隆, 栗原邦弘, 中原 貴, 石川 博: 脂肪組織幹細胞から *in vitro* で作製した骨組織ならびに *in vivo* への移植, 第32回日本ヒト細胞学会学術集会東京慈恵会医科大学, 東京, 2014年8月30～31日.
6. 石川 博: 万能細胞とは何か? ～考えることの楽しさを知る. ～, 第10回 発生・再生医学セミナー, 日本歯科大学131講堂, 東京, 2014年10月2日.
7. 大山晃弘: 生体外で骨ができた! *In vitro* で3次的に構築された再生骨, 第11回 発生・再生医学セミナー, 日本歯科大学131講堂, 東京, 2014年10月9日.
8. 豊村順子: 実験とふれあう, 第12回 発生・再生医学セミナー, 日本歯科大学131講堂, 東京, 2014年11月6日.
9. 高橋 悠: 私の大学院生活, 第14回 発生・再生医学セミナー, 日本歯科大学131講堂, 東京, 2014年11月27日.
10. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: 同一患者由来の舌癌細胞株 (Nialym) と cancer stem cell 株 (Nialymsc) ならびに xenograft 由来細胞株 (Nialymx) の樹立, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティング, 日本歯科大学, 東京, 2014年12月13日.
11. 大山晃弘: あなたの歯があなたを救う再生医療セルバンク, 日本歯科大学学術フォーラム2015, 日本歯科大学生命歯学部, 東京, 2015年2月15日.
12. 大山晃弘: 骨欠損を埋めるために自分の脂肪組織から骨を作製する再生医療, 日本歯科大学区民公開講座, 日本歯科大学生命歯学部九段ホール, 東京, 2015年2月18日.

13. 石川 博：自分の細胞でまるごと歯を作ろう，日本歯科大学区民公開講座，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2015年2月25日.
14. 高橋 悠，大山晃弘，豊村順子，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：ヒトマラッセ上皮残遺細胞と歯髄細胞，歯根膜細胞，アテロコラーゲンビーズを用いた歯と歯周組織ユニットの再生，平成26年度歯学会学内口頭発表会，日本歯科大学新潟生命歯学部，2015年3月12日.
15. 川上未有希，高橋 悠，鈴木-深澤見奈子，大山晃弘，石川 博，田中 彰：がん細胞に対する Natural Killer (NR) 細胞の直接的細胞増殖抑制作用に関する検討，平成26年度歯学会学内口頭発表会，日本歯科大学新潟生命歯学部，2015年3月12日.

● 口腔リハビリテーション科

Division of Rehabilitation for Speech and Swallowing Disorders

1. 診療科教職員

教授 菊谷 武, 田村 文誉

講師 児玉 実穂, 須田 牧夫, 高橋 賢晃

助教 町田 麗子, 戸原 雄

非常勤歯科医師 佐々木力丸, 田代 晴基, 保母妃美子, 磯田 友子, 鰐原 賀子

臨床教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義

臨床准教授 今井 庸子, 花形 哲夫, グリーナンせつゑ, 五島 朋幸

臨床講師 西方 浩一, 鈴木 亮

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's child care burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第31回一般社団法人 日本障害者歯科学会総会および学術大会, 優秀発表賞, 須釜槇子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武, 2014年11月16日, 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み.
- 2) International Association for Disability and Oral Health (IADH Award), Furuya H, Kikutani T, Tamura F, Takahashi N, Iijima K, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, 2014年10月4日, Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons.

4. 学位取得者

- 1) 戸原 雄, A multi-centered clinical epidemiological study on factors associated with total salivary bacterial count of elderly individuals requiring nursing care, 2014年3月25日, 岡山大学.

5. 主催学会等

- 1) 多摩在宅N C M研究会 在宅ケア症例検討会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月10日, 2014年7月26日, 2014年11月8日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) 摂食嚥下研修会, 日本歯科大学附属病院, 2014年6月5日, 2014年10月9日, 2015年2月5日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 3) “平成26年度研修セミナーシリーズ小児の摂食指導～心・栄養・そして食べる機能～「食べる機能の発達と障害」日本歯科大学こども摂食・嚥下研修会”, 日本歯科大学附属病院, 2014年10月23日, 2015年1月22日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション科.
- 4) 医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」第1回, 小金井市民交流センター, 2014年5月27日, 2014年9月30日, 2015年2月23日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 5) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「とろみ剤・ゲル化剤の上手な使い方」“食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年4月25日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 6) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「厨房から変える! 摂食・嚥下機能に合った調理法」“食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月27日 ①午前の部, ②午後の部, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 7) 障害児にかかわる方向け 研修セミナー 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～ 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月20日, 2014年10月16日, 2015年1月16日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

- 8) 平成26年度 おうちで行う歯科医療 多摩在宅歯科医療研究会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月29日, 2014年9月18日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 9) 医療・介護専門職向け 研修会 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター「“食べる”を介助する」～おいしく, 楽しく, 安全に食べるには～ “食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月16日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 10) 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 臨床カンファレンス, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年11月27日, 2015年3月19日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

6. 国際交流状況

- 1) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ. 嚥下内視鏡を用いた摂食・嚥下機能評価, 重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論, 2014年6月24日～7月4日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 厚生労働科学研究委託費, 長寿科学総合研究事業(新規), 平成26年～28年度, 地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討, 菊谷 武(代表), 呉屋朝幸, 神崎恒一, 長島文夫, 田中良典, 道脇幸博, 八重垣健(分担), 8,890,000円.
- 2) 厚生労働科学研究費補助金, 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(継続), 平成24年～26年度, 歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究, 菊谷 武(代表), 弘中祥二, 角 保徳, 窪木拓男, 吉田光由, 岸本裕充, 大野友久, 荒川浩久(分担), 2,850,000円.
- 3) 厚生労働科学研究費補助金, 長寿科学総合研究事業(継続), 平成24年～26年度, 地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて, 葛谷雅文(代表), 森本茂人, 大類 孝, 菊谷 武, 杉山みち子, 榎 裕美, 若林秀隆(分担) 7,950,000円.
- 4) 厚生労働科学研究費補助金, 長寿科学総合研究事業(継続), 平成24年～26年度, 虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究, 飯島勝矢, 大内尉義, 菊谷 武, 東口高志, 高田和子, 大淵修一(分担) 30,000,000円.
- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, (基盤研究C), (継続), 平成24年～27年度, 摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態/薬力学的検討, 菊谷 武(代表), 松本宣明, 小野真一(分担), 780,000円.
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, (基盤研究C), (継続), 平成24年～26年度, 子ども

- ものヘルスプロモーションのため食育推進：母子支援方法の探索研究，田村文誉（代表），八重垣健，西脇恵子，菊谷 武（分担），1,300,000円。
- 7) 厚生労働省長寿科学研究開発費，（継続），平成25年～27年度，高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究，角 保徳（代表），渡邊 哲，海老原覚，植松 宏，菊谷 武，道脇幸博，永長周一郎，三浦宏子，岩渕博史，櫻井 薫，深山治久，森戸光彦（分担），10,000,000円。
- 8) 厚生労働科学研究費補助金，循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業，長寿科学総合研究事業，（継続），平成25年～27年度，口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究，東口高志（代表），菊谷 武，丸山道生，葛谷雅文，松崎政三，真田弘美，鎌倉やよい（分担），11,570,000円。
- 9) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究 C），（新規），平成26年～27年度，口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究，高橋賢晃（代表），菊谷 武，田村文誉（分担），2,900,000円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 田村文誉，水上美樹（分担執筆）：① Down 症候群と摂食嚥下障害，Ⅲ症例提示編，3. 染色体異常，奇形症候群と摂食嚥下障害，田角 勝，向井美恵編著，小児の摂食嚥下リハビリテーション第2版，247-251，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-44418-4。
2. 1) 田村文誉，菊谷 武（分担執筆）：高齢者ではよくみられる，口腔内および口腔周囲の不随意運動（オーラルディスクイネジア）が止まらない症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，233-239，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7。
- 2) 田村文誉，菊谷 武（分担執筆）：習慣性顎関節脱臼にて下顎位が定まらず，摂食・嚥下に困難をきたした症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，240-244，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7。
- 3) 菊谷 武，高橋賢晃（分担執筆）：喉頭摘出術後も嚥下障害が遷延化したワレンベルグ症候群患者に対して軟口蓋挙上装置が効果的であった症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，245-247，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7。
- 4) 菊谷 武（分担執筆）：舌接触補助床を装着したことにより口腔移送が改善した ALS の症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，248-

- 250, 医歯薬出版, 東京, 2014, 978-4-263-21858-7.
3. 菊谷 武 (分担執筆): 第2章 1. インプラントが埋入されていても噛めなくなるときが来る, 菊谷 武, 窪木拓男編著, 65歳以上の患者さんへのインプラント治療・管理ガイド, 38-41, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2014.
 4. 菊谷 武 (監修): スプーン&フォークつき シニアのおいしい健康レシピ, 株式会社主婦の友社, 東京, 2014.
 5. 菊谷 武 (分担執筆): IV呼吸器感染症の治療と予防 9. 肺炎予防のための多面的アプローチ, 工藤翔二, 武村民子, 江口研二, 川名明彦, 菊池功次, 酒井文和, 三嶋理晃, 吉澤端之編著, 日本胸部臨床 呼吸器感染症 2015, 231-237, 克誠堂出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-7719-0397-5.
 6. 菊谷 武 (分担執筆): 3) 重度の要介護者への支援 (1) 在宅歯科医療における支援, 向井美恵, 井上美津子, 安井利一, 眞木吉信, 深井稜博, 植田耕一郎編著, 口腔機能への気づきと支援, 180-183, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-263-42198-7.
 7. 菊谷 武, 尾関麻衣子 (分担執筆): 口腔機能と低栄養, 葛谷雅文, 酒元誠治編集, MNA 在宅栄養ケア 在宅高齢者の低栄養予防と早期発見, 24-30, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, 978-4-263-70637-4.
 8. 須田牧夫: 口腔リハビリテーション 摂食機能障害への対応, 認定医講座コアカリキュラム DVD, 日本訪問歯科協会, 東京, 2014.
 9. 田村文誉, 保母妃美子 (分担執筆): 2 よくある症状の解説と対処法 14嚥下障害, 青天目信, 伊藤雅之編著, レット症候群診療ガイドブック, 171-182, 大阪大学出版会, 大阪, 2015, 978-4-87259-496-6.
 10. 1) 菊谷 武, 尾関麻衣子 (分担執筆): 摂食・嚥下障害 ①病患概要, 加藤昌彦編者, 医師が知っておきたい 外来で役立つ 栄養・食事療法のポイント, 154-160, 文光堂, 東京, 2015, 978-4-8306-1388-3.
2) 尾関麻衣子, 菊谷 武 (分担執筆): 摂食・嚥下障害 ②栄養・食事指導の実際, 加藤昌彦編者, 医師が知っておきたい 外来で役立つ 栄養・食事療法のポイント, 161-165, 文光堂, 東京, 2015, 978-4-8306-1388-3.

B. 原著

1. Ishii S, Tanaka T, Shibasaki K, Ouchi Y, Kikutani T, Higashiguchi T, Obuchi S P, Ishikawa -Takata K, Hirano H, Kawai H, Tsuji T and Iijima K, Development of a simple screening test for sarcopenia in older adults, Geriatr Gerontol Int, 2014 ; 14 (Suppl.1) : 93-101, doi : 10.1111/ggi.121997.
2. 原 豪志, 戸原 玄, 近藤和泉, 才藤栄一, 東口高志, 早坂信哉, 植田耕一郎, 菊谷 武, 水口俊介, 安細敏弘: 胃瘻療養中の脳血管障害患者に対する心身機能と摂食状況の調査, ○老年歯科医学, 2014 ; 29 (2) : 57-65

3. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T, One-leg standing time with eyes open : comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, *The Journal of Craniomandibular & Sleep Practice*, 2014 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179/2151090314Y.0000000007
4. Suzuki R, Kikutani T, Yoshida M, Yamashita Y, Hirayama Y, Prognosis-related factors concerning oral and general conditions for homebound older adults in Japan, *◇ Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; doi : 10.1111/ggi.12382.
5. Kikutani T, Tamura F, Tashiro H, Yoshida M, Konishi K, Hamada R, Relationship between oral bacteria count and pneumonia onset in elderly nursing home residents, *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; 15 (4) : 417-421, doi : 10.1111/ggi.12286.
6. *水上美樹, 田村文誉, 松山美和, 菊谷 武 : ダウン症候群児の粗大運動能と摂食に関わる口腔異常習癖との関連, *障害者歯科学雑誌*, 2015 ; 36 : 17-24. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 田村文誉 : 病院・重症児病棟などではどう育てるか, 千木良あき子編, *重症心身障害児から軽度発達障害児までを含めた摂食・嚥下機能発達の基本 発達療法を基本とした対応が患者にもたらすもの*, *小児看護* 8, 36 (9) : 1203-1208, 2014.
2. 田村文誉 : 文献紹介 An observational study of adults with Down syndrome eating independently Smith CH, Teo Y, Simpson S *Dysphagia*, *障歯誌*, 35 (1) : 55, 2014.
3. 田村文誉 : ニュース・レター 臨床最前線 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, *障歯誌*, 35 (2) : iv, 2014.
4. 田村文誉 : 知ってほしい! 障害児への地域連携の課題, *ザ・クインテッセンス*, 33 (4) : 152-157, 2014.
5. 菊谷 武 : 寝たきりでも快適な生活を送るための訪問歯科, *安心の歯科治療完全ガイド2015*, 108-111, 2014.
6. 菊谷 武 : 地域で「食べる」を支えるということ, *地域医療*, 52 (1) : 20-21, 2014.
7. 菊谷 武, 有友たかね : 口腔ケア連携手帳を用いた地域での取り組み, *地域連携 入退院支援*, 7 (3) : 58-62, 2014.
8. 菊谷 武 : ヘルスケア・レストラン, 22 (9) : 63, 2014.
9. 菊谷 武 : 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにて「いろいろビュッフェ」が開催されました, *GC CIRCLE*, 150 : 34-35, 2014.
10. 菊谷 武 : 在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク, *ヘルスケア・レストラン*, 22 (10) : 16-17, 2014.
11. 菊谷 武 : Seminar Report 第5回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー, *ヘルスケア・レストラン*, 22 (12) 82-83, 2014.
12. 菊谷 武, 田代晴基, 水上美樹, 有友たかね : 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, *デンタルハイジーン*, 35 (1) : 50-55, 2015.

13. 菊谷 武：東京北多摩地区における経口摂取の病診連携を語る，ヘルスケア・レストラン，23 (1)：26-29，2015.
14. 菊谷 武：インタビュー&レポート 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの軌跡と口腔リハビリテーションの未来，歯界展望，124 (4)：629-632，2014.
15. 菊谷 武：命を守る口腔ケア，障歯誌，35 (2)：115-120，2014.
16. 田村文誉：②安全で上手に食べられるようになるには，佐々木洋監修，口から育つところと身体～21世紀の小児歯科のパラダイムとミッション～，チャイルドヘルス，17 (12)：8-11，2014.
17. 須田牧夫：1枚の写真から(第6回) 超高齢社会と舌接触補助床(PAP)，The Quintessence，33 (6)：3-4，2014.
18. 須田牧夫：(第1章) システム論在宅歯科医療のニーズ 摂食嚥下リハビリテーション，口から食べるストラテジー 在宅歯科医療の診療方針と実際，DENTAL DIAMOND，39 (10)：46-53，2014.
19. 須田牧夫：(第3章) Q&A 訪問歯科のギモン，口から食べるストラテジー 在宅歯科医療の診療方針と実際，DENTAL DIAMOND，39 (10)：105-110，2014.
20. 須田牧夫：(第2章) 歯の破折の処置(症例別対応) 高齢者の歯の破折への対応 高齢者の歯冠と歯根破折への対応，臨床力アップにつながる 歯の破折の診断と処置，DENTAL DIAMOND，39 (14)：132-136，2014.
21. 須田牧夫：(第2章) 歯の破折の処置(症例別対応) 高齢者の歯の破折への対応 高齢者の歯の破折予防のための啓発活動，臨床力アップにつながる 歯の破折の診断と処置，DENTAL DIAMOND，39 (14)：137-139，2014.
22. 久野彰子，田村文誉：妊娠期・授乳期における口腔状態と母体栄養との関連，特集 栄養管理における歯科の役割，臨床栄養，126 (3)：249-253，2014.
23. 児玉実穂，柳井智恵，鈴木麻美：妊娠による身体と口腔環境の変化，歯科治療が妊婦に与える影響，妊婦の口腔環境の変化と歯科治療，東京都歯科医師会雑誌，63：4-10，2015.
24. 佐々木力丸：介護老人福祉施設に入居する要介護高齢者に対する栄養支援の効果について，老年歯学，29 (4)：362-367，2015.
25. 菊谷 武：特別鼎談 食形態の地域連携と「スマイルケア食」の可能性 食形態区分の新たなツールで退院患者の食と生活をつないでいこう，ヘルスケア・レストラン，23 (3)：26-31，2015.
26. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科1 在宅訪問での摂食嚥下リハビリ，医療と介護 Next，1 (1)：50-51，2015.
27. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科2 在宅要介護高齢者の歯科受診はこんなに重要だ，医療と介護 Next，1 (2)：50-51，2015.
28. 菊谷 武：特集 在宅医療の新しい展開 Seminar6. 在宅医療における歯科診療，Geriatric Medicine (老年医学)，53 (2)：143-147，2015.
29. 菊谷 武：口腔機能の維持向上と食事のケアのポイント，介護福祉，97：43-49，2015.

30. 菊谷 武, 鰐原賀子: 3. 口腔保健と生活習慣病, 非感染性疾患 (NCDs, 非伝染性疾患) 4) 循環器疾患 (心臓血管疾患, 脳血管疾患) —口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 112-117, 2015.
31. 菊谷 武, 鰐原賀子: 4. 口腔保健と要介護状態を引き起こす主な原因疾患との関係 1) 脳卒中—口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 146-150, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 児玉実穂, 梅津糸由子, 近藤哲夫: きれいなママの歯が赤ちゃんの歯を守る!, 「乳歯」こそしっかり! 今日から始める歯磨き習慣, AERA with Baby, 4: 50-59, 2014.
2. 菊谷 武: 身につけよう よくかむ習慣, 日本経済新聞, 2014年5月3日, 7面, 2014.
3. 菊谷 武: 誤嚥防止に「食塊」意識を, 東京新聞, 2014年8月27日, 14面, 2014.
4. 菊谷 武, 有友たかね: 歯科衛生士が教える口腔ケア方法, Part6 身体のための口腔ケア, 日経MOOK 自分にあった歯科医師と出会うためによくわかる歯科治療2015, NIKKEI MOOK. DENTAK CARE 2015: 145-149, 2014.
5. 菊谷 武: クローズアップ現代, NHK 総合, 2014年12月1日.
6. 菊谷 武: たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学, テレビ朝日, 2014年11月4日.
7. 菊谷 武: いっぷく!, TBS, 2014年11月4日.
8. 菊谷 武: NHK ニュース7, NHK 総合, 2014年9月21日.
9. 菊谷 武: 夢の扉+, TBS, 2014年8月10日.
10. 児玉実穂: news every., 日本テレビ, 2014年6月3日.
11. 菊谷 武: 健康のためのニュースな言葉「入れ歯ケア」, 読売新聞, 2015年2月14日, 2015.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Tamura F, Genkai S, Hobo K, Kikutani T, Yaegaki K: Only dysphagia therapy is not enough to reduce the burden of mothers with dysphagia children, Spec Care Dentist, 34 (5): 239-240, 2014.
2. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武: 地域連携の取り組み 舌癌術後の症例を通して, 言語聴覚研究, 11 (3): 274, 2014.
3. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武: 言語聴覚士の特別支援学校との連携, 日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集, 40: 65, 2014.
4. 松木るりこ, 西脇恵子, 佐々木力丸, 須田牧夫: 地域連携によって補綴装置の製作が可能になった舌癌術後の一症例, 日本学顔面補綴学会第31回総会・学術大会プログラム・抄録集,

- 59, 2014.
5. 新藤広基, 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 須田牧夫, 羽村 章: 介護保険施設における肺炎発症とリスク因子の検討, 老年歯学, 29 (2): 91, 2014.
 6. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 鈴木 亮: 摂食・嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける管理栄養士による栄養ケアの実態と課題, 老年歯学, 29 (2): 96-97, 2014.
 7. 佐川敬一郎, 有友たかね, 高橋賢晃, 佐々木力丸, 田代晴基, 元開早絵, 古屋裕康, 岡澤仁志, 新藤広基, 矢島悠里, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武: 入院患者のシームレスな口腔管理を目的とした地域支援モデルの構築に向けた検討, 老年歯学, 29 (2): 109-110, 2014.
 8. 鰐原賀子, 平野浩彦, 枝広あや子, 小原由紀, 渡邊 裕, 森下志穂, 本橋佳子, 菅 武雄, 村上正治, 植田耕一郎, 菊谷 武: 要介護高齢者の口腔湿潤度ならびに口腔内細菌に関する実態調査報告, 老年歯学, 29 (2): 116, 2014.
 9. 有友たかね, 戸原 雄, 佐々木力丸, 保母妃美子, 田代晴基, 矢島悠里, 岡澤仁志, 新藤広基, 田村文誉, 菊谷 武: 在宅療養中の摂食嚥下障害者に対する歯科衛生士の取り組み, 老年歯学, 29 (2): 120-121, 2014.
 10. 加藤智弘, 布施まどか, 野原 通, 高橋賢晃: 高齢者に発症した巨大な歯根嚢胞の1例, 老年歯学, 29 (2): 125-126, 2014.
 11. 野原 通, 加藤智弘, 高橋賢晃, 須田牧夫, 菊谷 武, 布施まどか: 高齢者に発症した骨破壊を伴った下顎骨骨髓炎に対して下顎区域切除・即時再建を行った1例, 老年歯学, 29 (2): 152-153, 2014.
 12. 関野 愉, 久野彰子, 田村文誉, 菊谷 武, 沼部幸博: 介護老人福祉施設における20歯以上を有する入居者の歯周疾患罹患状況, 老年歯学, 29 (2): 205-206, 2014.
 13. 古田美智子, 竹内研時, 岡部優花, 菊谷 武, 山下喜久: 在宅療養要介護高齢者における口腔機能と死亡に関するコホート研究, 老年歯学, 29 (2): 209-210, 2014.
 14. 福井智子, 佐々木力丸, 加藤真理, 細見洋泰: 地域口腔保健センターと専門歯科医療機関との連携で支えた在宅患者の一例, 老年歯学, 29 (2): 241-242, 2014.
 15. 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 尾関麻衣子, 西脇恵子, 須田牧夫, 羽村 章: 新規開設した日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにおける臨床統計, 老年歯学, 29 (2): 227, 2014.
 16. 田中友規, 飯島勝矢, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 小原由紀, 秋下雅弘, 大内尉義: 地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮説構造モデルの検証, 日本老年医学会, 51: 69, 2014.
 17. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: 日本人におけるサルコペニアおよび予備群の関連因子の同定—千葉県柏市における大規模健康調査から, 日本老年医学会, 51: 79, 2014.
 18. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内

- 尉義：サルコペニア危険度に対する自己評価法の開発：新考案『指輪っかテスト』の臨床的妥当性の検証，日本老年医学会，51：79，2014.
19. 田中友規，飯島勝矢，石井伸弥，柴崎孝二，大淵修一，菊谷 武，平野浩彦，小原由紀，秋下雅弘，大内尉義：地域高齢者におけるヘルスリテラシーと健康関連行動・健康アウトカムとの関連，日本老年医学会，51：84，2014.
 20. 矢島悠里，菊谷 武，田村文誉，藤村尚子，野沢与志津：高齢者の食選択に及ぼす影響～食選択アンケートを用いて～，日本老年医学会，51：106，2014.
 21. 井上俊之，菊谷 武，糟谷明範，長井陽海，高橋浩幸，松崎一代，松木るりこ，尾関麻衣子：胃ろうレストラン，日本医療マネジメント学会雑誌，15 (Suppl.)：252，2014.
 22. 田村文誉：脳性麻痺と発達療法の考え方 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 シンポジウム7 小児の摂食嚥下リハビリテーションの課題—脳性麻痺を中心として—，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，125，2014.
 23. 田村文誉：小児患者の摂食指導 ～成長に合わせて機能を伸ばす～ 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 交流集会<のもう会>，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，176，2014.
 24. 左田野智子，佐藤麻衣子，新美拓穂，戸原 雄，鈴木 亮，田代晴基，菊谷 武：嚥下障害で発症したキアリ I 型奇形の 1 症例—嚥下リハビリテーションの経過—，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，201，2014.
 25. 佐川敬一郎，田村文誉，水上美樹，今井庸子，菊谷 武：代替栄養による栄養改善後に経口摂取量が増えた滑脳症の 1 例，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，210，2014.
 26. 田村文誉，菊谷 武，古屋裕康，高橋賢晃，小原由紀，平野浩彦：健康高齢者の舌筋の厚みに関連する因子の検討，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，213，2014.
 27. 高橋賢晃，菊谷 武，古屋裕康，田村文誉，小原由紀，平野浩彦：口腔移送テストによる高齢者の運動障害性咀嚼障害の評価の検討，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，248，2014.
 28. 渡邊圭奈子，若林秀隆，須田牧夫：サルコペニアによる重度嚥下障害者に対するチームアプローチ～急性期から594日を経て経口摂取に至った 1 例～，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，255，2014.
 29. 松木るりこ，尾関麻衣子，井上俊之，石井寿美子，横山雄士，松崎一代，西脇恵子，菊谷武：口から食べるを支援する「いろいろレストラン」の試み，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，308，2014.
 30. 古屋裕康，菊谷 武，田村文誉，水谷圭介，泉 綾子：酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性の検討，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，338，2014.

31. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武: 摂食機能訓練が進まない脳幹障害性脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
32. 米谷敬司, 大野美帆, 齋藤俊夫, 谷 博司, 田村文誉, 高橋賢晃, 保母妃美子, 菊谷 武: 継続的な摂食嚥下リハビリテーションにより安定した経口摂取をおこなっている West 症候群の2症例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
33. 矢島悠里, 田村文誉, 尾関麻衣子, 河合美佐子, 菊谷 武: 高齢者の食選択に味嗅覚変化が及ぼす影響の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 390, 2014.
34. 古賀登志子, 清水けふ子, 手嶋久子, 中村 勝, 川崎志津子, 菊池純子, 高橋賢晃, 佐々木力丸: 退院後の在宅療養における経口摂取支援への取り組み, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 394, 2014.
35. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武: 摂食機能訓練が進まない脳幹障害性脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
36. 岡澤仁志, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 田村文誉, 菊谷 武: 当クリニックにおける在宅療養患者に対する訪問診療, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 396, 2014.
37. 野口加代子, 水上美樹, 有友たかね, 西村美樹, 田中祐子, 菊谷 武: 某リハビリテーションクリニックにおいて実施した介護予防事業(一次予防)とその効果について, 日本歯科衛生学会雑誌, 9 (1): 207, 2014.
38. 磯田友子, 元開早絵, 町田麗子, 田村文誉, 菊谷 武: 重症心身障害児に対する訪問による摂食嚥下リハビリテーションを行った1症例, 障歯誌, 35 (3): 373, 2014.
39. 西村美樹, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 粗大運動能の発達に伴い離乳食の開始に至った5p-症候群患児の摂食指導経験, 障歯誌, 35 (3): 379, 2014.
40. 辰野 隆, 蒲池史郎, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 障害者施設に対する歯科医師会による摂食支援事業, 障歯誌, 35 (3): 408, 2014.
41. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武, 花形哲夫, 羽村 章: 高齢者における先行期の食物認知が脳の活性に与える影響, 障歯誌, 35 (3): 459, 2014.
42. 田中康貴, 須田牧夫, 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設における摂食嚥下機能評価および指導が摂食嚥下障害者の栄養変化に与える効果, 障歯誌, 35 (3) 502, 2014.
43. 保母妃美子, 須釜慎子, 田代晴基, 西村美樹, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武: 肥満を特徴とする Prader-Willi 症候群の摂食指導, 障歯誌, 35 (3): 547, 2014.
44. 水上美樹, 田村文誉, 町田麗子, 西村美樹, 野口加代子, 田中祐子, 松山美和, 菊谷 武: 21トリソミー児の摂食機能・粗大運動・認知発達に関する実態について, 障歯誌, 35 (3): 554, 2014.

45. 有友たかね, 戸原 雄, 佐川敬一郎, 田村文誉, 菊谷 武 : 訪問看護ステーションの多機能化モデル事業における歯科衛生士の役割, 障歯誌, 35 (3) : 579, 2014.
46. 須田牧夫, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 水上美樹, 西村美樹, 野口加代子, 有友たかね, 尾関麻衣子, 小口春久, 菊谷武 : 新規開設した口腔リハビリテーションに特化した歯科衛生専攻科について, 障歯誌, 35 (3) : 591, 2014.
47. 須釜慎子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武 : 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み, 障歯誌, 35 (3) : 592, 2014.
48. Furuya H, Kikutani T, Tamura F, Takahashi N, Iijima K, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y : Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
49. Tashiro H, Tamura F, Kikutani T : Intraoral bacterium counter (Bacterium Counter[®]) : from development to clinical application, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 21, 2014.
50. Tohara T, Tamura F, Kikutani T : A case of swallowing disorder probably caused by psychological burden, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 23, 2014.
51. Shindo H, Aritomo T, Furuya H, Yajima Y, Tamura F, Kikutani T : Preparation of dental prosthesis and oral rehabilitation in a patient with swallowing disorder due to crossed hemiplegia, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 79, 2014.
52. Tamura F, Hobo K, Genkai S, Mizukami M, Kikutani K : Dysphagia therapy for Rett syndrome patients, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 81, 2014.
53. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Factors related to decrease in activities of daily living in elderly persons under home care, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
54. Sagawa K, Tashiro H, Furuya H, Sugama M, Yoshida M, Tamura F, Kikutani T : Investigation of skeletal muscle mass and relevant factors in the elderly, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
55. 田村文誉, 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 白濁友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武 : 在宅訪問における重症心身障害児の摂食指導, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 15-16, 2014.
56. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Relationship between dental occlusion and decline in ADL level in elderly people receiving home care, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 24, 2014.
57. 戸原 雄, 仲澤裕次郎, 田代晴基, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武 : 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける訪問診療実態, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 30 : 377, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武：『お口からながいき—めざせ健康長寿—』，第68回NPO法人 日本口腔科学会学術集会，公開講座，東京都新宿区，2014年5月8日。
2. 菊谷 武：サルコペニアの予防と改善に寄与する補綴歯科を目指して—多職種連携による高齢者の口腔機能，栄養，運動機能の改善—，栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み，日本補綴歯科学会第123回学術大会，臨床リレーセッション2，宮城県仙台市，2014年5月24日。
3. 高橋賢晃：「咀嚼して嚥下する」を科学しよう，日本補綴歯科学会，イブニングセッション1，仙台国際センター（宮城県），2014年5月24日。
4. 田村文誉：障害児の食支援，第14回新生児栄養フォーラム，特別講演，兵庫県神戸市，神戸国際会議場国際会議室，2014年6月1日。
5. 菊谷 武：地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮設構造モデルの検証，第25回老年歯科医学会，一般演題口述，福岡県福岡市，2014年6月12日。
6. 飯田良平，石田 瞭，有岡享子，石飛進吾，高橋浩二，田村文誉，野原幹司，中根綾子，吉田光由：第22回日本老年歯科医学会総会・学術大会，ハンズオンセミナー，福岡県福岡市，電気ビルみらいホール，2014年6月14日。
7. 菊谷 武：歯科医師の立場から，第15回日本語聴覚学会，ランチョンシンポジウム，埼玉県さいたま市，2014年6月28日。
8. 田村文誉：第4分科会 乳幼児にむけた安全で楽しい食事～摂食，嚥下機能の発達と食育～，第58回全国乳児院研修会，石川県金沢市，ホテル金沢2014年7月17日。
9. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，ランチョンセミナー，東京都新宿区，2014年9月6日。
10. 田村文誉：小児患者の摂食指導 ～成長に合わせて機能を伸ばす～，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，交流集会くのもう会，東京都新宿区，京王プラザホテル，2014年9月6日。
11. 田村文誉：脳性麻痺と発達療法の考え方，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，シンポジウム，東京都新宿区，京王プラザホテル，2014年9月7日。
12. 田村文誉，渥美 聡：脳性麻痺における摂食嚥下障害の診かたとその対応，第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，有料セミナー，東京都新宿区，京王プラザホテル，2014年9月7日。
13. 菊谷 武：「地域における高齢者の食支援」，第60回日本老年医学会 関東甲信越地方会，教育講演，東京都三鷹市，2014年9月20日。
14. 菊谷 武：口腔機能への社会的な要望の変化に対し現在取り組まれている事，そして，今後の展望，第16回日本口腔顎顔面技工研究会学術大会，講演，東京都千代田区，2014年11月8日。
15. 田村文誉：小児の摂食嚥下障害について～発達療法の考え方～，第26回日本小児口腔外科学会

総会・学術大会，教育講演，栃木県宇都宮市，栃木県総合文化センター，2014年11月8日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 須田牧夫：要介護者に対する口腔ケアの実際—気道感染症などの予防について—気道感染症などの予防について—，浴風会新人研修会，東京都杉並区，2014年4月2日。
2. 町田麗子：離乳食の進め方，ママサカス2014，東京都港区，TBS テレビ，平成26年4月3日。
3. 児玉実穂：マタニティママの歯科治療，ママサカス2014，東京都港区，TBS テレビ，2014年4月3日。
4. 町田麗子：食べる機能の発達における学校給食の役割，都立城北特別支援学校職員研修会，東京都足立区，東京都足立区城北特別支援学校，2014年4月4日。
5. 菊谷 武：認知症高齢者の食べることの問題とその対策について，きさらぎ市・国分寺市共催平成26年度 認知症講演会，東京都国分寺市，いずみプラザ，2014年4月7日。
6. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成26年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，八王子市，都立八王子東特別支援学校，2014年4月9日。
7. 菊谷 武：「摂食嚥下障害の原因と特徴」，第1回台湾摂食嚥下リハビリテーションシンポジウム，台湾高雄市，台湾，2014年4月20日。
8. 高橋賢晃：在宅・訪問歯科診療参加型臨床実習において教育効果を向上させるためには，記念講演，岡山県岡山市，2014年4月27日。
9. 菊谷 武：神経難病とお口の健康，船橋市保健所「難病患者と家族のつどい」，千葉県船橋市，船橋市役所，2014年5月15日。
10. 町田麗子：口腔ケア，東京都福祉保健財団介護福祉専門員専門研修，東京都新宿区，東京都新宿区セントラルプラザ，2014年5月17日。
11. 高橋賢晃：口腔ケア概論，介護予防実践運動指導員養成講座，東京都日野市，2014年5月21日。
12. 菊谷 武：在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク，嚥下調整食学会分類2013に基づく経口アプローチセミナー，宮城県仙台市，TKP ガーデンシティ，2014年5月31日。
13. 町田麗子：口腔ケア，東京都福祉保健財団介護福祉専門員専門研修，東京都新宿区，東京都新宿区研究者英語センター，2014年6月2日。
14. 児玉実穂：マタニティオーラルケアの大切さ，第42回母子保健指導員研修会，東京都新宿区，2014年6月10日。
15. 田村文誉：障害者における摂食・嚥下障害の症例検討会，清瀬市社会福祉協議会研修会，東京都清瀬市，清瀬市障害者福祉センター，2014年6月12日。
16. 菊谷 武：「ケースプレゼンテーションの進め方」，東京都立心身障害者口腔保健センター，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，東京都立心身障害者口腔保健センター，2014年6月19日。
17. 菊谷 武：「口腔ケアについて」，平成26年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，家の光会館，2014年6月20日。

18. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都新宿区，2014年6月23日。
19. 菊谷 武：「認知症高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケアの進め方」，横浜市社会福祉協議会高齢福祉部主催研修，神奈川県横浜市，横浜市健康福祉総合センター，2014年7月4日。
20. 菊谷 武：「嚥下機能のメカニズムと障害について」，埼玉県済生会川口総合病院 全職員対象講演会，埼玉県川口市，埼玉県済生会川口総合病院，2014年7月9日。
21. 町田麗子：ダウン症における食べる機能の発達と障害，東京通信病院小児科第6回ダウン症勉強会，東京都千代田区，東京都千代田区通信病院，2014年7月12日。
22. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，館林邑楽歯科医師会介護在宅委員会講演会，群馬県館林市，2014年7月12日。
23. 田村文誉：高齢者の窒息予防を含む摂食嚥下及び，施設でできる口腔ケア，町田市 研修会，東京都町田市，町田市健康福祉会館，2014年7月14日。
24. 菊谷 武：「口腔リハビリテーションの実際」，東京都中央区京橋歯科医師会主催学術講演会，東京都中央区，京橋プラザ区民館，2014年7月16日。
25. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支える」，東京都立多摩総合医療センター平成26年度歯科医療連携臨床懇話会，東京都多摩市，東京都立多摩総合医療センター，2014年7月17日。
26. 田村文誉：摂食指導の基礎基本，歯と口の健康づくり，東京都小金井市，都立小金井特別支援学校，2014年7月18日。
27. 菊谷 武：『地域における食支援』～多摩クリニックの取り組み～，那覇市在宅医科歯科連携学術講演会，沖縄県那覇市，ホテルロイヤルオリオン，2014年7月19日。
28. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達とその課題への対応，平成26年度保育所・幼稚園歯科保健研修会，東京都多摩市，東京都南多摩保健所，2014年7月22日。
29. 田村文誉：摂食嚥下機能の発達と障害，調布市歯科医師会小島町歯科診療所学術講演会，東京都調布市，小島町診療所研修室，2014年7月24日。
30. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年7月26日。
31. 田村文誉：摂食指導の基礎・基本，全校研修会，東京都府中市，東京都立府中けやきの森学園，2014年7月29日。
32. 菊谷 武：「誤嚥性肺炎 ―診断・治療・予防―」，Infection File 37号 座談会，東京都千代田区，丸ノ内ホテルミーティングホール，2014年8月1日。
33. 菊谷 武：「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？」，平成26年度日本歯科大学北陸地区歯学研修会，富山県高岡市，ホテルニューオータニ高岡，2014年8月2日。
34. 町田麗子：食べる機能の発達と障害，東京都学校給食会都立特別支援学校形態別調理研修会，東京都文京区，東京都文京区学校給食会，2014年8月6日。
35. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年8月8日。

36. 菊谷 武：1, 「高齢患者の対する考え方」 2, 「食べることに問題のある患者に歯科は何かができるのか？」 5, 「地域における摂食支援」, 第1回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座, 三重県津市, 三重県歯科医師会館, 2014年8月24日.
37. 田村文誉：摂食機能の発達と障害特性をふまえた支援について, 職員研修会, 東京都多摩市, 都立多摩桜の丘学園, 2014年8月28日.
38. 町田麗子：食べる機能の発達における学校給食の役割, 目黒区立油面小学校わかたけ学級職員研修会, 東京都目黒区, 東京都目黒区油面小学校, 2014年8月29日.
39. 菊谷 武：「摂食・嚥下機能について」, 平成26年度公益社団法人秋田県栄養士会「生涯教育」, 秋田県秋田市, 秋田市文化会館, 2014年8月30日.
40. 菊谷 武：講演「訪問歯科診療の現状及び器材パッケージについて」, 平成26年度医工連携事業推進事業意見聴取会（在宅歯科医療講演会）, 宮城県仙台市, 仙台国際センター, 2014年8月31日.
41. 菊谷 武：「高齢者歯科診療における留意点について」, 平成26年度神奈川県在宅歯科医療推進研修会, 神奈川県横浜市, 神奈川県歯科保健総合センター, 2014年9月11日.
42. 菊谷 武：「評価内容の家族, 介護者への伝え方」, 平成26年度摂食・嚥下サポート医研修会, 東京都多摩市, 東京都南多摩保健所, 2014年9月12日.
43. 菊谷 武：「地域における食支援」, オープン1周年記念 株式会社ジーシー カムリエセミナー, 東京都文京区, GCCorprate Center, 2014年9月15日.
44. 菊谷 武：「摂食嚥下支援と口腔ケアの重要性」, フードシステムソリューション (F-SYS) 2014, 東京都江東区, 東京ビッグサイト, 2014年9月17日.
45. 田村文誉：摂食・嚥下研修会基礎編, 「平成26年度摂食・嚥下機能支援基盤整備事業」, 東京都あきる野市, あきるのルピア, 2014年9月19日.
46. 菊谷 武：「食べることで生きる力を！」, 平成26年度船橋市「公開講座」, 千葉県船橋市, 船橋市民文化創造館・きららホール, 2014年9月24日.
47. 須田牧夫：口腔機能アセスメント表, 横浜南仲通歯科医院研修会, 神奈川県横浜市, 2014年9月26日.
48. 児玉実穂：在宅重症心身障害児（者）のオーラルケア, 平成26年度訪問看護師等育成研修（レベルアップ編）, 東京都中野区, 2014年9月27日.
49. 須田牧夫：口腔リハビリテーション—摂食機能障害への対応—, 日本訪問歯科協会研修会, 東京都千代田区, 2014年9月28日.
50. 高橋賢晃：摂食・嚥下障害の評価, 評価医養成研修, 東京都新宿区, 2014年10月5日.
51. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」, 東京都立心身障害者口腔保健センター, 評価医養成研修（医師及び歯科医師対象）, 東京都新宿区, 東京都立心身障害者口腔保健センター, 2014年10月5日.
52. 田村文誉：摂食様式から診る摂食嚥下障害とその対応, 世田谷区歯科医師会学術講演会, 東京都世田谷区, 世田谷区歯科医師会館, 2014年10月15日.

53. 菊谷 武：食べる力は生きる力～関係職種の連携で在宅医療を支える～，町田市歯科医師会「地域医療講演会」，東京都町田市，ガーデン町田，2014年10月18日.
54. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，トヨタドライビングスクール東京，2014年10月20日.
55. 高橋賢晃：口腔ケア，東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，2014年10月28日，11月15日.
56. 須田牧夫：「めざせ健康長寿！—高齢者の生活ステージに応じた口腔ケアとは—」，リフレケアH 口腔ケアセミナー in 苫小牧，北海道苫小牧市，2014年11月1日.
57. 水上美樹：幼児期から育む食べる機能，第14回彩歯健康アカデミー，埼玉県川越市，2014年11月2日.
58. 菊谷 武：講演 I，彩歯健康アカデミー，埼玉県川越市，川越プリンスホテル，2014年11月2日.
59. 児玉実穂：妊婦の口腔管理と歯科治療—マイナス1歳からの口腔管理—，水戸支部イブニングセミナー，茨城県水戸市，2014年11月11日.
60. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都立川市，2014年11月13日.
61. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都新宿区，2014年11月14日.
62. 菊谷 武：「地域における食支援」，第6回医食農連携プラットフォーム研究会，東京都中央区，ファンケル銀座スクウェア，2014年11月20日.
63. 須田牧夫：発達障害者，中途障害者に対する摂食指導・口腔管理について，平成26年度埼玉県歯科医師会歯科衛生士のための障害者歯科研修，埼玉県さいたま市，2014年11月20日.
64. 田村文誉：乳幼児期の口腔機能の発達と窒息予防について，平成26年度金沢市保育所（園）職員研修会，石川県金沢市，金沢市教育プラザ，2014年11月21日.
65. 田村文誉：在宅療養指導（口腔機能管理）・摂食・嚥下リハビリテーションコース 摂食時の外部観察評価，平成26年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，日本歯科大学，2014年11月23日.
66. 菊谷 武：講演 1，私たちはどう食べているのか？ 2，何を見て何を評価するのか？ 3，どう鍛えるのか？，第2回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座，三重県津市，三重県歯科医師会館，2014年11月24日.
67. 須田牧夫：在宅療養指導における口腔機能管理の症例検討，平成26年度日本歯科衛生士会認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2014年11月24日.
68. 菊谷 武：チームで取り組む摂食嚥下障害への対応，第5回チーム医療勉強会，東京都多摩市，東京都立多摩総合精神保健福祉センター，2014年11月25日.
69. 田村文誉：障害児・者の嚥下リハビリテーション，公開研修会，沖縄県国頭郡，沖縄琉球リハビリテーション学院，2014年11月29日.

70. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について」，平成26年度神奈川県摂食・嚥下歯科医療担当者研修会，神奈川県横浜市，神奈川県歯科保健総合センター，2014年11月30日。
71. 田村文誉：特別支援学校における摂食指導の基礎・基本，特別支援学校研修会，長野県長野市，長野県庁，2014年12月1日。
72. 元開早絵：f NIRS を用いた脳機能測定法について，エコー療育園職員研修会，宮城県仙台市，2014年12月3日。
73. 菊谷 武：食べる力の確保で生活の向上を，草加市健康らくらく講座，埼玉県草加市，草加市立中央公民館，2014年12月3日。
74. 須田牧夫：摂食嚥下機能とは～メカニズムから摂食嚥下障害まで～，淀川食品研修会，東京都足立区，2014年12月3日。
75. 菊谷 武：「摂食・嚥下がいいに対する評価・診断・対処法について」，熊本歯科衛生士専門学院，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，熊本歯科衛生士専門学院，2014年12月6日，12月7日。
76. 田村文誉：摂食・嚥下研修会中級編，「平成26年度摂食・嚥下機能支援基盤整備事業」，東京都福生市，福生市市民会館，2014年12月9日。
77. 田村文誉：摂食嚥下のしくみと，重症心身障害児の口腔ケア・間接訓練について，職員研修会，埼玉県川越市，医療型障害児入所施設カルガモの家，2014年12月12日。
78. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本歯科大学歯学会ウィンターミーティング，東京都千代田区，日本歯科大学富士見ホール，2014年12月13日。
79. 須田牧夫：摂食嚥下障害とリスク管理－安全な検査・訓練を行うために必要な知識－，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年12月13日。
80. 菊谷 武：研修「I 認知症患者の口腔管理」，岡山県歯科医師会 平成26年度 訪問歯科研修会，岡山県岡山市，岡山県歯科医師会館，2014年12月14日。
81. 菊谷 武：「食べることは生きること」，平成26年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，豊田市福祉センター，2015年1月7日。
82. 菊谷 武：「超高齢社会における歯科の役割」，第3回九州歯科衛生士研究大会，大分県大分市，大分県歯科医師会館，2015年1月25日。
83. 田村文誉：脳性麻痺児の摂食嚥下について，職員研修，東京都武蔵村山市，東京小児療育病院，2015年1月27日。
84. 田代晴基：摂食嚥下障害と口腔ケア，社会福祉法人東京聖労院 特別養護老人ホームつきみの園研修会，東京都小金井市，特別養護老人ホームつきみの園，2015年1月28日。
85. 児玉実穂：妊婦歯科治療の重要性と意義，平成26年度妊婦歯科健診協力医要請講演会，沖縄県浦添市，2015年2月1日。
86. 児玉実穂：妊婦歯科治療の重要性と意義，平成26年度妊婦歯科健診協力医要請講演会，沖縄県島尻群，2015年2月1日。

87. 菊谷 武：「地域で“食べる”をささえるということ」，平成26年度歯科保健担当者研修会，愛媛県松山市，愛媛県中予地方局7階大会議室，2015年2月2日。
88. 児玉実穂：口腔機能の発達と摂食・嚥下障害について，知的障がい児・者支援サービス基礎講座（医療編），千葉県袖ヶ浦市，2015年2月4日。
89. 町田麗子：摂食・嚥下障害児への支援，母子愛育会総合母子保健センター地域栄養活動，東京都港区，東京都港区子ども家庭総合研究所，2015年2月6日。
90. 菊谷 武：「在宅患者に対する摂食・嚥下支援」，比企郡市歯科医師会講演会，愛媛県東松山市，愛媛県東松山市保健センター，2015年2月8日。
91. 鰐原賀子：口腔ケア概論，介護予防実践運動指導員養成講座，東京都日野市，2015年2月11日。
92. 児玉実穂：妊娠期の口腔内変化と母子伝搬に絡めた予防の必要性，地域保健部・八王子支部共催研修会，東京都八王子市，2015年2月13日。
93. 児玉実穂：妊娠期の口腔内変化と母子伝搬に絡めた予防の必要性，地域保健部・八王子支部共催研修会，東京都八王子市，2015年2月13日。
94. 田村文誉：発達期の摂食嚥下障害，三鷹市歯科医師会障がい者かかりつけ歯科医機能支援システムに関する歯科医師等研修会，東京都三鷹市，三鷹産業プラザ，2015年2月18日。
95. 菊谷 武：学術講演会，鎌倉市歯科医師会学術講演会，神奈川県鎌倉市，2015年2月21日。
96. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，特別講演，第10回川口脳卒中地域連携研究会，埼玉県川口市，川口フレンジア，2015年2月24日。
97. 田代晴基：摂食嚥下障害の評価と診断スクリーニングテスト，西東京歯科医師会研修会，西東京市田無総合福祉センター，2015年2月25日。
98. 菊谷 武：専門クリニックの取り組み（シンポジスト），シンポジウム 在宅療養者の摂食嚥下機能支援～事例検討～，東京都小金井市，小金井市民交流センター，2015年2月27日。
99. 菊谷 武：『知らないではすまされない口腔ケアの基礎知識』，山梨県歯科医師会 口腔ケア研修セミナー，山梨県甲府市，かいてらす，2015年3月1日。
100. 菊谷 武：「スマイルケア食誕生の目的と意義，訪問介護に望むこと」，ホームヘルパー中央研修会，東京都港区，東京グランドホテル蘭の間，2015年3月8日。
101. 菊谷 武：「認知症高齢者に対する口腔ケアについて」，高知県地域福祉部高齢者福祉課長，高知県高知市，高知城ホール，2015年3月9日。
102. 菊谷 武：『在宅で“食べる”をささえるということ』，たつの市揖保郡医師会在宅医療講習会，兵庫県たつの市，たつの市はつらつセンター，2015年3月12日。
103. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，2015年（公社）日本歯科先端技術研究所 学術講演会，東京都中央区，東京コンベンションjホール，2015年3月15日。
104. 田村文誉：知っておきたい障害者（児）の口腔ケア，武蔵野市障害者福祉センター講演会，かたらいの道 市民スペース，2015年3月17日。
105. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第1回介護用品・介護施設産業展 Care TEX2015，東京都江東区，東京ビックサイト，2015年3月18日。

106. 戸原 雄：初歩からまなぶ摂食嚥下リハビリテーション，青森県歯科衛生士会三戸支部研修会，八戸歯科衛生士学校，2014年11月19日，2015年3月29日．

● 口腔リハビリテーション多摩クリニック

Tama Oral Rehabilitation Clinic

1. 所属構成員等

口腔リハビリテーション科

教 授 菊谷 武 (口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)

田村 文誉 (口腔リハビリテーション科科長)

講 師 須田 牧夫 (口腔リハビリテーション多摩クリニック院長代理)

助 教 戸原 雄, 松木るりこ

非常勤歯科医師 田代 晴基, 保母妃美子, 磯田 友子

臨床教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義

臨床准教授 今井 庸子, 花形 哲夫, グリーナンせつゑ, 五島 朋幸

臨床講師 西方 浩一, 鈴木 亮

スペシャルニーズ歯科

教 授 砂田 勝久 (歯科麻酔学講座)

准 教 授 山城三喜子 (歯科麻酔学講座2014年4月~12月),

荘司 洋文 (口腔外科), 石垣佳希 (口腔外科)

講 師 筒井友花子 (歯科麻酔学講座), 今井 智明 (歯科麻酔学講座)

梅津糸由子 (小児歯科), 鈴木 淳子 (小児歯科), 村松 健司 (小児歯科)

助 教 三井 陽介 (歯科麻酔), 安田 麻子 (歯科麻酔学講座),

田中 秀明 (歯科麻酔学講座2014年4月~2015年2月),

内科

教 授 佐々木裕芳

高齢者歯科学講座

特任助教 有友たかね (2014年10月~)

医療職員

歯科衛生士 水上 美樹, 西村 美樹, 西澤加代子, 田中 祐子 (2014年4月~)

有友たかね (2014年4月~9月),

言語聴覚士 高島 良代 (2014年4月~), 橋本 久美 (2014年4月~)

管理栄養士 尾関麻衣子, 荒井恵美子 (2014年10月~2015年3月)

事務職員 谷村 龍三, 中角 浩之, 田中 梨絵, 町田 保子

大学院生 元開 早絵, 手島 千陽, 佐川敬一朗, 古屋 裕康, 岡澤 仁志

新藤 広基, 矢島 悠里, 漆原あゆみ, 塚原 理央, 仲澤裕次郎

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's child care burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第31回一般社団法人 日本障害者歯科学会総会および学術大会, 優秀発表賞, 須釜槇子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武, 2014年11月16日, 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み.
- 2) International Association for Disability and Oral Health (IADH Award), Furuya H, Kikutani T, Tamura F, Takahashi N, Iijima K, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, 2014年10月4日, Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons.

4. 学位取得者

- 1) 水上美樹, ダウン症候群児の粗大運動能と摂食に関わる口腔異常習癖との関係, 2015年3月23日, 徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻(博士前期課程).
- 2) 戸原 雄, A multi-centered clinical epidemiological study on factors associated with total salivary bacterial count of elderly individuals requiring nursing care, 2014年3月25日, 岡山大学.

5. 主催学会等

- 1) 多摩在宅N C M研究会 在宅ケア症例検討会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月10日, 2014年7月26日, 2014年11月8日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) 医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会 「食べるを支える」 第1回, 小金井市民交流センター, 2014年5月27日, 2014年9月30日, 2015年2月23日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 3) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター 「とろみ剤・ゲル化剤の上手な使い方」 “食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年4月25日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 4) 管理栄養士・栄養士・調理師向け 研修会 平成26年 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター 「厨房から変える! 摂食・嚥下機能に合った調理法」 “食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月27日①午前の部, ②午後の部, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 5) 障害児にかかわる方向け 研修セミナー 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～ 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年6月20日, 2014年10月16日, 2015年1月16日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 6) 平成26年度 おうちで行う歯科医療 多摩在宅歯科医療研究会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月29日, 2014年9月18日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 7) 医療・介護専門職向け 研修会 平成26年度 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター 「“食べる”を介助する」～おいしく, 楽しく, 安全に食べるには～ “食べる”を支える研修会, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年5月16日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 8) 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 臨床カンファレンス, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2014年11月27日, 2015年3月19日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

6. 国際交流状況

- 1) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ. 嚥下内視鏡を用いた摂食・嚥下機能評価, 重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論, 2014年6月24日～7月4日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 厚生労働科学研究委託費，長寿科学総合研究事業（新規），平成26年～28年度，地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討，菊谷 武（代表），呉屋朝幸，神崎恒一，長島文夫，田中良典，道脇幸博，八重垣健（分担），8,890,000円。
- 2) 厚生労働科学研究費補助金，循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業（継続），平成24年～26年度，歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究，菊谷武（代表），弘中祥二，角 保徳，窪木拓男，吉田光由，岸本裕充，大野友久，荒川浩久（分担），2,850,000円。
- 3) 厚生労働科学研究費補助金，長寿科学総合研究事業（継続），平成24年～26年度，地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて，葛谷雅文（代表），森本茂人，大類 孝，菊谷 武，杉山みち子，榎 裕美，若林秀隆（分担）7,950,000円。
- 4) 厚生労働科学研究費補助金，長寿科学総合研究事業（継続），平成24年～26年度，虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究，飯島勝矢，大内尉義，菊谷 武，東口高志，高田和子，大淵修一（分担）30,000,000円。
- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究 C），（継続），平成24年～27年度，摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態 / 薬力学的検討，菊谷 武（代表），松本宣明，小野真一（分担），780,000円。
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究 C），（継続），平成24年～26年度，子どものヘルスプロモーションのため食育推進：母子支援方法の探索研究，田村文誉（代表），八重垣健，西脇恵子，菊谷 武（分担），1,300,000円。
- 7) 厚生労働省長寿科学研究開発費，（継続），平成25年～27年度，高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究，角 保徳（代表），渡邊 哲，海老原覚，植松 宏，菊谷 武，道脇幸博，永長周一郎，三浦宏子，岩渕博史，櫻井 薫，深山治久，森戸光彦（分担），10,000,000円。
- 8) 厚生労働科学研究費補助金，循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業，長寿科学総合研究事業，（継続），平成25年～27年度，口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究，東口高志（代表），菊谷 武，丸山道生，葛谷雅文，松崎政三，真田弘美，鎌倉やよい（分担），11,570,000円。
- 9) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，（基盤研究 C），（新規），平成26年～27年度，口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究，高橋賢晃（代表），菊谷 武，田村文誉（分担），2,900,000円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 水上美樹（分担執筆）：小児の摂食・嚥下障害，口腔咽頭吸引，日本歯科衛生士会編，歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション，医歯薬出版，(65-78)，(183)，東京，2014，978-4-263-42173-4
2. 水上美樹（分担執筆）：口腔咽頭吸引，全国歯科衛生士教育協議会編，最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版，147-148，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-42835-1
3. 田村文誉，水上美樹（分担執筆）：① Down 症候群と摂食嚥下障害，Ⅲ症例提示編，3. 染色体異常，奇形症候群と摂食嚥下障害，田角 勝，向井美恵編著，小児の摂食嚥下リハビリテーション第2版，247-251，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-44418-4.
4. 1) 田村文誉，菊谷 武（分担執筆）：高齢者ではよくみられる，口腔内および口腔周囲の不随意運動（オーラルディスクイネジア）が止まらない症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，233-239，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7.
2) 田村文誉，菊谷 武（分担執筆）：習慣性顎関節脱臼にて下顎位が定まらず，摂食・嚥下に困難をきたした症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，240-244，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7.
3) 菊谷 武（分担執筆）：喉頭摘出術後も嚥下障害が遷延化したワレンベルグ症候群患者に対して軟口蓋挙上装置が効果的であった症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，245-247，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7.
4) 菊谷 武（分担執筆）：舌接触補助床を装着したことにより口腔移送が改善した ALS の症例，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション 50症例から学ぶ実践的アプローチ第2版，248-250，医歯薬出版，東京，2014，978-4-263-21858-7.
5. 菊谷 武（分担執筆）：第2章 1. インプラントが埋入されていても噛めなくなるときが来る，菊谷 武，窪木拓男編著，65歳以上の患者さんへのインプラント治療・管理ガイド，38-41，株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ，東京，2014.
6. 菊谷 武（監修）：スプーン&フォークつき シニアのおいしい健康レシピ，株式会社主婦の友社，東京，2014.
7. 菊谷 武（分担執筆）：Ⅳ呼吸器感染症の治療と予防 9. 肺炎予防のための多面的アプローチ，工藤翔二，武村民子，江口研二，川名明彦，菊池功次，酒井文和，三嶋理晃，吉澤端之編著，日本胸部臨床 呼吸器感染症 2015，231-237，克誠堂出版株式会社，東京，2014，978-4-7719-0397-5.

8. 菊谷 武 (分担執筆) : 3) 重度の要介護者への支援 (1) 在宅歯科医療における支援, 向井美恵, 井上美津子, 安井利一, 眞木吉信, 深井穂博, 植田耕一郎編著, 口腔機能への気づきと支援, 180-183, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014, 978-4-263-42198-7.
9. 菊谷 武, 尾関麻衣子 (分担執筆) : 口腔機能と低栄養, 葛谷雅文, 酒元誠治編集, MNA 在宅栄養ケア 在宅高齢者の低栄養予防と早期発見, 24-30, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, 978-4-263-70637-4.
10. 須田牧夫 : 口腔リハビリテーション 摂食機能障害への対応, 認定医講座コアカリキュラム DVD, 日本訪問歯科協会, 東京, 2014.
11. 田村文誉, 保母妃美子 (分担執筆) : 2 よくある症状の解説と対処法 14 嚥下障害, 青天目信, 伊藤雅之編著, レット症候群診療ガイドブック, 171-182, 大阪大学出版会, 大阪, 2015, 978-4-87259-496-6 C3047.
12. 1) 菊谷 武, 尾関麻衣子 (分担執筆) : 摂食・嚥下障害 ① 病患概要, 加藤昌彦編者, 医師が知っておきたい 外来で役立つ 栄養・食事療法のポイント, 154-160, 文光堂, 東京, 2015, 978-4-8306-1388-3.
- 2) 尾関麻衣子, 菊谷 武 (分担執筆) : 摂食・嚥下障害 ② 栄養・食事指導の実際, 加藤昌彦編者, 医師が知っておきたい 外来で役立つ 栄養・食事療法のポイント, 161-165, 文光堂, 東京, 2015, 978-4-8306-1388-3.

B. 原著

1. Ishii S, Tanaka T, Shibasaki K, Ouchi Y, Kikutani T, Higashiguchi T, Obuchi S P, Ishikawa -Takata K, Hirano H, Kawai H, Tsuji T, Iijima K, Development of a simple screening test for sarcopenia in older adults, *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; 14 (Suppl.1) : 93-101, doi : 10.1111 / ggi.121997.
2. 原 豪志, 戸原 玄, 近藤和泉, 才藤栄一, 東口高志, 早坂信哉, 植田耕一郎, 菊谷 武, 水口俊介, 安細敏弘 : 胃瘻療養中の脳血管障害患者に対する心身機能と摂食状況の調査, ○老年歯科医学, 2014 ; 29 (2) : 57-65
3. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T, One-leg standing time with eyes open : comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, *The Journal of Craniomandibular & Sleep Practice*, 2014 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179 / 2151090314 Y. 0000000007
4. Suzuki R, Kikutani T, Yoshida M, Yamashita Y, Hirayama Y, Prognosis-related factors concerning oral and general conditions for homebound older adults in Japan, ◇ *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; doi : 10.1111 / ggi.12382.
5. Kikutani T, Tamura F, Tashiro H, Yoshida M, Konishi K, Hamada R, Relationship between oral bacteria count and pneumonia onset in elderly nursing home residents, *Geriatr Gerontol Int*, 2014 ; 15 (4) : 417-421, doi : 10.1111 / ggi.12286.
6. * 水上美樹, 田村文誉, 松山美和, 菊谷 武 : ダウン症候群児の粗大運動能と摂食に関わる口

C. 総説・解説

1. 田村文誉: 病院・重症児病棟などではどう育てるか, 千木良あき子編, 重症心身障害児から軽度発達障害児までを含めた摂食・嚥下機能発達の基本 発達療法を基本とした対応が患者にもたらずもの, 小児看護 8, 36 (9) : 1203-1208, 2014.
2. 田村文誉: 文献紹介 An observational study of adults with Down syndrome eating independently Smith CH, Teo Y, Simpson S Dysphagia, 障歯誌, 35 (1) : 55, 2014.
3. 田村文誉: ニュース・レター 臨床最前線 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, 障歯誌, 35 (2) : iv, 2014.
4. 田村文誉: 知ってほしい! 障害児への地域連携の課題, ザ・クインテッセンス, 33 (4) : 152-157, 2014.
5. 菊谷 武: 寝たきりでも快適な生活を送るための訪問歯科, 安心の歯科治療完全ガイド2015, 108-111, 2014.
6. 菊谷 武: 地域で「食べる」を支えるということ, 地域医療, 52 (1) : 20-21, 2014.
7. 菊谷 武, 有友たかね: 口腔ケア連携手帳を用いた地域での取り組み, 地域連携 入退院支援, 7 (3) : 58-62, 2014.
8. 菊谷 武: ヘルスケア・レストラン, 22 (9) : 63, 2014.
9. 菊谷 武: 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにて「いろいろビュッフェ」が開催されました, GC CIRCLE, 150 : 34-35, 2014.
10. 菊谷 武: 在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク, ヘルスケア・レストラン, 22 (10) : 16-17, 2014.
11. 菊谷 武: Seminar Report 第5回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー, ヘルスケア・レストラン, 22 (12) : 82-83, 2014.
12. 菊谷 武, 田代晴基, 水上美樹, 有友たかね: 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 : (1) : 50-55, 2015.
13. 菊谷 武: 東京北多摩地区における経口摂取の病診連携を語る, ヘルスケア・レストラン, 23 (1) : 26-29, 2015.
14. 菊谷 武: インタビュー&レポート 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの軌跡と口腔リハビリテーションの未来, 歯界展望, 124 (4) : 629-632, 2014.
15. 菊谷 武: 命を守る口腔ケア, 障歯誌, 35 (2) : 115-120, 2014.
16. 田村文誉: ②安全で上手に食べられるようになるには, 佐々木洋監修, 口から育つところと身体~21世紀の小児歯科のパラダイムとミッション~, チャイルドヘルス, 17 (12) : 8-11, 2014.
17. 須田牧夫: 1枚の写真から(第6回) 超高齢社会と舌接触補助床(PAP), The Quintessence, 33 (6) : 3-4, 2014.

18. 須田牧夫：(第1章) システム論在宅歯科医療のニーズ 摂食嚥下リハビリテーション, 口から食べるストラテジー 在宅歯科医療の診療方針と実際, DENTAL DIAMOND, 39 (10) : 46-53, 2014.
19. 須田牧夫：(第3章) Q&A 訪問歯科のギモン, 口から食べるストラテジー 在宅歯科医療の診療方針と実際, DENTAL DIAMOND, 39 (10) : 105-110, 2014.
20. 須田牧夫：(第2章) 歯の破折の処置 (症例別対応) 高齢者の歯の破折への対応 高齢者の歯冠と歯根破折への対応, 臨床力アップにつながる 歯の破折の診断と処置, DENTAL DIAMOND, 39 (14) : 132-136, 2014.
21. 須田牧夫：(第2章) 歯の破折の処置 (症例別対応) 高齢者の歯の破折への対応 高齢者の歯の破折予防のための啓発活動, 臨床力アップにつながる 歯の破折の診断と処置, DENTAL DIAMOND, 39 (14) : 137-139, 2014.
22. 久野彰子, 田村文誉：妊娠期・授乳期における口腔状態と母体栄養との関連, 特集 栄養管理における歯科の役割, 臨床栄養, 126 (3) : 249-253, 2014.
23. 水上美樹：多職種協働現場 施設への歯科訪問診療, 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 : 50-53, 2015.
24. 水上美樹：特別支援学校と歯科衛生士のかかわり, デンタルハイジーン, 36 : 177, 2015.
25. 西村美樹：多職種協働現場 小児への摂食指導, 大畑秀穂, 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 (2) : 176-177, 2015.
26. 有友たかね：多職種協働現場02 在宅における歯科訪問診療, 菊谷 武編, 編集部がゆく! VOL.8 (前編) 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 (1) : 54-55, 2015.
27. 有友たかね：多職種協働現場04 病院への歯科訪問診療, 菊谷 武編, 編集部がゆく! VOL.9 (後編) 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 (2) : 178-179, 2015.
28. 児玉実穂, 柳井智恵, 鈴木麻美：妊娠による身体と口腔環境の変化, 歯科治療が妊婦に与える影響, 妊婦の口腔環境の変化と歯科治療, 東京都歯科医師会雑誌, 63 : 4-10, 2015.
29. 佐々木力丸：介護老人福祉施設に入居する要介護高齢者に対する栄養支援の効果について, 老年歯学, 29 (4) : 362-367, 2015.
30. 菊谷 武：特別鼎談 食形態の地域連携と「スマイルケア食」の可能性 食形態区分の新たなツールで退院患者の食と生活をつないでいこう, ヘルスケア・レストラン, 23 (3) : 26-31, 2015.
31. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科 1 在宅訪問での摂食嚥下リハビリ, 医療と介護 Next, 1 (1) : 50-51, 2015.
32. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科 2 在宅要介護高齢者の歯科受診はこんなに重要だ, 医療と介護 Next, 1 (2) : 50-51, 2015.
33. 菊谷 武：特集 在宅医療の新しい展開 Seminar 6. 在宅医療における歯科診療, Geriatric

Medicine (老年医学), 53 (2): 143-147, 2015.

34. 菊谷 武: 口腔機能の維持向上と食事のケアのポイント, 介護福祉, 97: 43-49, 2015.
35. 菊谷 武, 鰐原賀子: 3. 口腔保健と生活習慣病, 非感染性疾患 (NCDs, 非伝染性疾患) 4) 循環器疾患 (心臓血管疾患, 脳血管疾患) —口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 112-117, 2015.
36. 菊谷 武, 鰐原賀子: 4. 口腔保健と要介護状態を引き起こす主な原因疾患との関係 1) 脳卒中—口腔保健と循環器疾患—, 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス, 146-150, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 児玉実穂, 梅津糸由子, 近藤哲夫: きれいなママの歯が赤ちゃんの歯を守る!, 「乳歯」こそしっかり! 今日から始める歯磨き習慣, AERA with Baby, 4: 50-59, 2014.
2. 菊谷 武: 身につけよう よくかむ習慣, 日本経済新聞, 2014年5月3日, 7面, 2014.
3. 菊谷 武: 誤嚥防止に「食塊」意識を, 東京新聞, 2014年8月27日, 14面, 2014.
4. 有友たかね: 歯科衛生士が教える口腔ケア方法, 菊谷 武, Part6 身体のための口腔ケア, 日経 MOOK 自分にあった歯科医師と出会うためによくわかる歯科治療2015, NIKKEI MOOK. DENTAK CARE 2015: 145-149, 2014.
5. 菊谷 武: クローズアップ現代, NHK 総合, 2014年12月1日.
6. 菊谷 武: たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学, テレビ朝日, 2014年11月4日.
7. 菊谷 武: いっぷく!, TBS, 2014年11月4日.
8. 菊谷 武: NHK ニュース7, NHK 総合, 2014年9月21日.
9. 菊谷 武: 夢の扉+, TBS, 2014年8月10日.
10. 児玉実穂: news every., 日本テレビ, 2014年6月3日.
11. 菊谷 武: 健康のためのニュースな言葉「入れ歯ケア」, 読売新聞, 2015年2月14日.

E. 翻訳

1. Brian G.Skotko, Susan PLevine, 松木るりこ (共訳), スピードをおとす, 85-105, 伊藤英夫, 西脇恵子監訳: シートベルトをしめて発進しよう FASTEN YOUR SEATBELT a crash course on Down syndrome for brothers and sistees, 三輪書店, 東京, 2015.

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 梅津糸由子, 鈴木淳子, 岩崎てるみ, 三宅真帆, 新見嘉邦, 甲田彩理沙, 荻原栄和, 辻 裕子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 本学小児歯科における過去3年間の全身麻酔下での歯科治療の実態調査, 小児歯誌, 52 (2): 393, 2014.
2. 波多野宏美, 楊 秀慶, 塩谷友季子, 村松健司, 三井園子, 松崎祐樹, 内川喜盛: 親子療育入

- 所者への歯科からの取り組み, 小児歯誌, 52 (2) : 251, 2014.
3. 白瀬敏臣, 内川喜盛, 村松健司, 西村 歩, 三浦みつ子, 上原正美 : 乳歯埋入後に再萌出が困難となった2例, 小児歯誌, 52 (2) : 272, 2014.
 4. 古宅美樹, 水上美樹, 田村文誉, 鈴木淳子, 村松健司 : 新規開設した某口腔リハビリテーションクリニックに概要と歯科治療を行った障害児・者の実態調査, 小児歯誌, 52 (1) : 139, 2014.
 5. Tamura F, Genkai S, Hobo K, Kikutani T, Yaegaki K : Only dysphagia therapy is not enough to reduce the burden of mothers with dysphagia children, Spec Care Dentist, 34 (5) : 239-240, 2014.
 6. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域連携の取り組み 舌癌術後の症例を通して, 言語聴覚研究, 11 (3) : 274, 2014.
 7. 松木るりこ, 西脇恵子, 田村文誉, 菊谷 武 : 言語聴覚士の特別支援学校との連携, 日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集, 40 : 65, 2014.
 8. 松木るりこ, 西脇 恵子, 佐々木力丸, 須田牧夫 : 地域連携によって補綴装置の製作が可能になった舌癌術後の一症例, 日本学顔面補綴学会第31回総会・学術大会プログラム・抄録集, 59, 2014.
 9. 新藤広基, 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 須田牧夫, 羽村 章 : 介護保険施設における肺炎発症とリスク因子の検討, 老年歯学, 29 (2) : 91, 2014.
 10. 尾関麻衣子, 菊谷 武, 田村文誉, 鈴木 亮 : 摂食・嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける管理栄養士による栄養ケアの実態と課題, 老年歯学, 29 (2) : 96-97, 2014.
 11. 佐川敬一郎, 有友たかね, 高橋賢晃, 佐々木力丸, 田代晴基, 元開早絵, 古屋裕康, 岡澤仁志, 新藤広基, 矢島悠里, 須釜慎子, 田村文誉, 菊谷 武 : 入院患者のシームレスな口腔管理を目的とした地域支援モデルの構築に向けた検討, 老年歯学, 29 (2) : 109-110, 2014.
 12. 鰐原賀子, 平野浩彦, 枝広あや子, 小原由紀, 渡邊 裕, 森下志穂, 本橋佳子, 菅 武雄, 村上正治, 植田耕一郎, 菊谷 武 : 要介護高齢者の口腔湿潤度ならびに口腔内細菌に関する実態調査報告, 老年歯学, 29 (2) : 116, 2014.
 13. 有友たかね, 戸原 雄, 佐々木力丸, 保母妃美子, 田代晴基, 矢島悠里, 岡澤 仁志, 新藤広基, 田村文誉, 菊谷 武 : 在宅療養中の摂食嚥下障害者に対する歯科衛生士の取り組み, 老年歯学, 29 (2) : 120-121, 2014.
 14. 加藤智弘, 布施まどか, 野原 通, 高橋賢晃 : 高齢者に発症した巨大な歯根嚢胞の1例, 老年歯学, 29 (2) : 125-126, 2014.
 15. 野原 通, 加藤智弘, 高橋賢晃, 須田牧夫, 菊谷 武, 布施まどか : 高齢者に発症した骨破壊を伴った下顎骨骨髓炎に対して下顎区域切除・即時再建を行った1例, 老年歯学, 29 (2) : 152-153, 2014.
 16. 関野 愉, 久野彰子, 田村文誉, 菊谷 武, 沼部幸博 : 介護老人福祉施設における20歯以上を

- 有する入居者の歯周疾患罹患状況, 老年歯学, 29 (2) : 205-206, 2014.
17. 古田美智子, 竹内研時, 岡部優花, 菊谷 武, 山下喜久: 在宅療養要介護高齢者における口腔機能と死亡に関するコホート研究, 老年歯学, 29 (2) : 209-210, 2014.
 18. 福井智子, 佐々木力丸, 加藤真理, 細見洋泰: 地域口腔保健センターと専門歯科医療機関との連携で支えた在宅患者の一例, 老年歯学, 29 (2) : 241-242, 2014.
 19. 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 尾関麻衣子, 西脇恵子, 須田牧夫, 羽村 章: 新規開設した日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにおける臨床統計, 老年歯学, 29 (2) : 227, 2014.
 20. 田中友規, 飯島勝矢, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 小原由紀, 秋下雅弘, 大内尉義: 地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮説構造モデルの検証, 日本老年医学会, 51 : 69, 2014.
 21. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: 日本人におけるサルコペニアおよび予備群の関連因子の同定—千葉県柏市における大規模健康調査から, 日本老年医学会, 51 : 79, 2014.
 22. 飯島勝矢, 田中友規, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 秋下雅弘, 大内尉義: サルコペニア危険度に対する自己評価法の開発: 新考案『指輪っかテスト』の臨床的妥当性の検証, 日本老年医学会, 51 : 79, 2014.
 23. 田中友規, 飯島勝矢, 石井伸弥, 柴崎孝二, 大淵修一, 菊谷 武, 平野浩彦, 小原由紀, 秋下雅弘, 大内尉義: 地域高齢者におけるヘルスリテラシーと健康関連行動・健康アウトカムとの関連, 日本老年医学会, 51 : 84, 2014.
 24. 矢島悠里, 菊谷 武, 田村文誉, 藤村尚子, 野沢与志津: 高齢者の食選択に及ぼす影響～食選択アンケートを用いて～, 日本老年医学会, 51 : 106, 2014.
 25. 井上俊之, 菊谷 武, 糟谷明範, 長井陽海, 高橋浩幸, 松崎一代, 松木るりこ, 尾関麻衣子: 胃ろうレストラン, 日本医療マネジメント学会雑誌, 15 (Suppl.) : 252, 2014.
 26. 田村文誉: 脳性麻痺と発達療法の考え方 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 シンポジウム7 小児の摂食嚥下リハビリテーションの課題—脳性麻痺を中心として—, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 125, 2014.
 27. 田村文誉: 小児患者の摂食指導 ～成長に合わせて機能を伸ばす～ 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 交流集会<のもう会>, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 176, 2014.
 28. 左田野智子, 佐藤麻衣子, 新美拓穂, 戸原 雄, 鈴木 亮, 田代晴基, 菊谷 武: 嚥下障害で発症したキアリ I 型奇形の 1 症例—嚥下リハビリテーションの経過—, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 201, 2014.
 29. 佐川敬一朗, 田村文誉, 水上美樹, 今井庸子, 菊谷 武: 代替栄養による栄養改善後に経口摂取量が増えた滑脳症の 1 例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 210, 2014.

30. 田村文誉, 菊谷 武, 古屋裕康, 高橋賢晃, 小原由紀, 平野浩彦:健康高齢者の舌筋の厚みに関連する因子の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 213, 2014.
31. 高橋賢晃, 菊谷 武, 古屋裕康, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦:口腔移送テストによる高齢者の運動障害性咀嚼障害の評価の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 248, 2014.
32. 渡邊圭奈子, 若林秀隆, 須田牧夫:サルコペニアによる重度嚥下障害者に対するチームアプローチ～急性期から594日を経て経口摂取に至った1例～, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 255, 2014.
33. 松木るりこ, 尾関麻衣子, 井上俊之, 石井寿美子, 横山雄士, 松崎一代, 西脇恵子, 菊谷武:口から食べるを支援する「いろいろレストラン」の試み, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 308, 2014.
34. 古屋裕康, 菊谷 武, 田村文誉, 水谷圭介, 泉 綾子:酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 338, 2014.
35. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武:摂食機能訓練が進まない脳幹障害性脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
36. 米谷敬司, 大野美帆, 齋藤俊夫, 谷 博司, 田村文誉, 高橋賢晃, 保母妃美子, 菊谷 武:継続的な摂食嚥下リハビリテーションにより安定した経口摂取をおこなっている West 症候群の2症例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
37. 矢島悠里, 田村文誉, 尾関麻衣子, 河合美佐子, 菊谷 武:高齢者の食選択に味嗅覚変化が及ぼす影響の検討, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 390, 2014.
38. 古賀登志子, 清水けふ子, 手嶋久子, 中村 勝, 川崎志津子, 菊池純子, 高橋賢晃, 佐々木力丸:退院後の在宅療養における経口摂取支援への取り組み, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 394, 2014.
39. 佐々木力丸, 田村文誉, 戸原 雄, 今井庸子, 菊谷 武:摂食機能訓練が進まない脳幹障害型脳性麻痺児の一例, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 353, 2014.
40. 岡澤仁志, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 田村文誉, 菊谷 武:当クリニックにおける在宅療養患者に対する訪問診療, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 396, 2014.
41. 大藤理恵, 砂田勝久:大動脈弁置換術後の患者の歯科治療における全身麻酔経験, 日歯麻誌, 42 (3) : 316, 2014.

42. 大藤理恵, 石橋彩里, 小松勇輝, 安田佑理, 砂田勝久, 三浦 誠: 大動脈弁置換術後のダウン症患者に対する日帰り全身麻酔経験, 日歯麻誌, 42 (4): 487, 2014.
43. 濱 陽子, 西村三美, 山崎美貴, 根本ちさと, 三浦 誠, 大藤理恵, 山城三喜子, 砂田勝久: Eisenmenger 症候群を伴う Down 症患者の歯科治療における全身管理経験, 日歯麻誌, 42 (4): 526, 2014.
44. 野口加代子, 水上美樹, 有友たかね, 西村美樹, 田中祐子, 菊谷 武: 某リハビリテーションクリニックにおいて実施した介護予防事業 (一次予防) とその効果について, 日本歯科衛生学会雑誌, 9 (1): 207, 2014.
45. 濱 陽子, 西村三美, 武居まゆみ, 山崎美貴, 下山 瞳, 根本ちさと, 三浦 誠, 大藤理恵, 山城三喜子, 砂田勝久, 関田俊介, 天野秀二, 杉山紀子: 重篤な先天性心疾患を伴う Down 症候群患者の全身管理下歯科治療経験, 障歯誌, 35 (3): 269, 2014.
46. 磯田友子, 元開早絵, 町田麗子, 田村文誉, 菊谷 武: 重症心身障害児に対する訪問による摂食嚥下リハビリテーションを行った 1 症例, 障歯誌, 35 (3): 373, 2014.
47. 西村美樹, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 粗大運動能の発達に伴い離乳食の開始に至った 5p- 症候群患児の摂食指導経験, 障歯誌, 35 (3): 379, 2014.
48. 辰野 隆, 蒲池史郎, 田村文誉, 町田麗子, 菊谷 武: 障害者施設に対する歯科医師会による摂食支援事業, 障歯誌, 35 (3): 408, 2014.
49. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武, 花形哲夫, 羽村 章: 高齢者における先行期の食物認知が脳の活性に与える影響, 障歯誌, 35 (3): 459, 2014.
50. 田中康貴, 須田牧夫, 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武: 介護老人福祉施設における摂食嚥下機能評価および指導が摂食嚥下障害者の栄養変化に与える効果, 障歯誌, 35 (3): 502, 2014.
51. 筒井友花子, 砂田勝久, 高野宏二: 術前血液検査不可能な低カリウム血症患者に対する日帰り麻酔経験, 障歯誌, 35 (3): 504, 2014.
52. 下山 瞳, 山崎美貴, 武居まゆみ, 西村三美, 濱 陽子, 三浦 誠, 砂田勝久, 関田俊介, 天野秀二, 杉山紀子: 22q13.3欠失症候群患者に対する口腔衛生指導の一例, 障歯誌, 35 (3): 545, 2014.
53. 保母妃美子, 須釜慎子, 田代晴基, 西村美樹, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武: 肥満を特徴とする Prader-Willi 症候群の摂食指導, 障歯誌, 35 (3): 547, 2014.
54. 水上美樹, 田村文誉, 町田麗子, 西村美樹, 野口加代子, 田中祐子, 松山美和, 菊谷 武: 21 トリソミー児の摂食機能・粗大運動・認知発達に関する実態について, 障歯誌, 35 (3): 554, 2014.
55. 有友たかね, 戸原 雄, 佐川敬一郎, 田村文誉, 菊谷 武: 訪問看護ステーションの多機能化モデル事業における歯科衛生士の役割, 障歯誌, 35 (3): 579, 2014.
56. 須田牧夫, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 水上美樹, 西村美樹, 野口加代子, 有友たかね, 尾関麻衣子, 小口春久, 菊谷 武: 新規開設した口腔リハビリテーションに特化した歯科衛生専攻科について, 障歯誌, 35

- (3) : 591, 2014.
57. 須釜槓子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武 : 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み, 障歯誌, 35 (3) : 592, 2014.
 58. Furuya H, Kikutani T, Tamura F, Takahashi N, Iijima K, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y : Factors that influence oral resident bacterial count in healthy elderly persons, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
 59. Tashiro H, Tamura F, Kikutani T : Intraoral bacterium counter (Bacterium Counter[®]) : from development to clinical application, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 21, 2014.
 60. Tohara T, Tamura F, Kikutani T : A case of swallowing disorder probably caused by psychological burden, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 23, 2014.
 61. Shindo H, Aritomo T, Furuya H, Yajima Y, Tamura F, Kikutani T : Preparation of dental prosthesis and oral rehabilitation in a patient with swallowing disorder due to crossed hemiplegia, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 79, 2014.
 62. Tamura F, Hobo K, Genkai S, Mizukami M, Kikutani K : Dysphagia therapy for Rett syndrome patients, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 81, 2014.
 63. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Factors related to decrease in activities of daily living in elderly persons under home care, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
 64. Sagawa K, Tashiro H, Furuya H, Sugama M, Yoshida M, Tamura F, Kikutani T : Investigation of skeletal muscle mass and relevant factors in the elderly, *Journal of Disability and Oral Health*, 15 : 92-93, 2014.
 65. 田村文誉, 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 白濁友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武 : 在宅訪問における重症心身障害児の摂食指導, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 15-16, 2014.
 66. Genkai S, Kikutani T, Tamura F, Suzuki R, Yoshida M : Relationship between dental occlusion and decline in ADL level in elderly people receiving home care, 平成26年度日本歯科大学歯学会第1回ウィンターミーティングプログラム・抄録集, 24, 2014.
 67. 戸原 雄, 仲澤裕次郎, 田代晴基, 須田牧夫, 田村文誉, 菊谷 武 : 摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける訪問診療実態, 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 30 : 377, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武 : 『お口からながいき—めざせ健康長寿—』, 第68回N P O法人 日本口腔科学会学術集会, 公開講座, 東京都新宿区, 2014年5月8日.
2. 菊谷 武 : サルコペニアの予防と改善に寄与する補綴歯科を目指して—多職種連携による高齢者の口腔機能, 栄養, 運動機能の改善—, 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への

取り組み, 日本補綴歯科学会第123回学術大会, 臨床リレーセッション2, 宮城県仙台市, 2014年5月24日.

3. 高橋賢晃:「咀嚼して嚥下する」を科学しよう, 日本補綴歯科学会, イブニングセッション1, 仙台国際センター(宮城県), 2014年5月24日.
4. 田村文誉:障害児の食支援, 第14回新生児栄養フォーラム, 特別講演, 兵庫県神戸市, 神戸国際会議場国際会議室, 2014年6月1日.
5. 菊谷 武:地域在住高齢者における口腔リテラシーを通じた歯数・サルコペニアへの仮設構造モデルの検証, 第25回老年歯科医学会, 一般演題口述, 福岡県福岡市, 2014年6月12日.
6. 飯田良平, 石田 瞭, 有岡享子, 石飛進吾, 高橋浩二, 田村文誉, 野原幹司, 中根綾子, 吉田光由:第22回日本老年歯科医学会総会・学術大会, ハンズオンセミナー, 福岡県福岡市, 電気ビルみらいホール, 2014年6月14日.
7. 菊谷 武:歯科医師の立場から, 第15回日本言語聴覚学会, ランチョンシンポジウム, 埼玉県さいたま市, 2014年6月28日.
8. 田村文誉:第4分科会 乳幼児にむけた安全で楽しい食事～摂食, 嚥下機能の発達と食育～, 第58回全国乳児院研修会, 石川県金沢市, ホテル金沢, 2014年7月17日.
9. 菊谷 武:地域で“食べる”を支えるということ, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー, 東京都新宿区, 2014年9月6日.
10. 田村文誉:小児患者の摂食指導 ～成長に合わせて機能を伸ばす～, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 交流集会<のもう会>, 東京都新宿区, 京王プラザホテル, 2014年9月6日.
11. 田村文誉:脳性麻痺と発達療法の考え方, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, シンポジウム, 東京都新宿区, 京王プラザホテル, 2014年9月7日.
12. 田村文誉, 渥美 聡:脳性麻痺における摂食嚥下障害の診かたとその対応, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 有料セミナー, 東京都新宿区, 京王プラザホテル, 2014年9月7日.
13. 菊谷 武:「地域における高齢者の食支援」, 第60回日本老年医学会 関東甲信越地方会, 教育講演, 東京都三鷹市, 2014年9月20日.
14. 菊谷 武:口腔機能への社会的な要望の変化に対し現在取り組まれている事, そして, 今後の展望, 第16回日本口腔顎顔面技工研究会学術大会, 講演, 東京都千代田区, 2014年11月8日.
15. 田村文誉:小児の摂食嚥下障害について～発達療法の考え方～, 第26回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 教育講演, 栃木県宇都宮市, 栃木県総合文化センター, 2014年11月8日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 須田牧夫:要介護者に対する口腔ケアの実際—気道感染症などの予防について—気道感染症などの予防について—, 浴風会新人研修会, 東京都杉並区, 2014年4月2日.
2. 町田麗子:離乳食の進め方, ママサカス2014, 東京都港区, TBS テレビ, 平成26年4月3日.

3. 児玉実穂：マタニティママの歯科治療，ママサカス2014，東京都港区，TBSテレビ，2014年4月3日.
4. 町田麗子：食べる機能の発達における学校給食の役割，都立城北特別支援学校職員研修会，東京都足立区，東京都足立区城北特別支援学校，2014年4月4日.
5. 菊谷 武：認知症高齢者の食べることの問題とその対策について，きさらぎ市・国分寺市共催平成26年度 認知症講演会，東京都国分寺市，いずみプラザ，2014年4月7日.
6. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成26年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，八王子市，都立八王子東特別支援学校，2014年4月9日.
7. 菊谷 武：「摂食嚥下障害の原因と特徴」，第1回台湾摂食嚥下リハビリテーションシンポジウム，台湾高雄市，台湾，2014年4月20日.
8. 高橋賢晃：在宅・訪問歯科診療参加型臨床実習において教育効果を向上させるためには，記念講演，岡山県岡山市，2014年4月27日.
9. 菊谷 武：神経難病とお口の健康，船橋市保健所「難病患者と家族のつどい」，千葉県船橋市，船橋市役所，2014年5月15日.
10. 町田麗子：口腔ケア，東京都福祉保健財団介護福祉専門員専門研修，東京都新宿区，東京都新宿区セントラルプラザ，2014年5月17日.
11. 高橋賢晃：口腔ケア概論，介護予防実践運動指導員養成講座，東京都日野市，2014年5月21日.
12. 菊谷 武：在宅における嚥下機能評価と地域ネットワーク，嚥下調整食学会分類2013に基づく経口アプローチセミナー，宮城県仙台市，TKP ガーデンシティ，2014年5月31日.
13. 町田麗子：口腔ケア，東京都福祉保健財団介護福祉専門員専門研修，東京都新宿区，東京都新宿区研究者英語センター，2014年年6月2日.
14. 児玉実穂：マタニティオーラルケアの大切さ，第42回母子保健指導員研修会，東京都新宿区，2014年6月10日.
15. 田村文誉：障害者における摂食・嚥下障害の症例検討会，清瀬市社会福祉協議会研修会，東京都清瀬市，清瀬市障害者福祉センター，2014年6月12日.
16. 有友たかね：口腔から健康アップ，平成26年度小金井市介護予防リーダー研修会，東京都小金井市，2014年6月17日.
17. 菊谷 武：「ケースプレゼンテーションの進め方」，東京都立心身障害者口腔保健センター，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，東京都立心身障害者口腔保健センター，2014年6月19日.
18. 菊谷 武：「口腔ケアについて」，平成26年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，家の光会館，2014年6月20日.
19. 水上美樹：歯科クリニックが行う小児摂食外来の現状と多職種連携，第3回小児多職種研究会，東京都大田区，2014年6月21日.
20. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都新宿

区，2014年6月23日。

21. 菊谷 武：「認知症高齢者の摂食・嚥下障害と口腔ケアの進め方」，横浜市社会福祉協議会高齢福祉部主催研修，神奈川県横浜市，横浜市健康福祉総合センター，2014年7月4日。
22. 水上美樹：摂食嚥下障害に対する訓練法，平成26年度専門的口腔ケア研修会公開講座，長野県安曇野市，2014年7月6日。
23. 菊谷 武：「嚥下機能のメカニズムと障害について」，埼玉県済生会川口総合病院 全職員対象講演会，埼玉県川口市，埼玉県済生会川口総合病院，2014年7月9日。
24. 町田麗子：ダウン症における食べる機能の発達と障害，東京通信病院小児科第6回ダウン症勉強会，東京都千代田区，東京都千代田区通信病院，2014年7月12日。
25. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，館林邑楽歯科医師会介護在宅委員会講演会，群馬県館林市，2014年7月12日。
26. 田村文誉：高齢者の窒息予防を含む摂食嚥下及び，施設でできる口腔ケア，町田市 研修会，東京都町田市，町田市健康福祉会館，2014年7月14日。
27. 菊谷 武：「口腔リハビリテーションの実際」，東京都中央区京橋歯科医師会主催学術講演会，東京都中央区，京橋プラザ区民館，2014年7月16日。
28. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支える」，東京都立多摩総合医療センター平成26年度歯科医療連携臨床懇話会，東京都多摩市，東京都立多摩総合医療センター，2014年7月17日。
29. 田村文誉：摂食指導の基礎基本，歯と口の健康づくり，東京都小金井市，都立小金井特別支援学校，2014年7月18日。
30. 菊谷 武：『地域における食支援』～多摩クリニックの取り組み～，那覇市在宅医科歯科連携学術講演会，沖縄県那覇市，ホテルロイヤルオリオン，2014年7月19日。
31. 松木るりこ：言語評価について，東京都立小金井特別支援学校教育支援員講演会，東京都小金井市，2014年7月22日。
32. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達とその課題への対応，平成26年度保育所・幼稚園歯科保健研修会，東京都多摩市，東京都南多摩保健所，2014年7月22日。
33. 尾関麻衣子：高齢者の「口から食べる」を支える食事，東京都多摩小平保健所 栄養管理講習会（第7回），東京都小平市，2014年7月24日。
34. 田村文誉：摂食嚥下機能の発達と障害，調布市歯科医師会小島町歯科診療所学術講演会，東京都調布市，小島町診療所研修室，2014年7月24日。
35. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年7月26日。
36. 田村文誉：摂食指導の基礎・基本，全校研修会，東京都府中市，東京都立府中けやきの森学園，2014年7月29日。
37. 菊谷 武：「誤嚥性肺炎 —診断・治療・予防—」，Infection File 37号 座談会，東京都千代田区，丸の内ホテルミーティングホール，2014年8月1日。
38. 菊谷 武：「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？」，平成26年度日本歯科大

- 学北陸地区歯学研修会，富山県高岡市，ホテルニューオータニ高岡，2014年8月2日。
39. 町田麗子：食べる機能の発達と障害，東京都学校給食会都立特別支援学校形態別調理研修会，東京都文京区，東京都文京区学校給食会，2014年8月6日。
 40. 鈴木淳子：信頼される「かかりつけ歯科医師」のための小児歯科—0歳児からの診方，考え方—，東京都歯科医師会卒後研修，日本歯科大学，東京都，2014年8月7日。
 41. 須田牧夫：歯科医師に求められていること～在宅歯科診療に必要なものとは～，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年8月8日。
 42. 水上美樹，田中祐子：口腔リハビリテーションクリニックにおける歯科衛生士の行う摂食機能療法，平成26年度神奈川県歯科大学短期大学部障害学習セミナー「ブラッシュアップ講座」，神奈川県横須賀市，神奈川県歯科大学短期大学部，2014年8月10日。
 43. 菊谷 武：1. 「高齢患者の対する考え方」，2. 「食べることに問題のある患者に歯科は何かできるのか？」，5. 「地域における摂食支援」，第1回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座，三重県津市，三重県歯科医師会館，2014年8月24日。
 44. 有友たかね：要介護高齢者，摂食嚥下障害者に対する安全で有効な口腔ケア，第1回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座，三重県津市，2014年8月24日。
 45. 水上美樹：小児の摂食指導—訓練を中心として—，小金井特別支援学校研修会，東京都小金井市，2014年8月28日。
 46. 田村文誉：摂食機能の発達と障害特性をふまえた支援について，職員研修会，東京都多摩市，都立多摩桜の丘学園，2014年8月28日。
 47. 町田麗子：食べる機能の発達における学校給食の役割，目黒区立油面小学校わかたけ学級職員研修会，東京都目黒区，東京都目黒区油面小学校，2014年8月29日。
 48. 菊谷 武：「摂食・嚥下機能について」，平成26年度公益社団法人秋田県栄養士会「生涯教育」，秋田県秋田市，秋田市文化会館，2014年8月30日。
 49. 菊谷 武：講演「訪問歯科診療の現状及び器材パッケージについて」，平成26年度医工連携事業推進事業意見聴取会（在宅歯科医療講演会），宮城県仙台市，仙台国際センター，2014年8月31日。
 50. 菊谷 武：「高齢者歯科診療における留意点について」，平成26年度神奈川県在宅歯科医療推進研修会，神奈川県横浜市，神奈川県歯科保健総合センター，2014年9月11日。
 51. 菊谷 武：「評価内容の家族，介護者への伝え方」，平成26年度摂食・嚥下サポート医研修会，東京都多摩市，東京都南多摩保健所，2014年9月12日。
 52. 菊谷 武：「地域における食支援」，オープン1周年記念 株式会社ジーシー カムリエセミナー，東京都文京区，GCCorprate Center，2014年9月15日。
 53. 菊谷 武：「摂食嚥下支援と口腔ケアの重要性」，フードシステムソリューション（F-SYS）2014，東京都江東区，東京ビッグサイト，2014年9月17日。
 54. 田村文誉：摂食・嚥下研修会基礎編，「平成26年度摂食・嚥下機能支援基盤整備事業」，東京都あきる野市，あきるのルピア，2014年9月19日。

55. 菊谷 武：「食べることで生きる力を！」，平成26年度船橋市「公開講座」，千葉県船橋市，船橋市民文化創造館・きららホール，2014年9月24日。
56. 須田牧夫：口腔機能アセスメント表，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年9月26日。
57. 児玉実穂：在宅重症心身障害児（者）のオーラルケア，平成26年度訪問看護師等育成研修（レベルアップ編），東京都中野区，2014年9月27日。
58. 須田牧夫：口腔リハビリテーション—摂食機能障害への対応—，日本訪問歯科協会研修会，東京都千代田区，2014年9月28日。
59. 高橋賢晃：摂食・嚥下障害の評価，評価医養成研修，東京都新宿区，2014年10月5日。
60. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」，東京都立心身障害者口腔保健センター，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，東京都立心身障害者口腔保健センター，2014年10月5日。
61. 有友たかね：嚥下障害とリハビリテーション，平成26年度小平市家族介護教室，東京都小平市，2014年10月10日。
62. 田村文誉：摂食様式から診る摂食嚥下障害とその対応，世田谷区歯科医師会学術講演会，東京都世田谷区，世田谷区歯科医師会館，2014年10月15日。
63. 菊谷 武：食べる力は生きる力～関係職種の連携で在宅医療を支える～，町田市歯科医師会「地域医療講演会」，東京都町田市，ガーデン町田，2014年10月18日。
64. 水上美樹：小児の摂食機能を考えるー上手に食べるためのワンポイントアドバイスー，けやきの森学園摂食学習会，東京都府中市，2014年10月20日。
65. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，トヨタドライビングスクール東京，2014年10月20日。
66. 高橋賢晃：口腔ケア，東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，2014年10月28日，11月15日。
67. 須田牧夫：「めざせ健康長寿！—高齢者の生活ステージに応じた口腔ケアとは—」，リフレケア H 口腔ケアセミナー in 苫小牧，北海道苫小牧市，2014年11月1日。
68. 水上美樹：幼児期から育む食べる機能，第14回彩歯健康アカデミー，埼玉県川越市，2014年11月2日。
69. 菊谷 武：講演 I，彩歯健康アカデミー，埼玉県川越市，川越プリンスホテル，2014年11月2日。
70. 児玉実穂：妊婦の口腔管理と歯科治療—マイナス1歳からの口腔管理—，水戸支部イブニングセミナー，茨城県水戸市，2014年11月11日。
71. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都立川市，2014年11月13日。
72. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修会，東京都新宿区，2014年11月14日。
73. 菊谷 武：「地域における食支援」，第6回医食農連携プラットホーム研究会，東京都中央区，

- ファンケル銀座スクウェア, 2014年11月20日.
74. 須田牧夫: 発達障害者, 中途障害者に対する摂食指導・口腔管理について, 平成26年度埼玉県歯科医師会歯科衛生士のための障害者歯科研修, 埼玉県さいたま市, 2014年11月20日.
 75. 田村文誉: 乳幼児期の口腔機能の発達と窒息予防について, 平成26年度金沢市保育所(園)職員研修会, 石川県金沢市, 金沢市教育プラザ, 2014年11月21日.
 76. 田村文誉: 在宅療養指導(口腔機能管理)・摂食・嚥下リハビリテーションコース 摂食時の外部観察評価, 平成26年度認定歯科衛生士セミナー, 東京都千代田区, 日本歯科大学, 2014年11月23日.
 77. 菊谷 武: 講演1 私たちはどう食べているのか?, 2 何を見て何を評価するのか?, 3 どう鍛えるのか?, 第2回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座, 三重県津市, 三重県歯科医師会館, 2014年11月24日.
 78. 須田牧夫: 在宅療養指導における口腔機能管理の症例検討, 平成26年度日本歯科衛生士会認定歯科衛生士セミナー, 東京都千代田区, 2014年11月24日.
 79. 菊谷 武: チームで取り組む摂食嚥下障害への対応, 第5回チーム医療勉強会, 東京都多摩市, 東京都立多摩総合精神保健福祉センター, 2014年11月25日.
 80. 田村文誉: 障害児・者の嚥下リハビリテーション, 公開研修会, 沖縄県国頭郡, 沖縄琉球リハビリテーション学院, 2014年11月29日.
 81. 菊谷 武: 「摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について」, 平成26年度神奈川県摂食・嚥下歯科医療担当者研修会, 神奈川県横浜市, 神奈川県歯科保健総合センター, 2014年11月30日.
 82. 田村文誉: 特別支援学校における摂食指導の基礎・基本, 特別支援学校研修会, 長野県長野市, 長野県庁, 2014年12月1日.
 83. 元開早絵: f NIRS を用いた脳機能測定法について, エコー療育園職員研修会, 宮城県仙台市, 2014年12月3日.
 84. 菊谷 武: 食べる力の確保で生活の向上を, 草加市健康らくらく講座, 埼玉県草加市, 草加市立中央公民館, 2014年12月3日.
 85. 須田牧夫: 摂食嚥下機能とは～メカニズムから摂食嚥下障害まで～, 淀川食品研修会, 東京都足立区, 2014年12月3日.
 86. 菊谷 武: 「摂食・嚥下障がいに対する評価・診断・対処法について」, 熊本歯科衛生士専門学院, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県熊本市, 熊本歯科衛生士専門学院, 2014年12月6日, 12月7日.
 87. 有友たかね: 口腔ケアを多職種連携の合言葉に, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県熊本市, 2014年12月6日.
 88. 有友たかね: 口腔ケア性誤嚥性肺炎といわれないためのテクニック, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県熊本市, 2014年12月7日.
 89. 田村文誉: 摂食・嚥下研修会中級編, 「平成26年度摂食・嚥下機能支援基盤整備事業」, 東京都

- 福生市，福生市市民会館，2014年12月9日。
90. 田村文誉：摂食嚥下のしくみと，重症心身障害児の口腔ケア・間接訓練について，職員研修会，埼玉県川越市，医療型障害児入所施設カルガモの家，2014年12月12日。
 91. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本歯科大学歯学会ウインターミーティング，東京都千代田区，日本歯科大学富士見ホール，2014年12月13日。
 92. 須田牧夫：摂食嚥下障害とリスク管理－安全な検査・訓練を行うために必要な知識－，横浜南仲通歯科医院研修会，神奈川県横浜市，2014年12月13日。
 93. 有友たかね：口～歯のこと，飲み込みのこと，栄養のこと，公開講座，東京都三鷹市，2014年12月13日。
 94. 菊谷 武：研修「Ⅰ 認知症患者の口腔管理」，岡山県歯科医師会 平成26年度 訪問歯科研修会，岡山県岡山市，岡山県歯科医師会館，2014年12月14日。
 95. 菊谷 武：「食べることは生きること」，平成26年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，豊田市福祉センター，2015年1月7日。
 96. 菊谷 武：「超高齢社会における歯科の役割」，第3回九州歯科衛生士研究大会，大分県大分市，大分県歯科医師会館，2015年1月25日。
 97. 田村文誉：脳性麻痺児の摂食嚥下について，職員研修，東京都武蔵村山市，東京小児療育病院，2015年1月27日。
 98. 田代晴基：摂食嚥下障害と口腔ケア，社会福祉法人東京聖労院 特別養護老人ホームつきみの園研修会，東京都小金井市，特別養護老人ホームつきみの園，2015年1月28日。
 99. 児玉実穂：妊婦歯科治療の重要性と意義，平成26年度妊婦歯科健診協力医要請講演会，沖縄県浦添市，2015年2月1日。
 100. 児玉実穂：妊婦歯科治療の重要性と意義，平成26年度妊婦歯科健診協力医要請講演会，沖縄県島尻群，2015年2月1日。
 101. 菊谷 武：「地域で“食べる”をささえるということ」，平成26年度歯科保健担当者研修会，愛媛県松山市，愛媛県中予地方局7階大会議室，2015年2月2日。
 102. 児玉実穂：口腔機能の発達と摂食・嚥下障害について，知的障がい児・者支援サービス基礎講座（医療編），千葉県袖ヶ浦市，2015年2月4日。
 103. 町田麗子：摂食・嚥下障害児への支援，母子愛育会総合母子保健センター地域栄養活動，東京都港区，東京都港区子ども家庭総合研究所，2015年2月6日。
 104. 菊谷 武：「在宅患者に対する摂食・嚥下支援」，比企郡市歯科医師会講演会，愛媛県東松山市，愛媛県東松山市保健センター，2015年2月8日。
 105. 児玉実穂：妊娠期の口腔内変化と母子伝搬に絡めた予防の必要性，地域保健部・八王子支部共催研修会，東京都八王子市，2015年2月13日。
 106. 児玉実穂：妊娠期の口腔内変化と母子伝搬に絡めた予防の必要性，地域保健部・八王子支部共催 研修会，東京都八王子市，2015年2月13日。
 107. 田村文誉：発達期の摂食嚥下障害，三鷹市歯科医師会障がい者かかりつけ歯科医機能支援シ

- ステムに関する歯科医師等研修会，東京都三鷹市，三鷹産業プラザ，2015年2月18日。
108. 菊谷 武：学術講演会，鎌倉市歯科医師会学術講演会，神奈川県鎌倉市，2015年2月21日。
109. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，特別講演，第10回川口脳卒中地域連携研究会，埼玉県川口市，川口フレンディア，2015年2月24日。
110. 田代晴基：摂食嚥下障害の評価と診断スクリーニングテスト，西東京歯科医師会研修会，西東京市田無総合福祉センター，2015年2月25日。
111. 菊谷 武：専門クリニックの取り組み（シンポジスト），シンポジウム 在宅療養者の摂食嚥下機能支援～事例検討～，東京都小金井市，小金井市民交流センター，2015年2月27日。
112. 菊谷 武：『知らないではすまされない口腔ケアの基礎知識』，山梨県歯科医師会 口腔ケア研修セミナー，山梨県甲府市，かいてらす，2015年3月1日。
113. 松木るりこ：発達段階を知るための太田ステージ評価について，杉並区歯科保健医療センター職員（歯科衛生士）研修会，杉並区歯科保健医療センター，2015年3月5日。
114. 田村文誉：重症心身障害児の在宅訪問歯科診療における摂食指導，第12回多摩療育と栄養研究会，一般講演，東京都小金井市，日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック，2015年3月7日。
115. 菊谷 武：「スマイルケア食誕生の目的と意義，訪問介護に望むこと」，ホームヘルパー中央研修会，東京都港区，東京グランドホテル蘭の間，2015年3月8日。
116. 菊谷 武：「認知症高齢者に対する口腔ケアについて」，高知県地域福祉部高齢者福祉課長，高知県高知市，高知城ホール，2015年3月9日。
117. 菊谷 武：『在宅で“食べる”をささえるということ』，たつの市揖保郡医師会在宅医療講習会，兵庫県たつの市，たつの市はつらつセンター，2015年3月12日。
118. 田村文誉：食べる機能の発達と障害，第12回日本小児栄養研究会，教育講演，栃木県宇都宮市，栃木県総合文化センター，2015年3月14日。
119. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，2015年（公社）日本歯科先端技術研究所 学術講演会，東京都中央区，東京コンベンションjホール，2015年3月15日。
120. 田村文誉：知っておきたい障害者（児）の口腔ケア，武蔵野市障害者福祉センター講演会，かたらいの道 市民スペース，2015年3月17日。
121. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第1回介護用品・介護施設産業展 Care TEX 2015，東京都江東区，東京ビックサイト，2015年3月18日。
122. 戸原 雄：初歩からまなぶ摂食嚥下リハビリテーション，青森県歯科衛生士会三ハ支部研修会，八戸歯科衛生士学校，2014年11月19日，2015年3月29日。

● 言語聴覚士室 Speech and Language Pathology Service

1. 所属構成員等

講 師 西脇恵子（室長）
医 療 職 員 松木るりこ，高島良代，橋本久美

2. 研究テーマ

- 1) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 2) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 3) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for dysphagia.
- 4) コミュニケーション障害者の家族支援 Family Support for communication disorders.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

- 1) 第31回一般社団法人 日本障害者歯科学会総会および学術大会，優秀発表賞，須釜慎子，水上美樹，橋本久美，松木るりこ，田村文誉，菊谷 武，2014年11月16日，特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み。

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会など

- 1) 第15回日本言語聴覚学会，東京都言語聴覚士会，さいたま市，2014年6月28日，29日。

6. 国際交流状況

- 1) アメリカレッドランズ大学のマイケル・グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ。嚥下内視鏡を用いた摂食・嚥下機能評価，重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論を行った。（2014年6月24日～7月4日）

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成26年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C），継続，2014年4月1日～2015年3月31日，構音障害のリハビリテーションにおける舌の筋疲労の様相と改善についての研究，西脇恵子，1,300,000円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 西脇恵子（分担執筆）：基礎的訓練（間接訓練），深浦順一編集，581-584，図解言語聴覚療法技術ガイド，文光堂，東京都，2014，ISBN978-4-8306-4511-2.
2. 西脇恵子，菊谷 武（分担執筆）：舌接触補助床を装着したことにより口腔移送が改善したALSの症例，248-250，里宇明元，藤原俊之監修，植松 宏，大田哲生，大塚友吉，近藤国嗣，清水充子，高橋秀寿，辻 哲也編集，ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション50症例から学ぶ実践的アプローチ，医歯薬出版株式会社，東京，2014，ISBN978-4-263-21858-7.

B. 原著

1. 大河内二郎，高椋 清，東憲太郎，折茂賢一郎，本間達也，西脇恵子，安藤 繁：要介護高齢者における余暇および社会交流ステージ分類の開発，日本老年医学会，2014；51（6）：536-546.

C. 総説・解説

1. 西脇恵子：安全に食べるための嚥下リハビリテーション，介護福祉，97：51-60，2015.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

1. Brian G.Skotko, Susan P.Levine, 西脇恵子，運転の準備，1-23，伊藤英夫，西脇恵子監訳：シートベルトをしめて発進しよう FASTEN YOUR SEATBELT a crash course on Down syndrome for brothers and sisters, 株式会社三輪書店，東京，2015.
2. Brian G.Skotko, Susan P.Levine, 松木るりこ，スピードをおとす，85-105，伊藤英夫，西脇恵子監訳：シートベルトをしめて発進しよう FASTEN YOUR SEATBELT a crash course on Down syndrome for brothers and sisters, 株式会社三輪書店，東京，2015.

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 西脇恵子，松木るりこ，須田牧夫：楽器演奏用の歯科補綴装置を装用した両側顔面神経麻痺の症例，日本顎顔面補綴学会第31回総会・学術大会プログラム抄録集，59，2014.
2. 松木るりこ，西脇恵子，田村文誉，菊谷 武：地域連携の取り組み 舌癌術後の症例を通して，言語聴覚研究，11（3）：274，2014.
3. 松木るりこ，西脇恵子，田村文誉，菊谷 武：言語聴覚士の特別支援学校との連携，日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集，40：65，2014.
4. 松木るりこ，西脇恵子，佐々木力丸，須田牧夫：地域連携によって補綴装置の製作が可能に

なった舌癌術後の一症例, 日本顎顔面補綴学会第31回総会・学術大会プログラム・抄録集, 59, 2014.

5. 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子, 高橋賢晃, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 尾関麻衣子, 西脇恵子, 須田牧夫, 羽村 章: 新規開設した日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックにおける臨床統計, 老年歯学, 29 (2): 227, 2014.
6. 松木るりこ, 尾関麻衣子, 井上俊之, 石井寿美子, 横山雄士, 松崎一代, 西脇恵子, 菊谷武: 口から食べるを支援する「いろいろレストラン」の試み, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 308, 2014.
7. 須田牧夫, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 戸原 雄, 佐々木力丸, 田代晴基, 保母妃美子, 松木るりこ, 水上美樹, 西村美樹, 野口加代子, 有友たかね, 尾関麻衣子, 小口春久, 菊谷武: 新規開設した口腔リハビリテーションに特化した歯科衛生専攻科について, 障歯誌, 35 (3): 59, 2014.
8. 須釜慎子, 水上美樹, 橋本久美, 松木るりこ, 田村文誉, 菊谷 武: 特別支援学校における歯科医療職の教育支援員としての取り組み, 障歯誌, 35 (3): 592, 2014.
9. 井上俊之, 菊谷 武, 糟谷明範, 長井陽海, 高橋浩幸, 松崎一代, 松木るりこ, 尾関麻衣子: 胃ろうレストラン, 日本医療マネジメント学会雑誌, 15 (Suppl.): 252, 2014.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Nishiwaki K: Rehabilitation of patients with dysphagia in Japan, 特別講演, 東貨大学, 中国上海市, 2014年7月5日.
2. 西脇恵子: 脳卒中後の摂食嚥下障害に対する基本的な評価のとらえ方, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, シンポジウム「脳卒中の摂食嚥下障害」, 東京, 2014年9月6日.
3. 西脇恵子: 言語聴覚士からみた高次脳機能障害の対応, 東京都高次脳機能障害協議会講演会, 東京, 2014年12月7日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 西脇恵子: 子どもの摂食機能の発達と障害, 船橋市子ども発達センター職員研修会, 千葉県船橋市, 2014年7月17日.
2. 松木るりこ: 言語評価について, 東京都立小金井特別支援学校教育支援員講演会, 東京都小金井市, 2014年7月22日.
3. 西脇恵子: 子どものことばの発達, 船橋市ことばの相談室・保護者の勉強会, 船橋市, 2014年10月2日.
4. 西脇恵子: 摂食・嚥下障害への対応法2・摂食・嚥下障害の訓練, 評価医養成研修事業, 東京都心身障害者センター, 2014年12月14日.
5. 西脇恵子: 子どものことばの発達, 子ども嚥下障害勉強会, 東京, 2015年2月22日.

6. 西脇恵子：失語症の人への理解と対応，江戸川区在宅介護研修会，東京，2015年2月25日.
7. 松木るりこ：発達段階を知るための太田ステージ評価について，杉並区歯科保健医療センター職員（歯科衛生士）研修会，杉並区歯科保健医療センター，2015年3月5日.